

# 2009年3月期 第3四半期決算 アナリスト説明会



2009年2月6日  
ソフトバンク株式会社

## 免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。

また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

# 目次

## 経理編

連結P/L分析	5
連結B/S分析	14
連結C/F分析	24

## 財務編

返済原資および手元流動性	32
負債削減	42
各種財務指標	50

## 事業編

ブロードバンド・インフラ事業	59
固定通信事業	63
移動体通信事業	67

# 経理編

---

ソフトバンク株式会社  
経理部長 兼 内部統制室長

君和田 和子

**連結P/L增減分析**

**連結B/S增減分析**

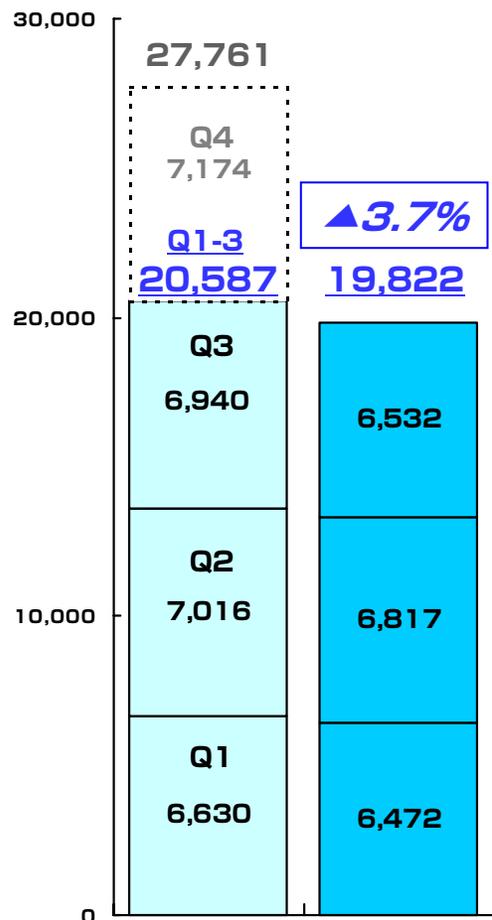
**連結C/F增減分析**

# 連結P/L総括

<P/L-1>

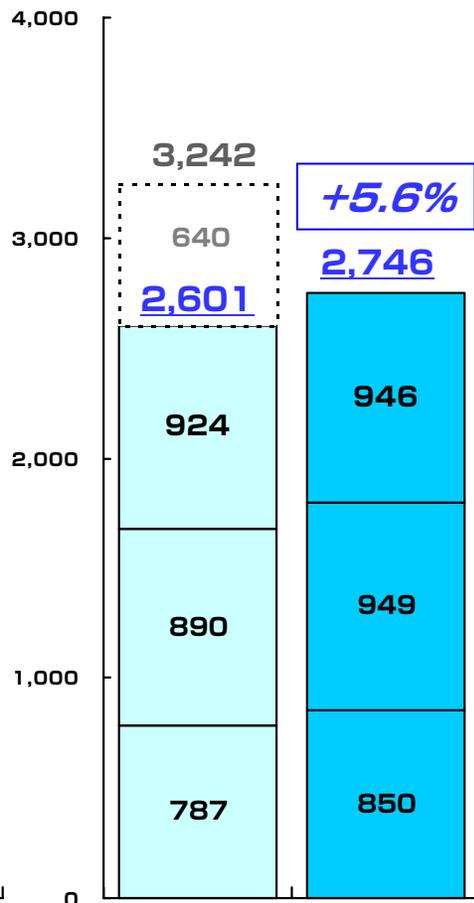
<億円>

## 売上高



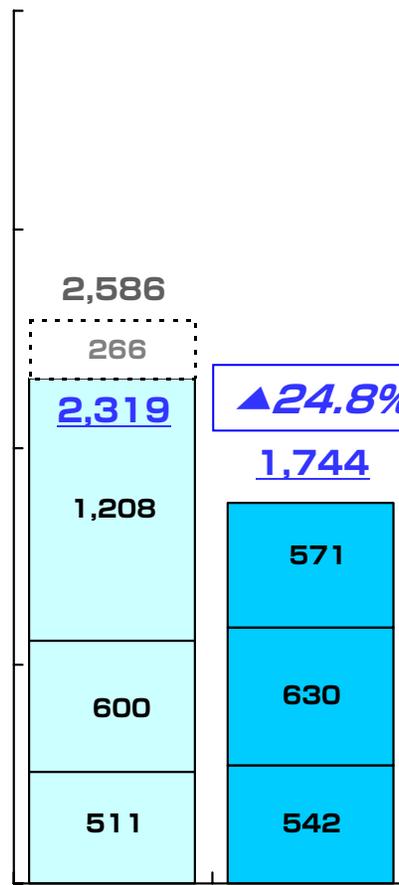
FY07/Q1-3 FY08/Q1-3

## 営業利益



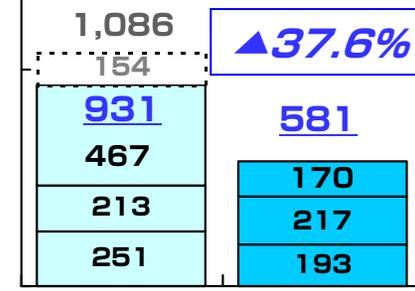
FY07/Q1-3 FY08/Q1-3

## 経常利益



FY07/Q1-3 FY08/Q1-3

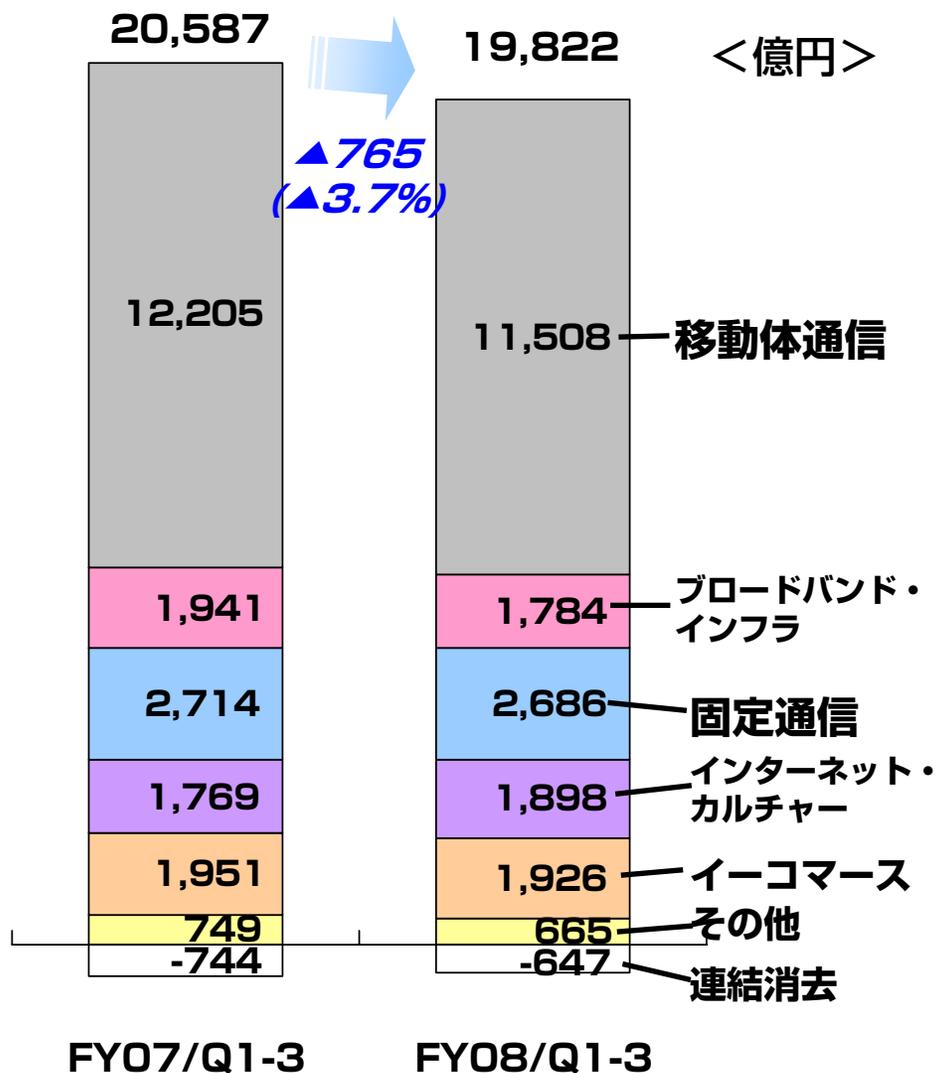
## 当期純利益



FY07/Q1-3 FY08/Q1-3

# 連結売上高

<P/L-2>



## 移動体通信事業 ▲697億

- ・電通事業売上の増加 +121億  
 [ 契約者数の増加 +1,122億  
 ARPUの低下 ▲1,070億 ]
- ・附帯事業売上（携帯電話端末売上等）の減少 ▲793億

## ブロードバンド・インフラ事業 ▲157億

- ・ADSL 課金件数の減少 ▲123億
- ・ADSL ARPUの低下 ▲18億
- ・ODNの減少 ▲25億

## 固定通信事業 ▲27億

- ・おとくラインの増加 +101億
- ・法人データ増加 +34億
- ・マイラインの減少 ▲96億
- ・国際電話の減少 ▲73億

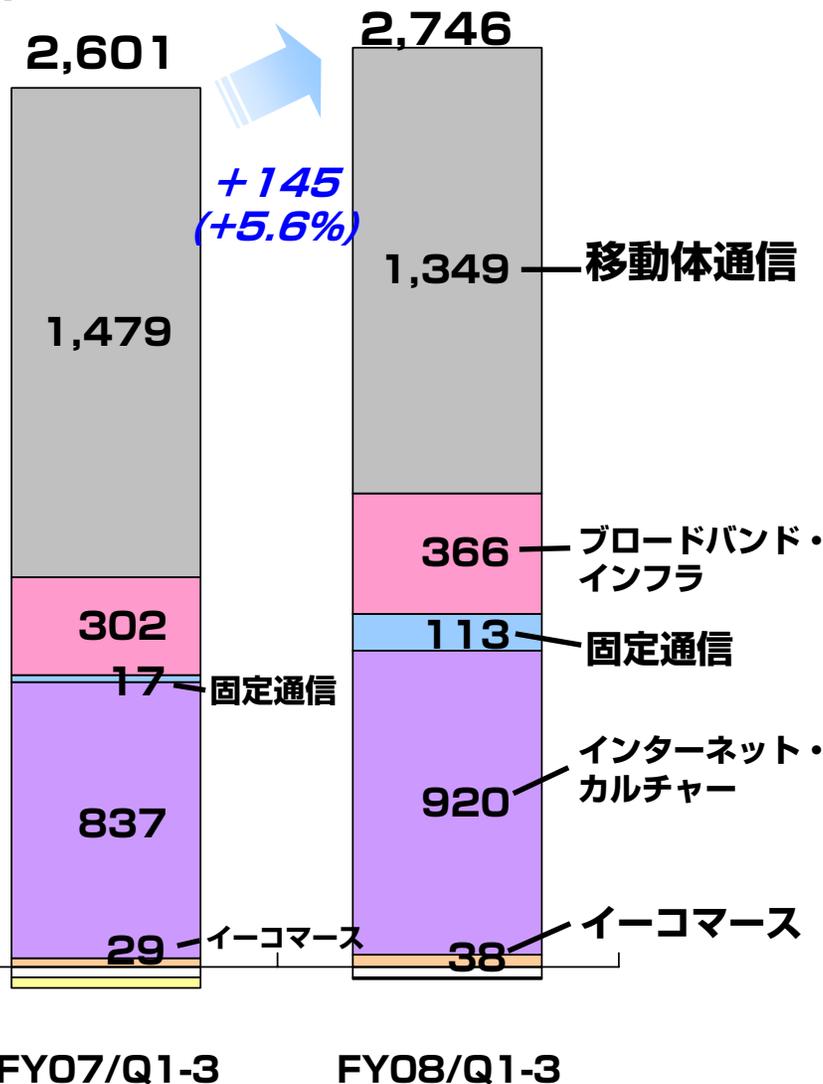
## インターネット・カルチャー事業 +129億

- ・広告事業の増加（グロス表示ベース）+312億
- ・売上高の一部をグロス表示からネット表示に変更したことによる影響額 ▲221億

# 連結営業利益

<P/L-3>

<億円>



## 移動体通信事業 ▲130億

- ・売上高の減少 ▲697億
- ・売上原価の減少:
  - 〔 端末出荷台数減少などによる減少 +636億円 〕
  - 減価償却費の増加 ▲139億円
- ・販売費および一般管理費の減少:
  - 〔 販売促進費の減少 +83億 〕
  - ポイント費用の減少 +80億
  - 販売手数料・代理店手数料の減少 +36億
  - 貸倒引当金繰入の増加 ▲39億

## ブロードバンド・インフラ事業 +63億

- ・売上高の減少 ▲157億
- ・通信サービス回線、減価償却費などの売上原価の減少 +103億
- ・販売費および一般管理費の減少
  - 〔 販売手数料の減少 +90億 〕
  - 販売促進費の減少 +31億

## 固定通信事業 +96億

- ・売上高の減少 ▲27億
- ・アクセスチャージなど通信設備使用料の減少 +112億
- ・業務委託費の減少 +13億

## インターネット・カルチャー事業 +82億

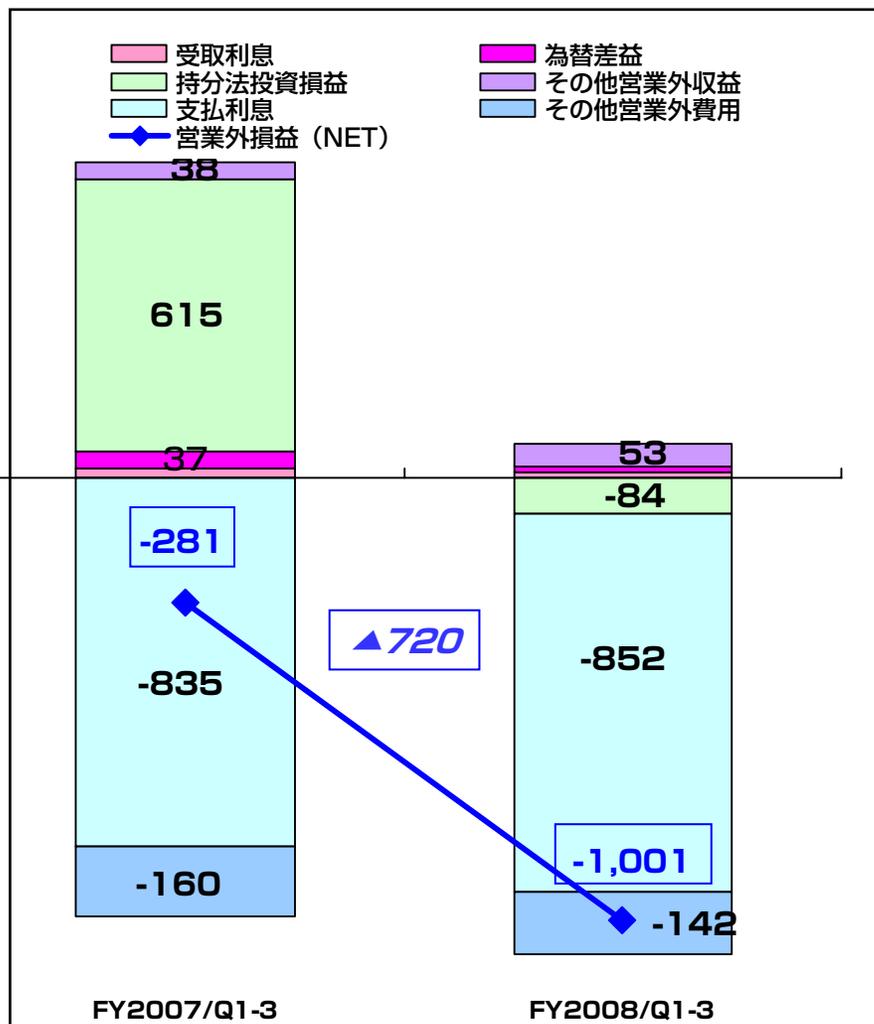
- ・売上高の増加 +129億
- ・オーバーチュア前年度Q2新規連結に伴う原価の増加 ▲49億
- ・人件費の増加 ▲41億

# 営業外損益と経常利益

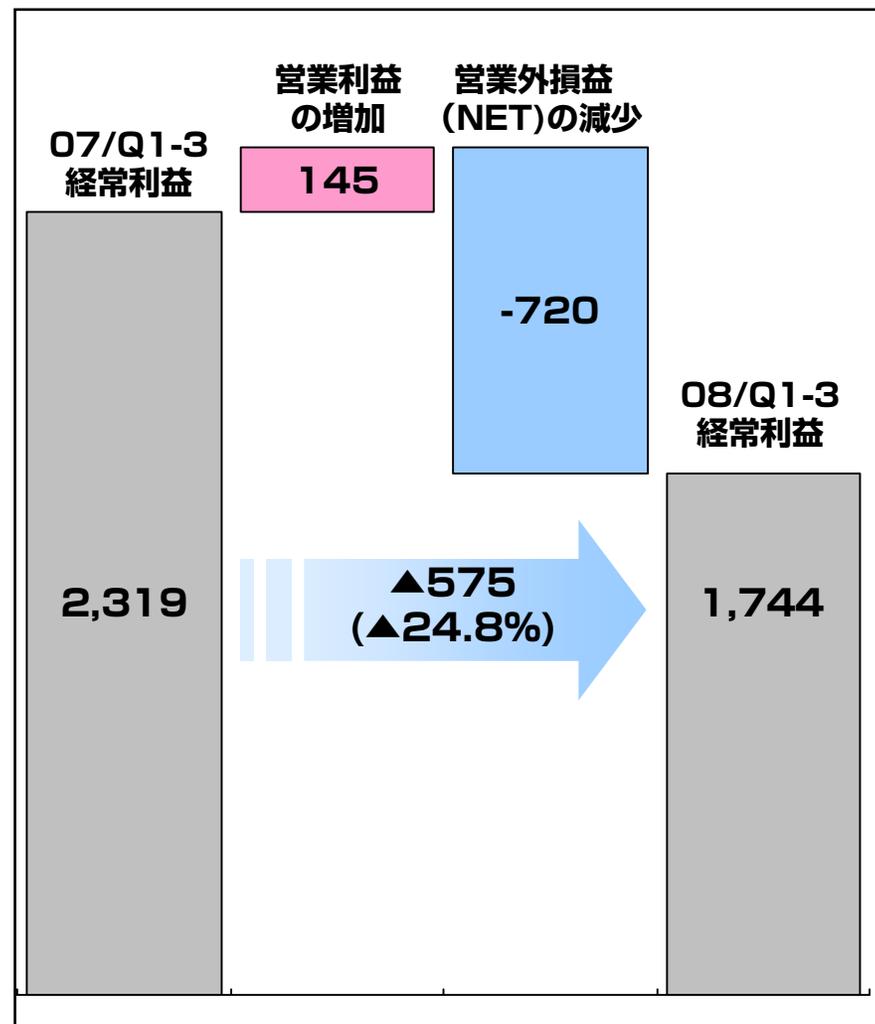
<P/L-4>

<億円>

## 営業外損益



## 経常利益



# 持分法による投資損益の増減

<P/L-5>

<億円>

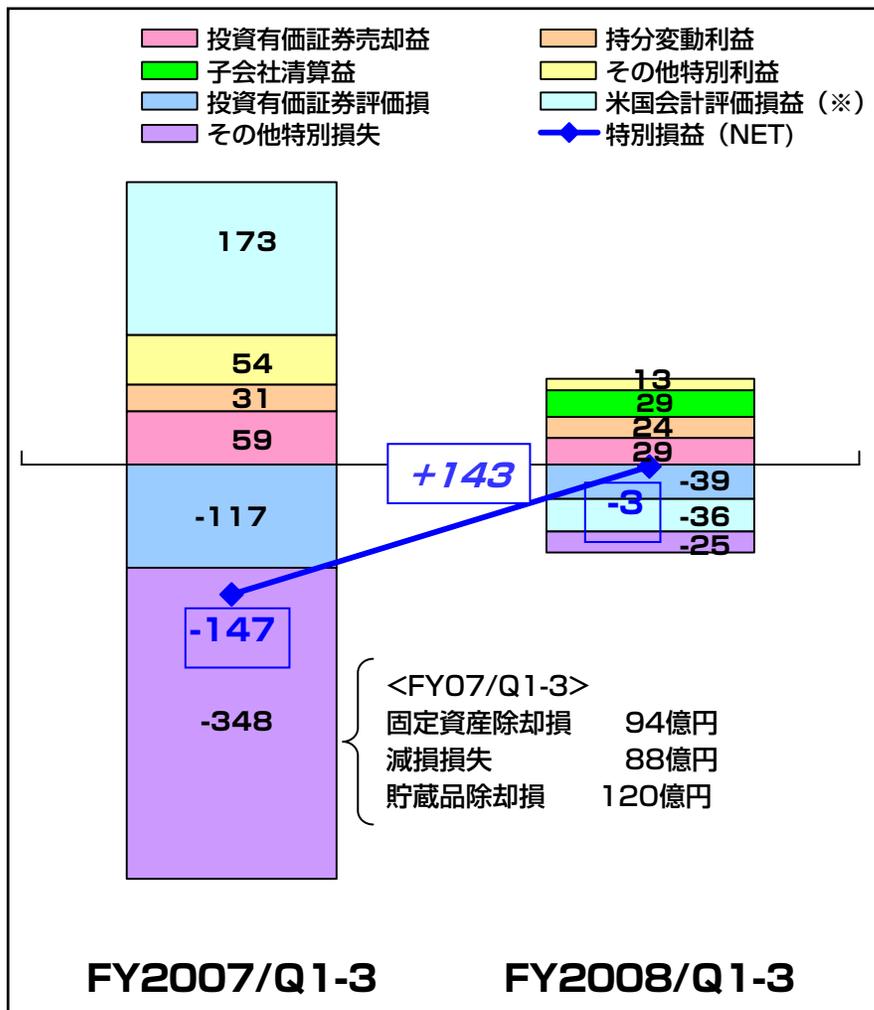
	FY07 Q1-3	FY08 Q1-3	増減
持分法による投資損益 (NET)	615	▲84	▲700
(主な増減)			
Alibaba Group Holding Limited の子会社の上場に伴う利益計上	572	-	▲572
持分法適用会社で運用するファンドか らの損益計上	99	▲41	▲141

# 特別損益と税金等調整前四半期純利益

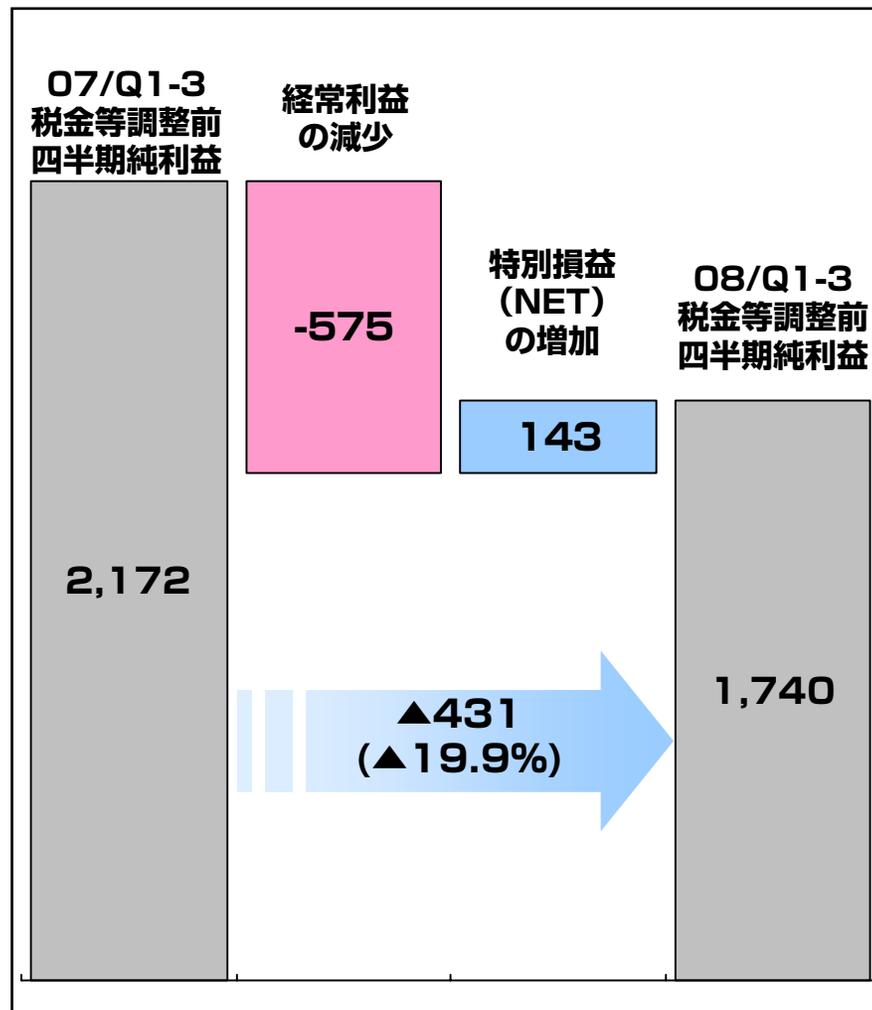
<P/L-6>

<億円>

## 特別損益



## 税金等調整前四半期純利益

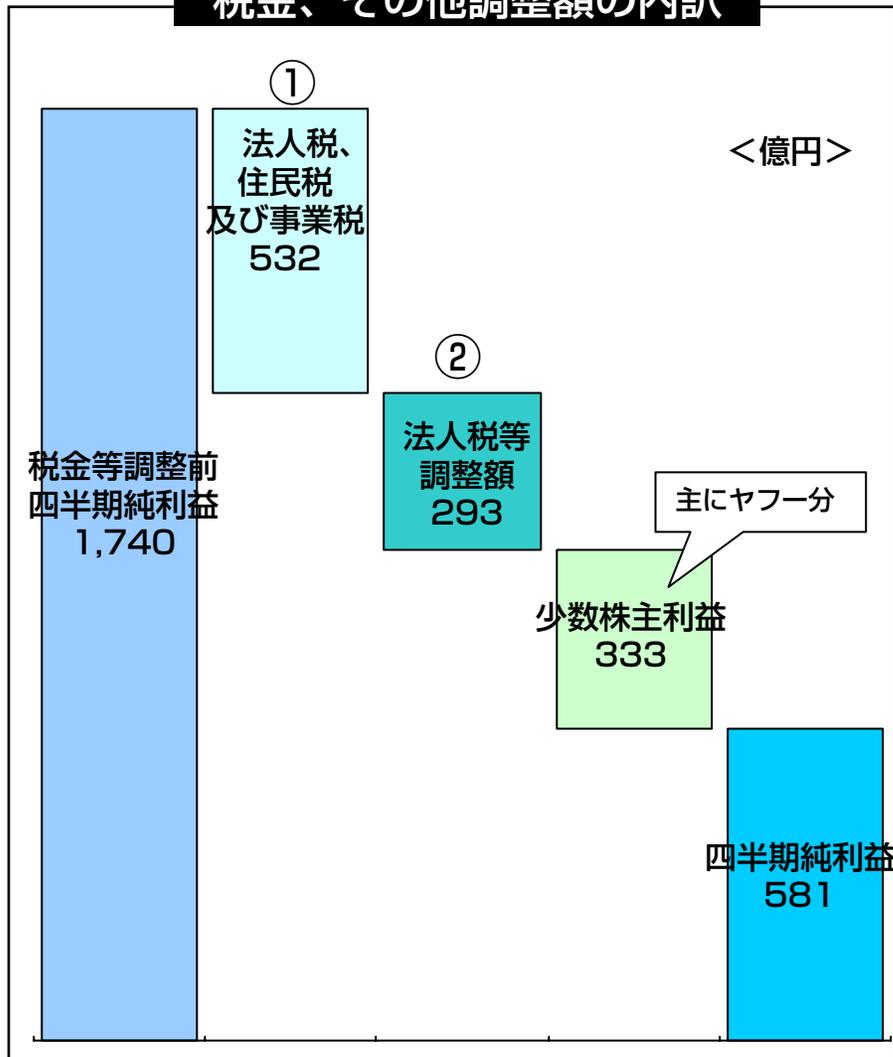


(※) 米国子会社の投資会社会計に基づく投資有価証券評価及び売却損益を純額で表示

# 税金・その他調整額の内訳、税率差異

<P/L-7>

## 税金、その他調整額の内訳



## 主な税金費用等の内訳

<億円>

①	・ヤフー	376	532
	・BBM連結納税グループ	189	
②	・BBM 繰越欠損金等利用	265	293
	・SBM 減価償却等調整額	90	
	・SBM 一時差異計上	▲68	
	・SBB 繰延税金資産計上	▲26	
税金費用合計(①+②)			826

## 主な税率差異の要因

<億円>

	%	金額
税金等調整前四半期純利益		1,740
法定実効税率	40.7%	708
(主な税率差異要因)		
のれん償却 (主にSBM)	10.6%	183
評価性引当額の減少 (主にSBB)	▲5.3%	▲91
その他	1.4%	26
法人税等の負担率	47.4%	826

# 繰越欠損金 (2008年12月末)

<P/L-8>

<億円>

	残高 (課税所得ベース)	残高 (税金ベース)	評価性引当額	繰延税金資産 BS計上額
全社合計	3,734	1,515	1,260	254

会社名	残高 (課税所得ベース)	当期使用額 (課税所得ベース)	有効期限
BBモバイル	344	▲857	2009年3月～2015年3月
ソフトバンクテレコム	921	-	2013年3月～2015年3月
ソフトバンクIDC	647	▲19	2009年3月～2013年3月
ソフトバンクBB	388	▲275	2012年3月～2013年3月
その他	1,434	▲114	2009年3月～2015年3月
全社合計	3,734	▲1,265	

**連結P/L增減分析**

**連結B/S增減分析**

**連結C/F增減分析**

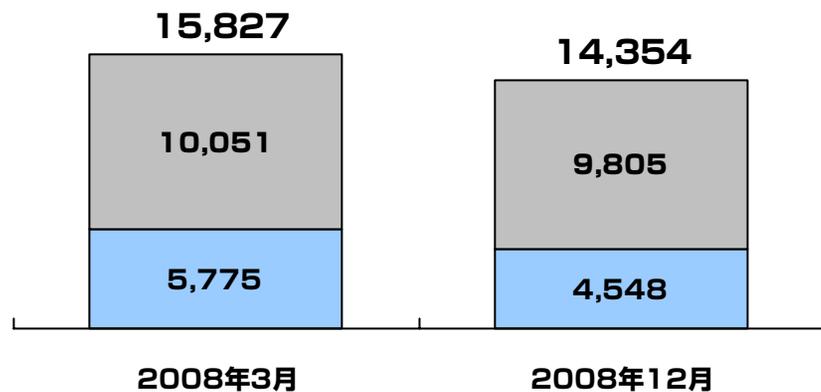
# 連結B/S 総括

<B/S-1>

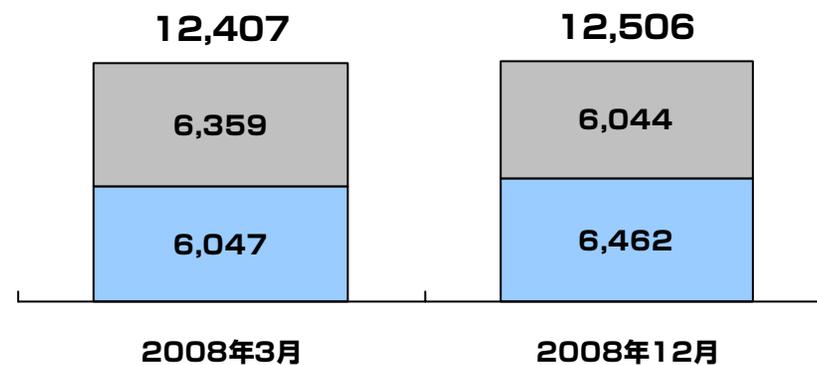
■ SBM ■ SBM以外

<億円>

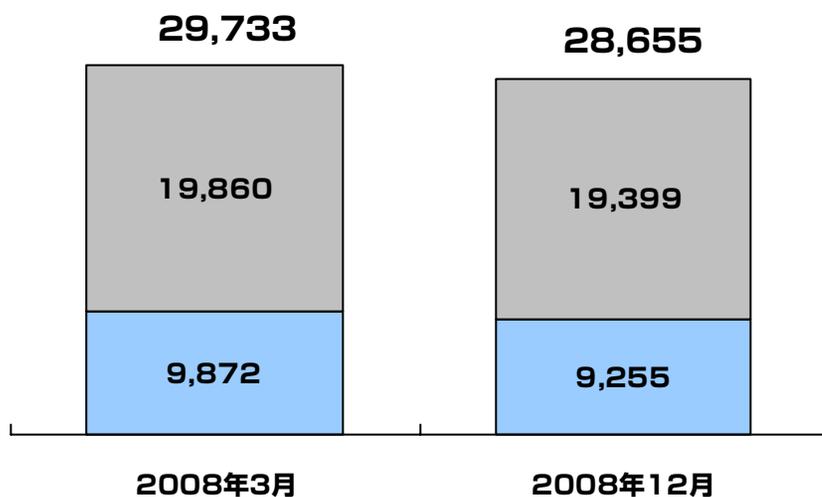
流動資産



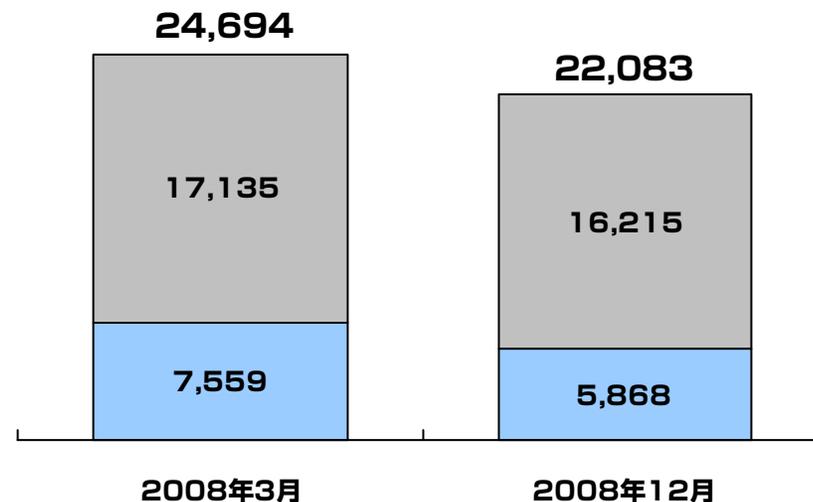
流動負債



固定資産



固定負債



# 連結B/S (1) 流動資産

<B/S-2>

<億円>

資産	2008年3月末	2008年12月末	増減	摘要
流動資産	15,827	14,354	▲1,472	
SBM	10,051	9,805	▲245	
その他	5,775	4,548	▲1,226	
現金及び預金	4,911	3,833	▲1,078	
SBM	2,369	2,021	▲348	営業活動による増加 (+1,834) 割賦債権流動化 (調達+1,482、返済▲1,484) 新規取得設備のリース化による調達 (入金+660、返済▲601) 固定資産取得による支出 (▲1,505) SBM借入返済 (▲687)
その他	2,541	1,811	▲730	SB単体: 08/3末 (578) →08/12末 (467) 内訳/借入金 (+821) 第20回社債償還 (▲125)、第21回社債償還 (▲200) 第23回社債償還 (▲200)、利息の支払い (▲194) OPI等株式取得 (▲170)、配当支払 (▲26) ヤフー: 08/3末 (972) →08/12末 (527) 内訳/営業活動による増加 (+427※法人税等支払 (▲538) 後) 自己株式取得 (▲519)、借入金返済 (▲200) 固定資産取得 (▲82) 配当支払 (▲62)
受取手形及び売掛金	8,877	8,832	▲44	
SBM	6,830	7,122	292	携帯電話端末の割賦売掛金 08/3末 (4,795) →08/12末 (5,191) 通信収入等売掛金 08/3末 (1,316) →08/12末 (1,388) 携帯電話端末販売 (代理店向け) 08/3末 (699) →08/12末 (537)
その他	2,046	1,710	▲336	SBB : 08/3末 (891) →08/12末 (720) SBTM : 08/3末 (668) →08/12末 (464)
商品	581	480	▲100	
SBM	462	349	▲113	携帯電話端末など
その他	118	131	12	
繰延税金資産	1,058	828	▲229	
SBM	521	533	12	
その他	537	295	▲241	
その他	1,082	1,333	250	
SBM	469	650	180	未収入金 08/3末 (241) →08/12末 (367)
その他	612	683	70	
貸倒引当金	▲683	▲954	▲270	
SBM	▲601	▲871	▲269	
その他	▲81	▲82	▲1	

# 連結B/S (2) 有形固定資産

<B/S-3>

<億円>

資産	2008年3月末	2008年12月末	増減	摘要
固定資産	29,733	28,655	▲1,078	
SBM	19,860	19,399	▲461	
その他	9,872	9,255	▲616	
有形固定資産	10,292	10,105	▲186	
SBM	6,929	6,884	▲45	
その他	3,362	3,221	▲141	
建物及び構築物	757	737	▲19	
SBM	315	300	▲14	ネットワークセンターなど
その他	442	437	▲5	SBTM: 08/3末 (289) →08/12末 (269)
通信機械設備	7,440	7,416	▲23	
SBM	5,914	5,944	29	
その他	1,525	1,472	▲53	SBTM: 08/3末 (1,049) →08/12末 (1,023) SBB : 08/3末 (445) →08/12末 (404)
通信線路設備	860	811	▲48	
SBM	93	91	▲2	
その他	766	720	▲45	SBTM: 08/3末 (766) →08/12末 (720)
土地	234	225	▲8	
SBM	107	107	0	
その他	126	117	▲9	SBTM: 08/3末 (71) →08/12末 (62) 、SBIDC (50)
建設仮勘定	455	382	▲73	
SBM	210	159	▲51	
その他	244	222	▲21	
その他	543	531	▲12	
SBM	286	280	▲5	
その他	256	250	▲6	

# 連結B/S (3) 無形固定資産

<B/S-4>

<億円>

資産	2008年3月末	2008年12月末	増減	摘要
無形固定資産	12,383	12,376	▲7	
SBM	11,196	10,841	▲355	
その他	1,186	1,534	348	
のれん	9,744	9,743	▲1	
SBM	9,299	8,914	▲385	償却による減少
その他	444	829	384	ソフトバンクテレコムパートナーズ (+228)、ヤフー (+191)
ソフトウェア	2,241	2,249	7	
SBM	1,826	1,857	31	
その他	415	391	▲24	
その他	396	383	▲13	
SBM	70	69	▲1	
その他	326	314	▲12	
投資その他の資産	7,057	6,173	▲884	
SBM	1,734	1,673	▲60	
その他	5,323	4,499	▲823	
投資有価証券	4,649	3,302	▲1,347	
SBM	31	18	▲13	
その他	4,618	3,283	▲1,334	Yahoo! Inc.株価下落など
繰延税金資産	1,268	1,245	▲23	
SBM	1,198	1,167	▲30	
その他	70	77	7	
その他	1,138	1,625	486	
SBM	503	487	▲16	
その他	634	1,138	503	SBH:デリバティブ資産 (+432)
繰延資産	28	16	▲11	
SBM	-	-	-	
その他	28	16	▲11	

当期 ヤフーの自己株式取得による計上  
金額：196億円 償却期間：20年

08年4月 子会社化による計上  
金額：246億円 償却期間：10年

# 連結B/S (4) 流動負債

<B/S-5>

<億円>

負債	2008年3月末	2008年12月末	増減	摘要
流動負債	12,407	12,506	99	
SBM	6,359	6,044	▲315	
その他	6,047	6,462	415	
支払手形及び買掛金	1,872	1,283	▲589	
SBM	1,133	762	▲371	携帯電話端末仕入債務の支払いなど
その他	738	520	▲218	SBB:08/3末(452)→08/12末(317) SBTM:08/3末(85)→08/12末(39)
短期借入金	4,485	5,576	1,091	
SBM	1,659	1,860	200	割賦債権流動化スキーム一年内借入金(+201)
その他	2,825	3,716	890	SB単体:08/3末(2,180)→08/12末(3,035) SBTM:08/3末(320)→08/12末(405) ヤフー:08/3末(200)→08/12末(200)
1年内償還予定の社債	525	450	▲75	
SBM	-	-	-	
その他	525	450	▲75	SB単体:償還(第20回SB社債▲125、第21回SB社債▲200、 第23回SB社債▲200) SBTM:長期から振替え(+450)
未払金及び未払費用	3,644	3,130	▲514	
SBM	2,623	2,234	▲388	主に設備、経費の未払
その他	1,021	895	▲125	SBB:08/3末(307)→08/12末(147) SBTM:08/3末(374)→08/12末(452)
リース債務	697	831	134	
SBM	697	827	129	長期からの振替え(+731)、リース料支払い(▲601)
その他	0	4	4	
その他	1,180	1,234	53	
SBM	245	358	113	
その他	935	875	▲59	

新リース会計基準の処理。2008年4月1日より前の取引については引き続き賃貸借処理で注記対応

# 連結B/S (5) 固定負債

<B/S-6>

<億円>

負債	2008年3月末	2008年12月末	増減	摘要
固定負債	24,694	22,083	▲2,611	
SBM	17,135	16,215	▲920	
その他	7,559	5,868	▲1,691	
社債	4,452	3,946	▲505	
SBM	-	-	-	
その他	4,452	3,946	▲505	SB単体:買入償還 (▲56) SBTM:一年内償還予定社債へ振替え (▲450)
長期借入金	15,866	14,349	▲1,517	
SBM	14,142	13,251	▲890	SBM借入 08/3末 (12,764) →08/12末 (12,077) ポータフォン劣後ローン 08/3末 (845) →08/12末 (845) 割賦債権流動化による借入 08/3末 (532) →08/12末 (328)
その他	1,724	1,097	▲626	SB単体: 08/3末 (200) →08/12末 (50) ヤフー: 08/3末 (300) →08/12末 (100)
繰延税金負債	419	324	▲95	
SBM	-	-	-	
その他	419	324	▲95	
ポイント引当金	438	402	▲35	
SBM	438	402	▲35	利用顧客に対するポイント割引
その他	-	-	-	
リース債務	2,414	2,360	▲54	
SBM	2,414	2,343	▲70	新規調達 (+660)、一年内へ振替え (▲731)
その他	0	16	16	
その他	1,103	699	▲403	
SBM	140	217	77	
その他	963	482	▲480	SBH:デリバティブ負債 (▲205) SBB:長期前受収益 (モデムレンタル事業証券化の前受ロイヤリティの残高) 08/3末 (159) →08/12末 (51)

リース取引についてはP19を参照

# 連結B/S (6) 純資産

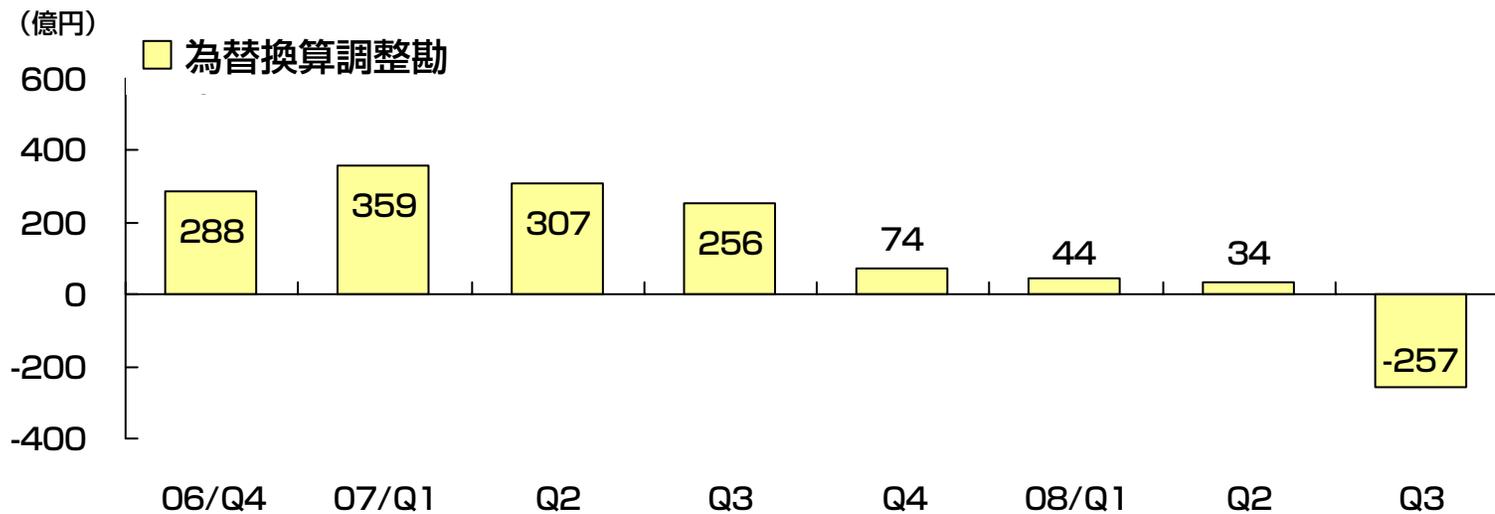
<B/S-7>

<億円>

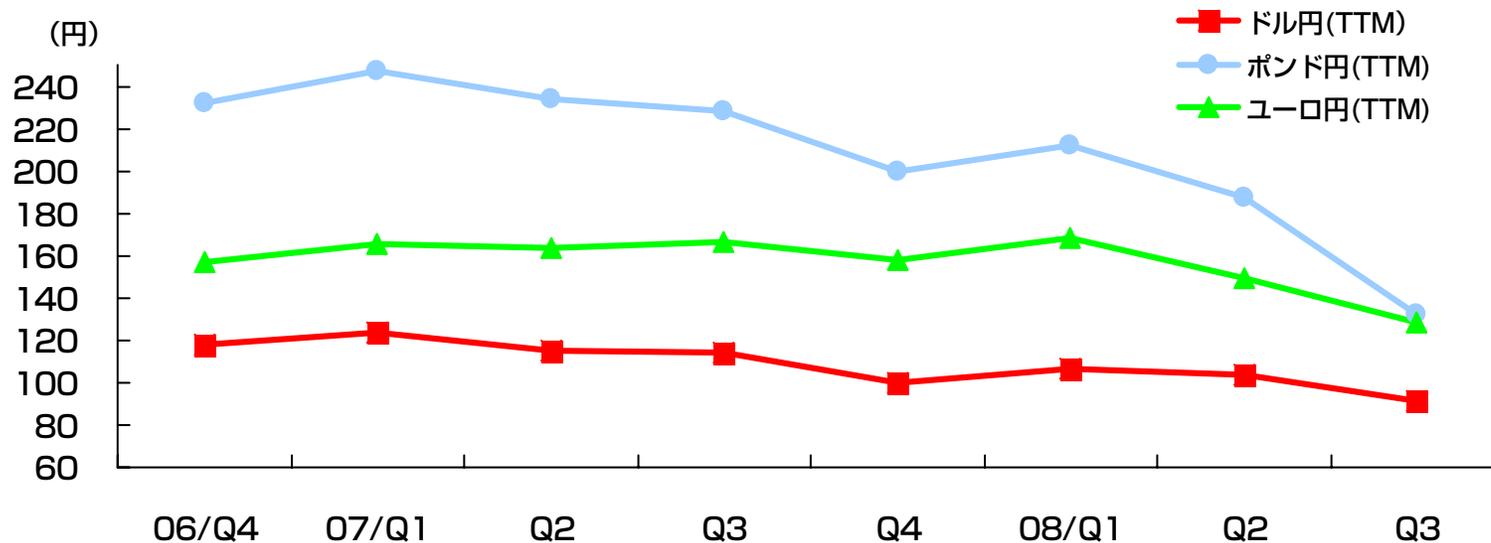
純資産	2008年3月末	2008年12月末	増減	摘要
純資産の部	8,487	8,436	▲50	
株主資本	3,072	3,630	558	
資本金	1,874	1,876	2	
新株式申込証拠金	-	-	-	
資本剰余金	2,117	2,119	2	
利益剰余金	▲917	▲364	553	四半期純利益(+581)、配当支払(▲27)
自己株式	▲2	▲2	0	
評価・換算差額等	765	251	▲513	
その他有価証券評価差額金	809	262	▲546	Yahoo! Inc.株価下落など
繰延ヘッジ損益	▲118	246	364	
為替換算調整勘定	74	▲257	▲332	12月末為替レートが円高のため
新株予約権	1	2	1	
少数株主持分	4,648	4,552	▲96	BBM 08/12末 (3,000) ※Vodafone International Holdings B.V.に対する優先株 ヤフー 08/3末 (1,491) →08/12末 (1,389) ※ヤフーの自己株式取得に伴う減少

# [純資産]為替変動による為替換算調整勘定への影響

<B/S-8>

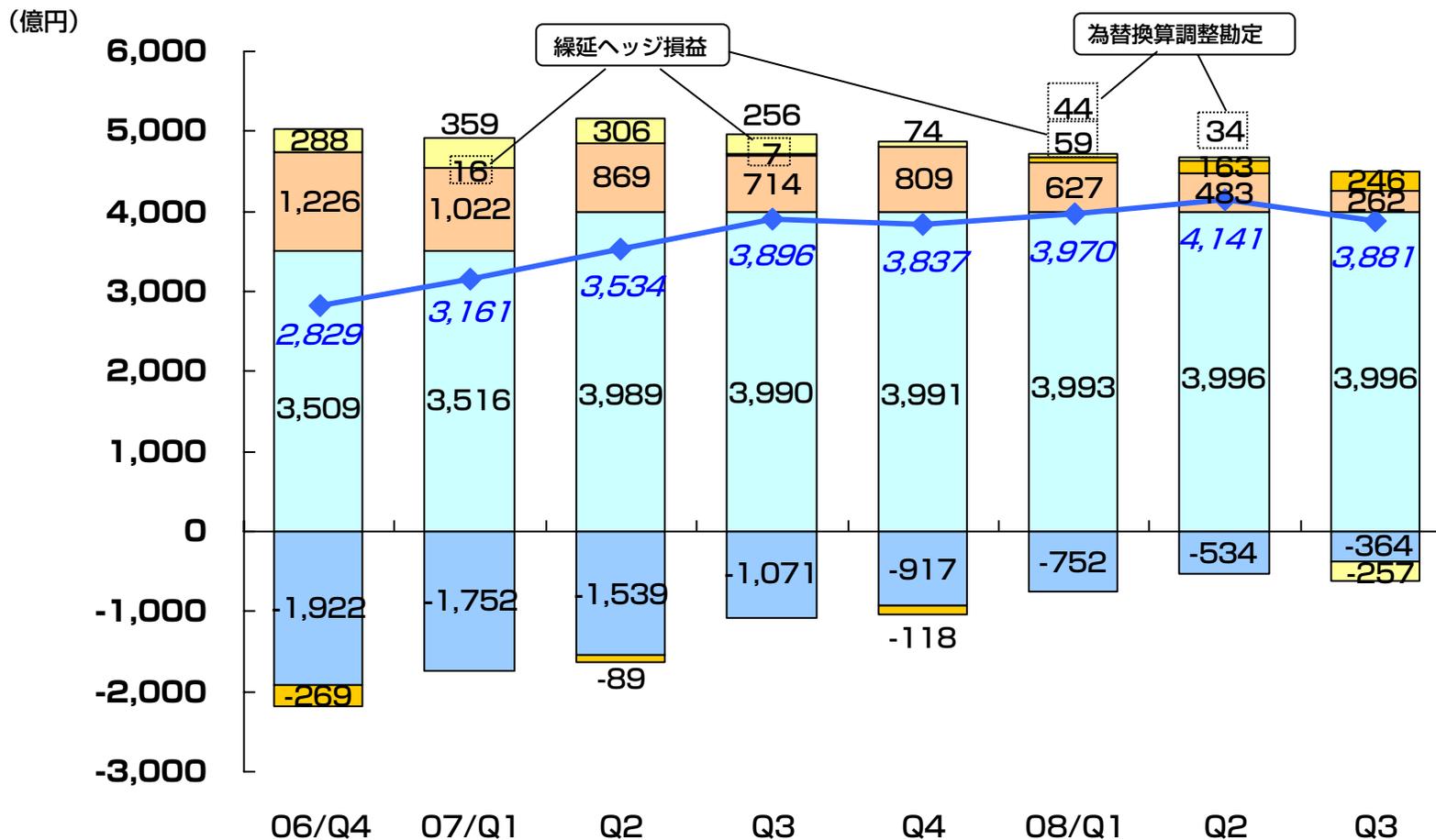
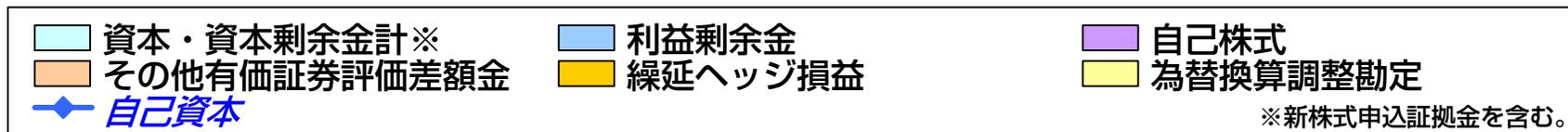


<参考> 主要な為替レートの推移



# [純資産]自己資本の推移

<B/S-9>



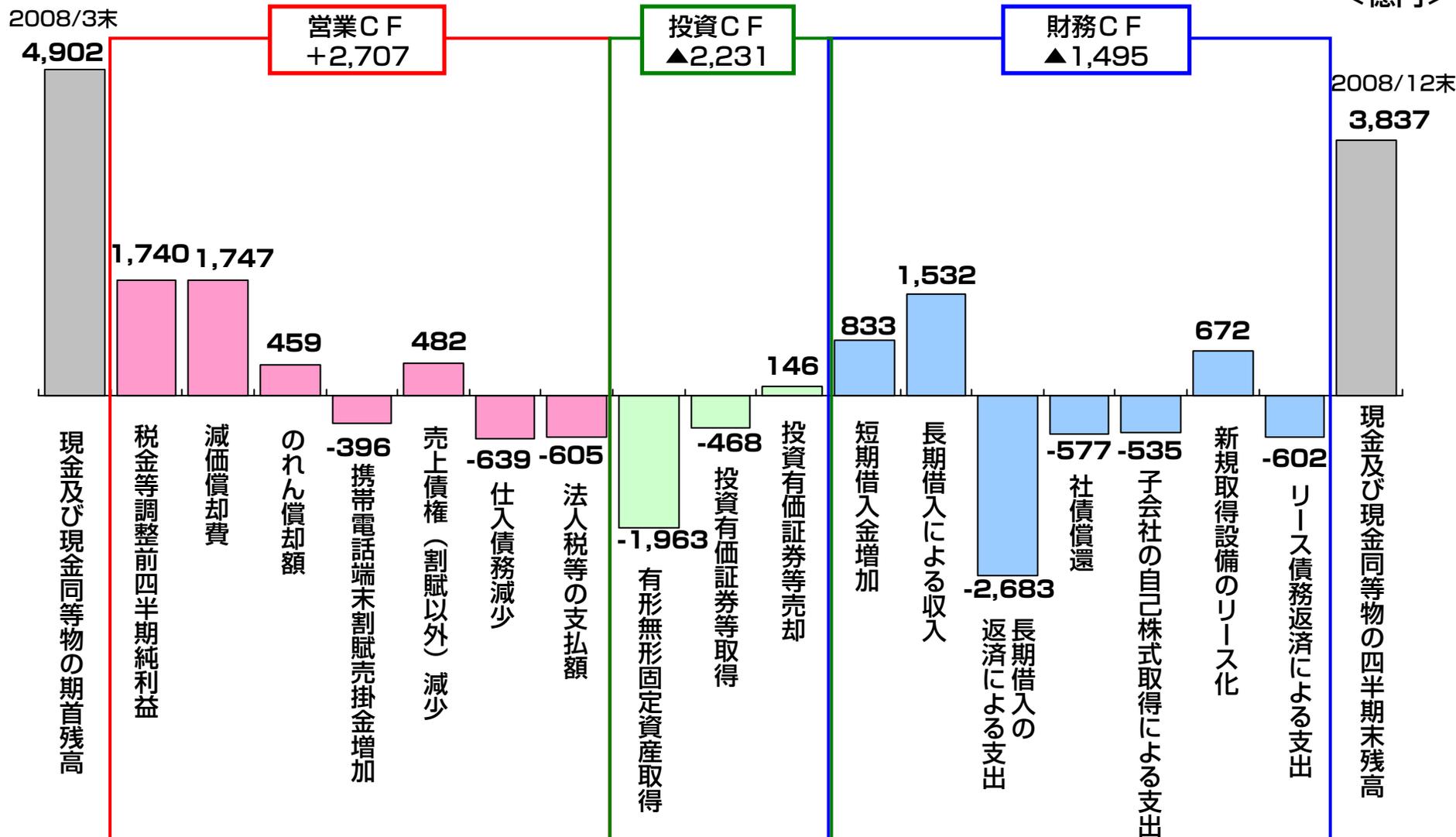
**連結P/L增減分析**

**連結B/S增減分析**

**連結C/F增減分析**

# 連結キャッシュ・フロー 主な内訳

<C/F-1>

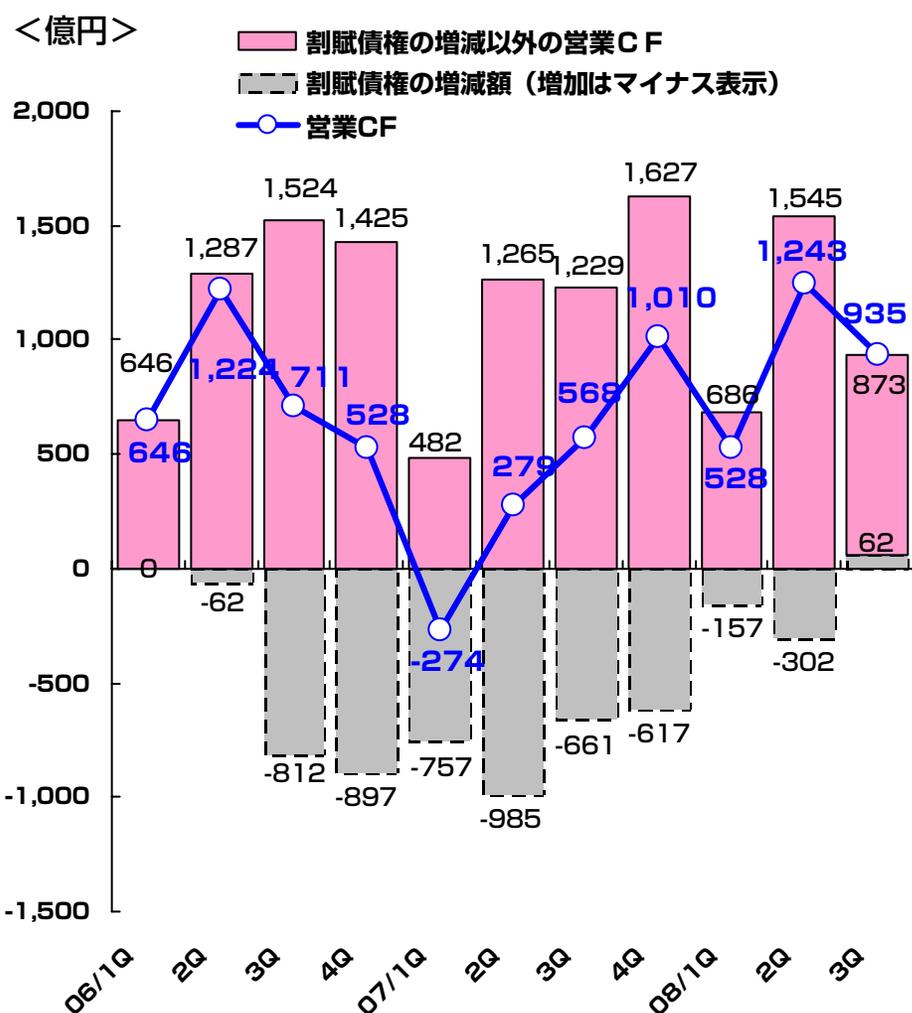


※連結キャッシュ・フロー計算書に記載している項目のうち、金額の大きいものを記載しています。

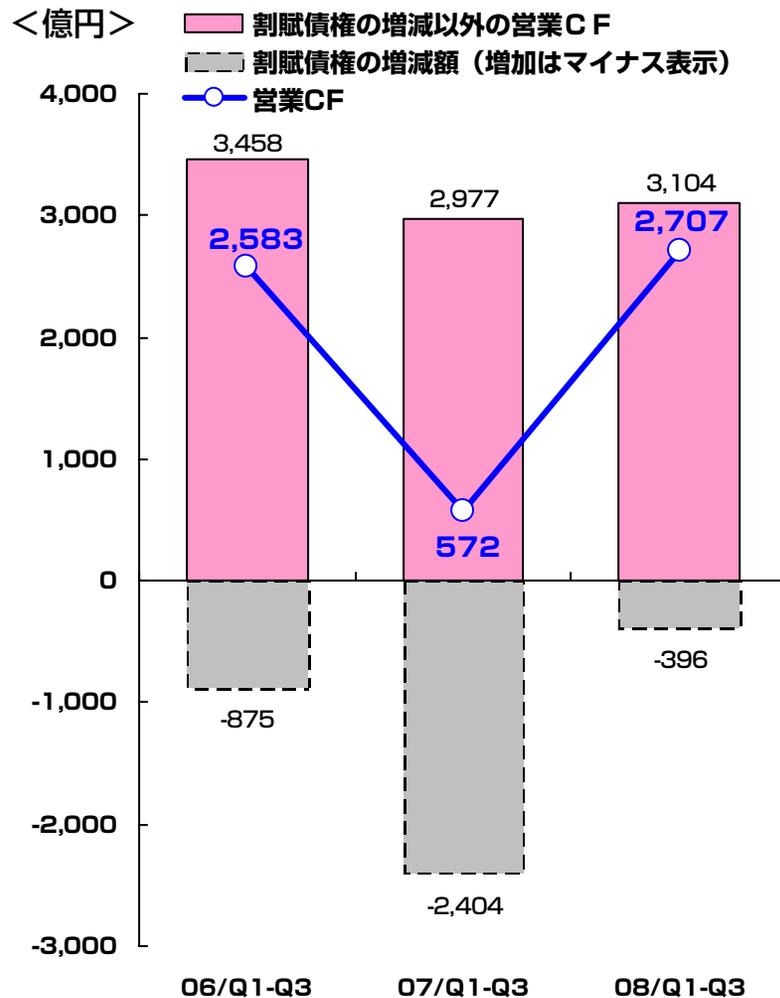
# 営業キャッシュ・フロー

<C/F-2>

## 営業キャッシュ・フロー：四半期推移



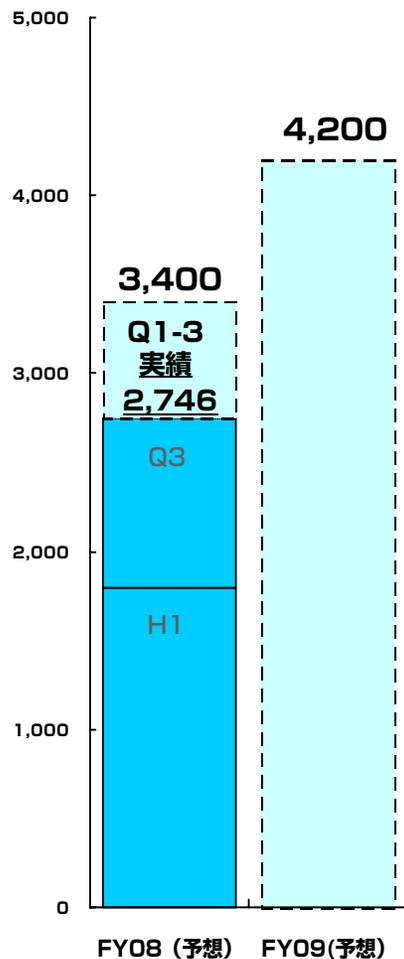
## 営業キャッシュ・フロー：9カ月累計



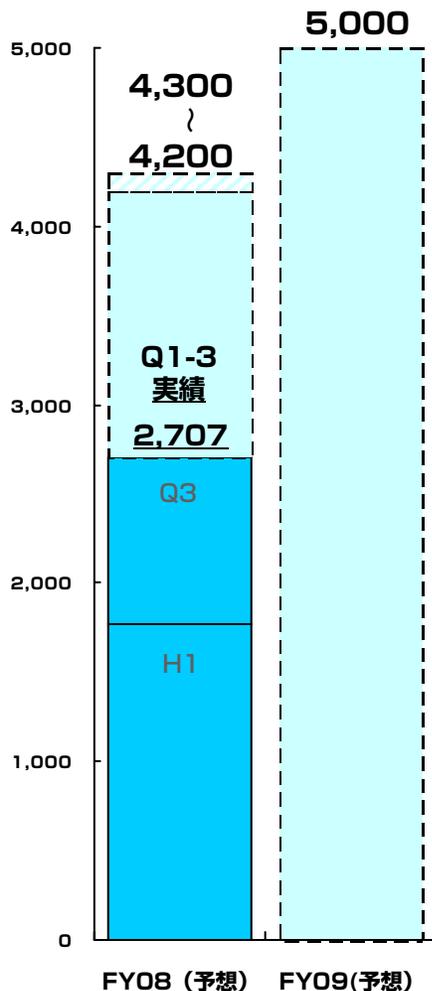
# 業績の見通し

<億円>

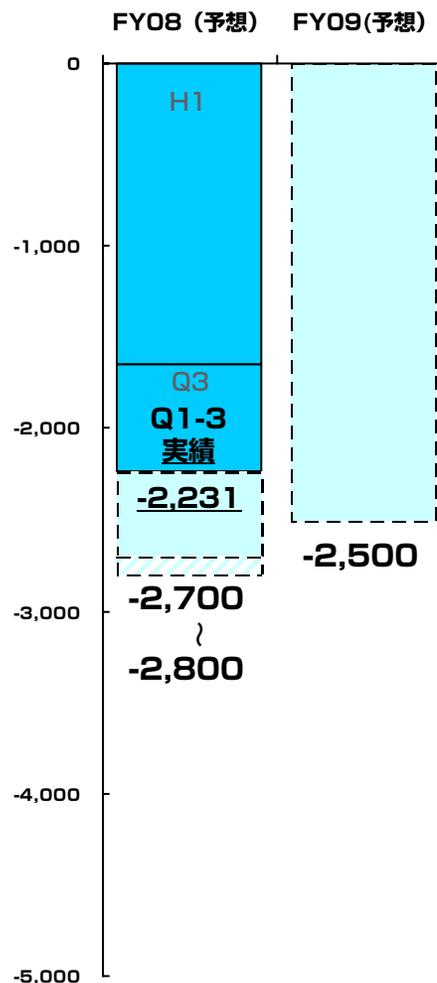
営業利益



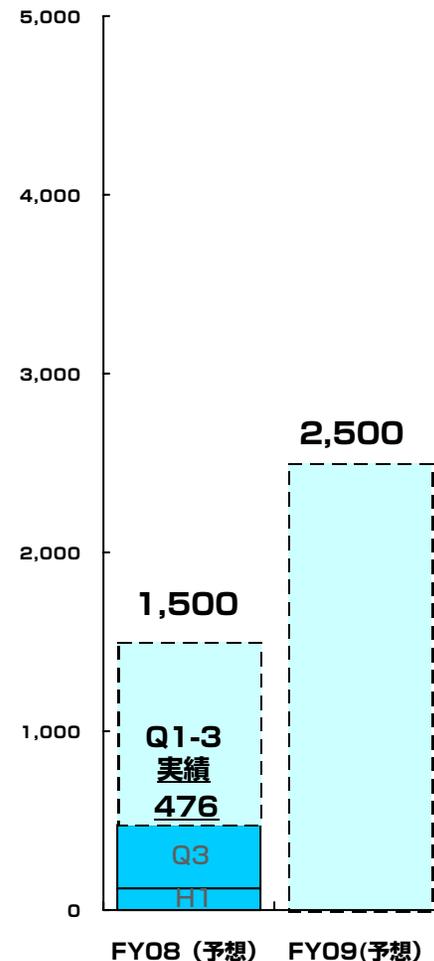
営業キャッシュ・フロー



投資キャッシュ・フロー



フリー・キャッシュ・フロー



# 連結範囲および持分法適用の範囲

		社数	主な会社名
連結子会社数		105	ソフトバンクモバイル、ソフトバンクBB、ソフトバンクテレコム、ヤフー、ソフトバンク・テクノロジー、アイティメディアなど
	新たに連結子会社となった会社数	7	ソフトバンクテレコムパートナーズ（※1）、アリババなど
	連結の範囲から除外された会社数	11	ブロードメディアなど
非連結子会社数 (=①+②)		73	重要性の低い小規模な会社
持分法適用非連結子会社数 ①		4	
	新たに持分法適用となった会社数	1	
持分法適用関連会社数		74	ガンホー・オンライン・エンターテイメント、マイスペース、Alibaba Group Holding Limitedなど
	新たに持分法適用となった会社数	14	ブロードメディアなど
	持分法適用から除外された会社数	4	
持分法非適用非連結子会社数 ②		69	重要性の低い小規模な会社
持分法非適用関連会社数		22	重要性の低い小規模な会社

	連結子会社数	持分法適用会社数	主なグループ会社	主な事業内容
移動体通信事業	6	2	ソフトバンクモバイル（SBM）	携帯電話サービスの提供、携帯電話端末の販売など
ブロードバンド・インフラ事業	4	3	ソフトバンクBB（SBB）	ADSL、光ファイバーによる高速インターネット接続サービス提供など
固定通信事業	4	-	ソフトバンクテレコム（SBTM）	固定通信サービス、データセンターサービスの提供など
インターネット・カルチャー事業	15	19	ヤフー	インターネット上の広告事業など
イーコマース事業	7	4	ソフトバンクBB、ベクター、カービュー	PC向けソフトウェア、PCや周辺機器等のハードウェアの流通、電子商取引など
その他の事業	69	50	ソフトバンク・テクノロジー、アイティメディア	テクノロジー・サービス事業、メディア・マーケティング事業、海外ファンド事業など
合計	105	78		

※1：2008年7月1日に日本テレコムインボイスから商号を変更

※2：SBB、SBTM、ヤフーは複数のセグメントに属する事業を営んでいますが、SBBはブロードバンド・インフラ事業、SBTMは固定通信事業、ヤフーはインターネット・カルチャー事業の連結子会社にそれぞれ含めています。

# 財務編

---

ソフトバンク株式会社  
財務部長 兼 関連事業室長

後藤 芳光

# 今年度の財務戦略

## 適正レバレッジ追求のステージへ

- ◆事業毎のFCF最大化および有利子負債の削減
- ◆各種負債系財務指標および自己資本比率の着実な改善
- ◆上記テーマの遂行の結果としての格付向上

## マーケット環境変化に対する機動的対応

- ◆市場毎の財務リスク極小化
- ◆多様な調達手法の確保と環境に応じた最適選択
- ◆目的別及び事業主体別の調達コストの適正化

## 事業拡大スピードをカバーできるトップレベルのIR

- ◆四半期毎に国内、海外におけるIRミーティングを積極継続
- ◆すべての投資家層へのアプローチ
- ◆デット、エクイティ両方のマーケットの要請に徹底対応

# 当第3四半期における主な財務活動

年月	内容	金額
2008年4月	Oak Pacific Interactiveへの投資	102億円
	ソフトバンクテレコムパートナーズ(※)への投資	255億円
2008年6月	第20回無担保普通社債償還	125億円
	割賦債権流動化（第5回）	453億円
2008年9月	第21回無担保普通社債償還	200億円
	コミットメントライン更改	2,010億円
	割賦債権流動化（第6回）	572億円
2008年11月	第23回無担保普通社債償還	200億円
2008年12月	割賦債権流動化（第7回）	456億円

(※) 2008年7月1日に日本テレコムインボイスから商号を変更

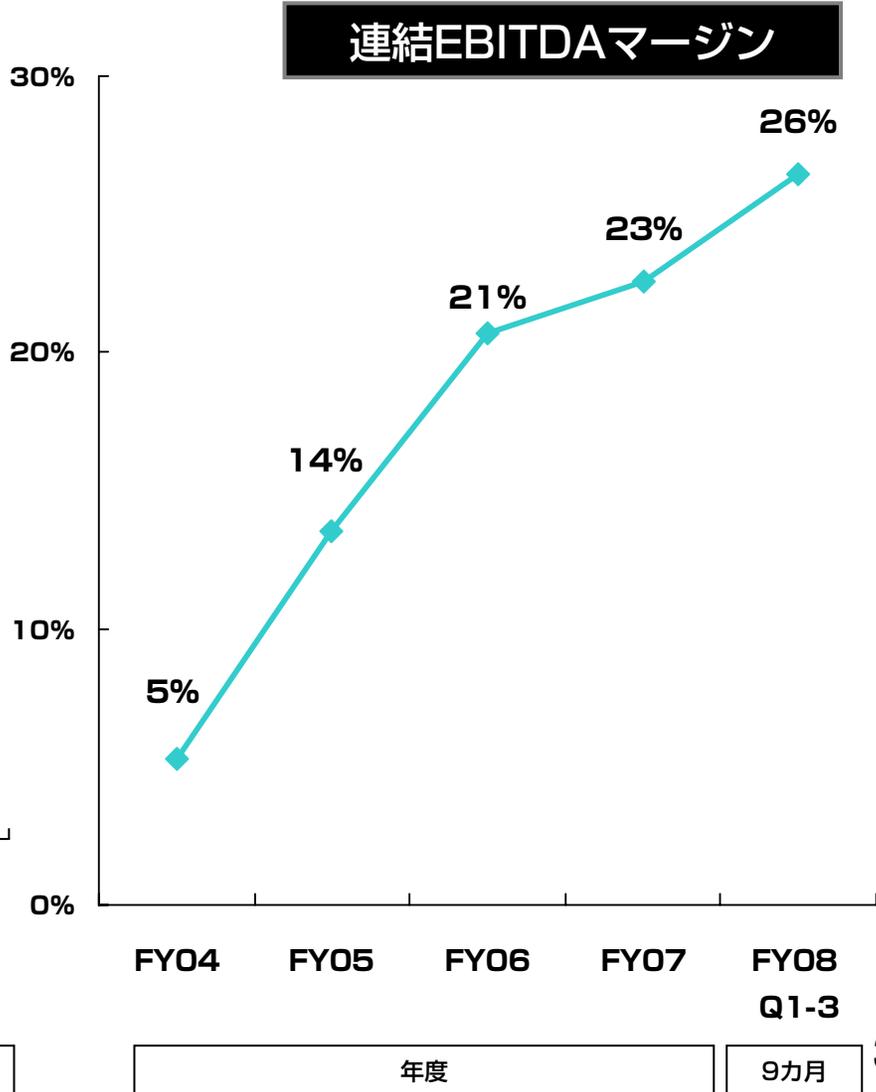
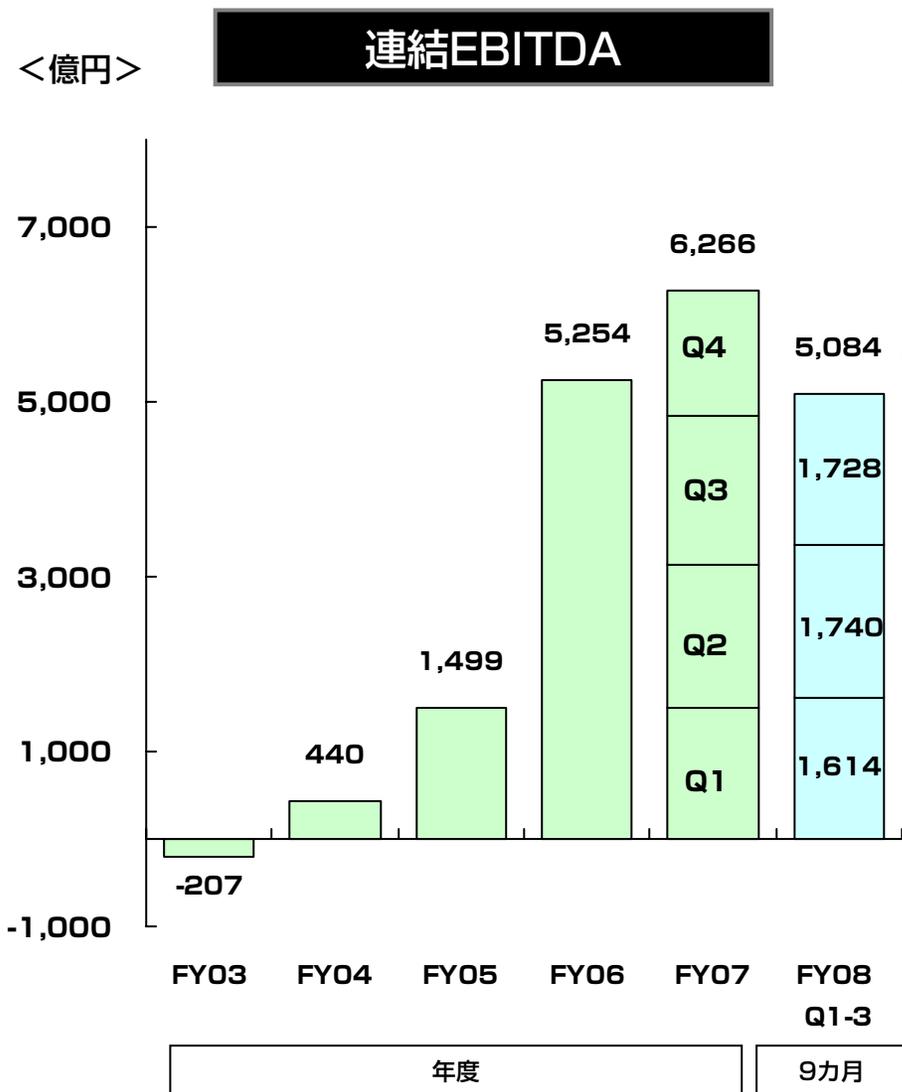
**返済原資および手元流動性**

**負債削減**

**各種財務指標**

# 連結EBITDA・EBITDAマージン

■事業からのキャッシュ・フローは着実に増加中

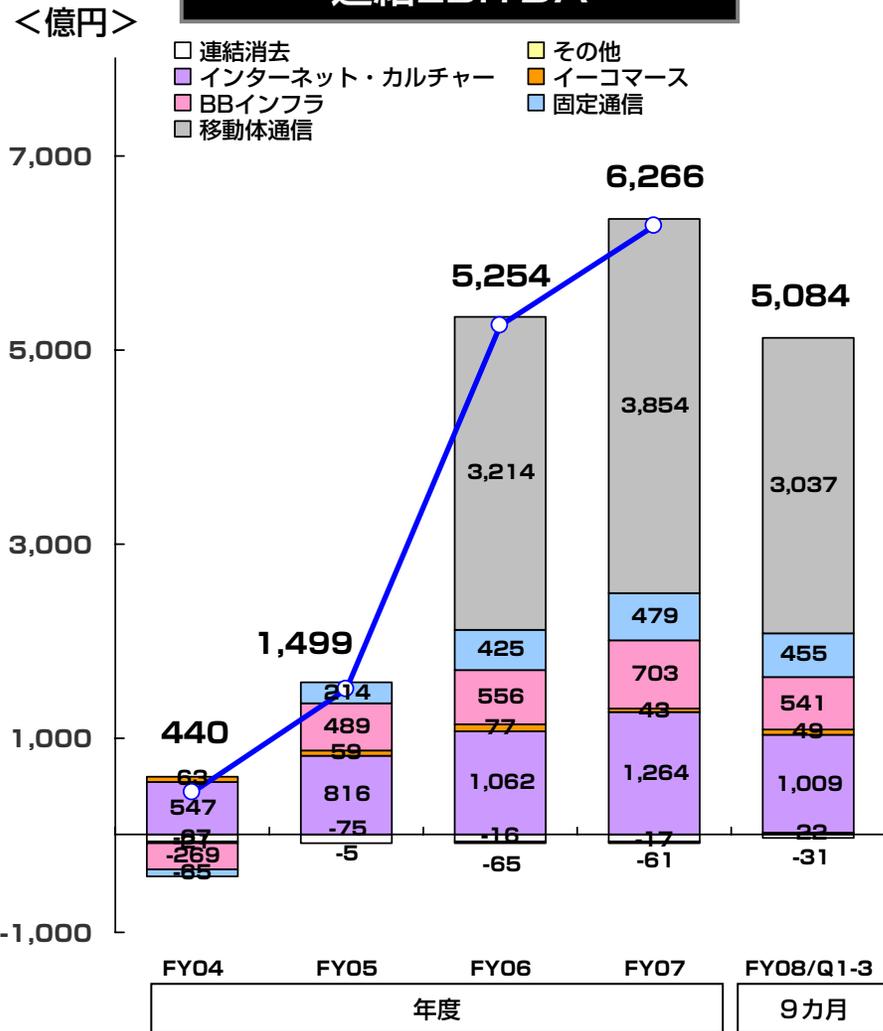


# EBITDA・EBITDAマージン（セグメント別）

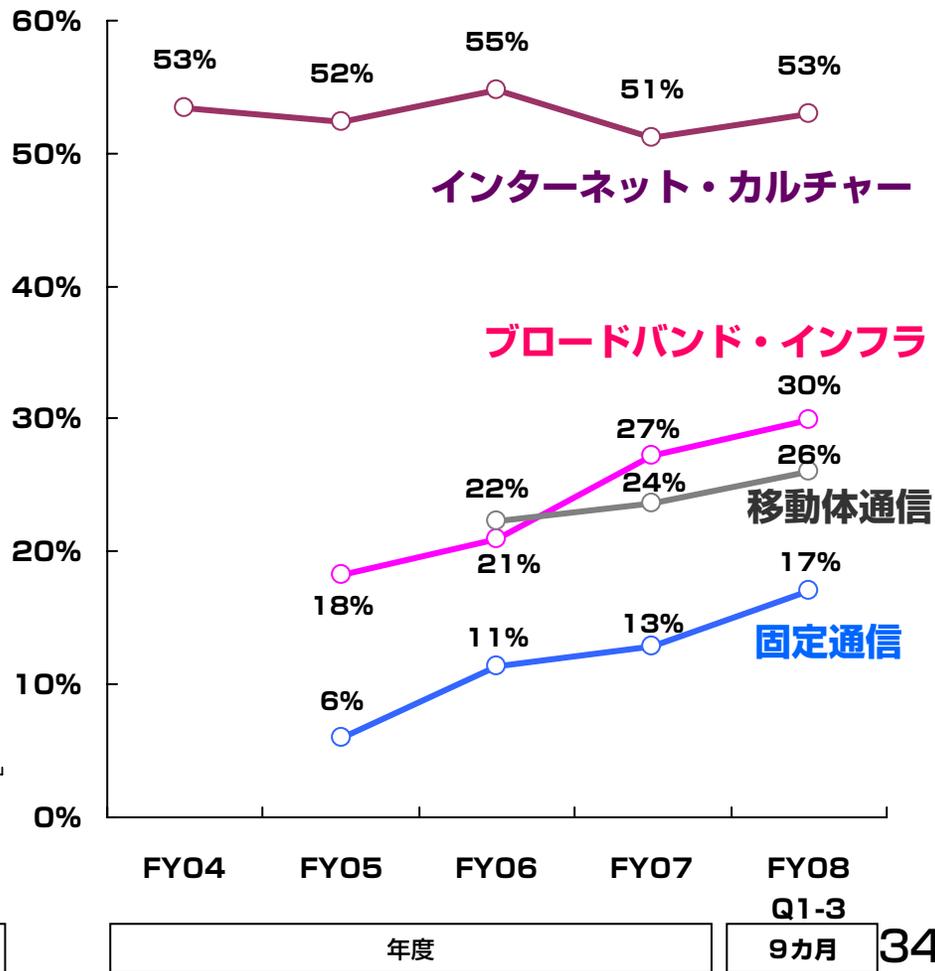
## ■各セグメントともにEBITDAは着実に成長

### 連結EBITDA

- 連結消去
- インターネット・カルチャー
- BBインフラ
- 移動体通信
- その他
- イーコマース
- 固定通信

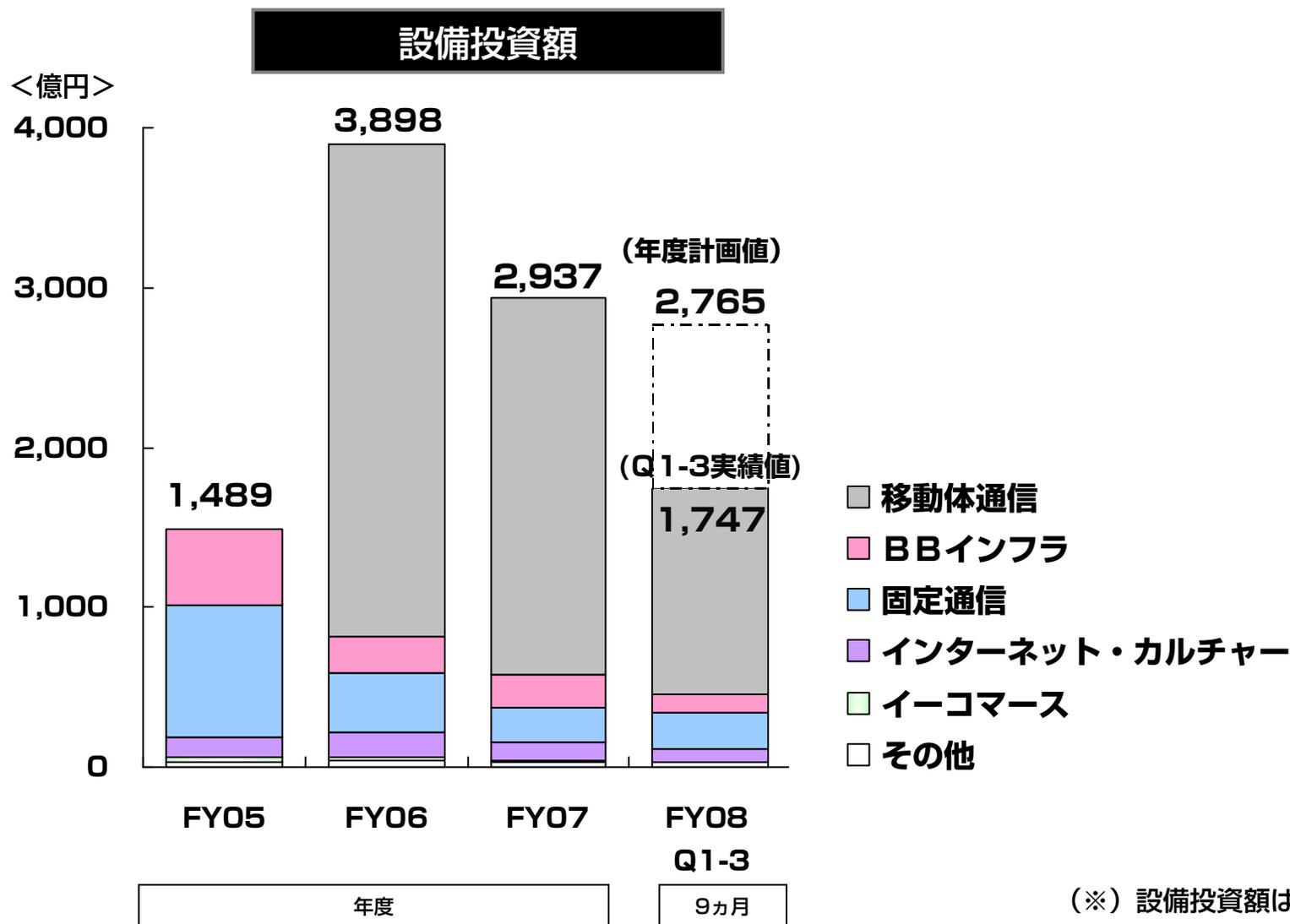


### EBITDAマージン



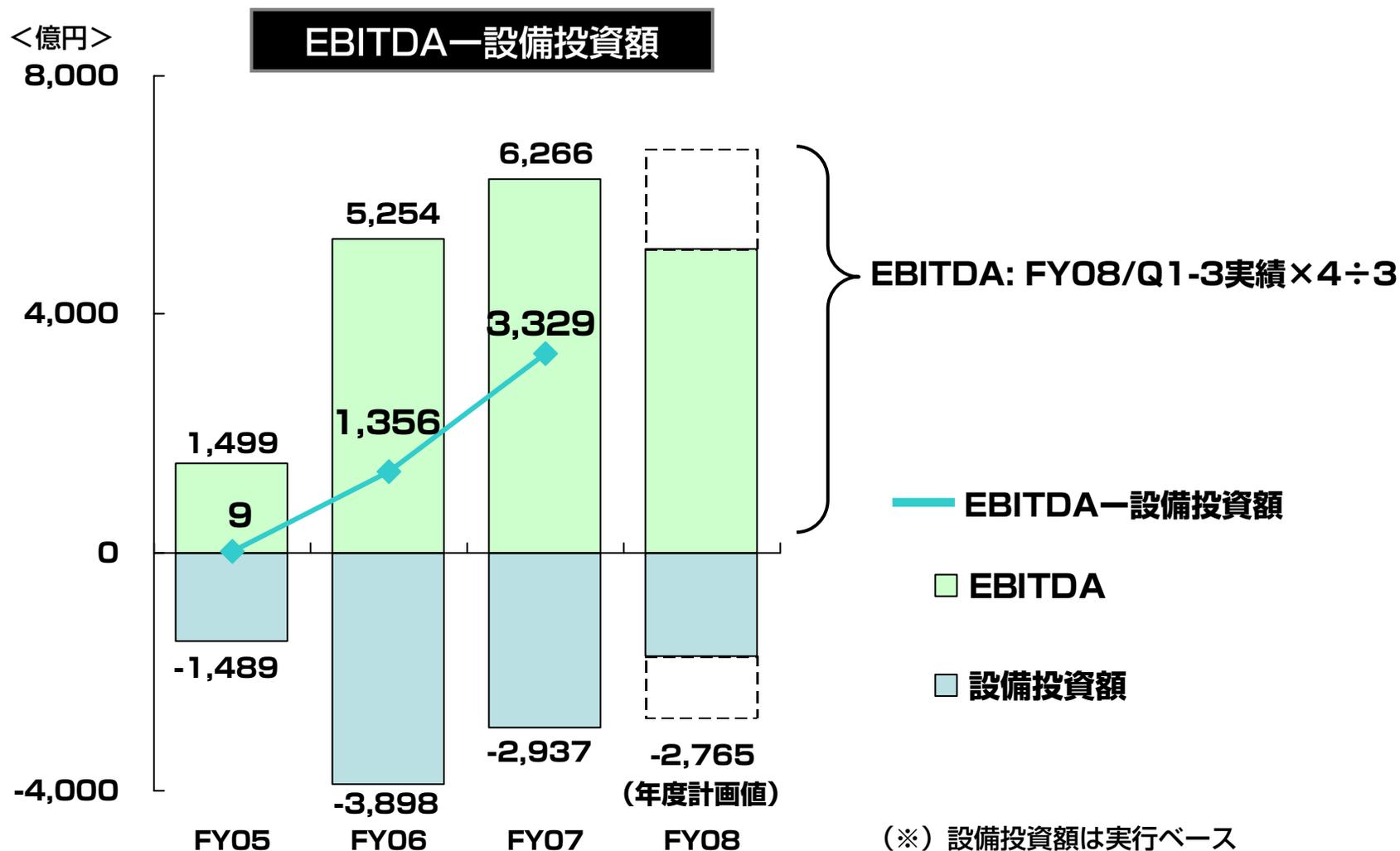
# 設備投資額（実績と計画）

■ 移動体の3G基地局、BB、固定への設備投資が一巡



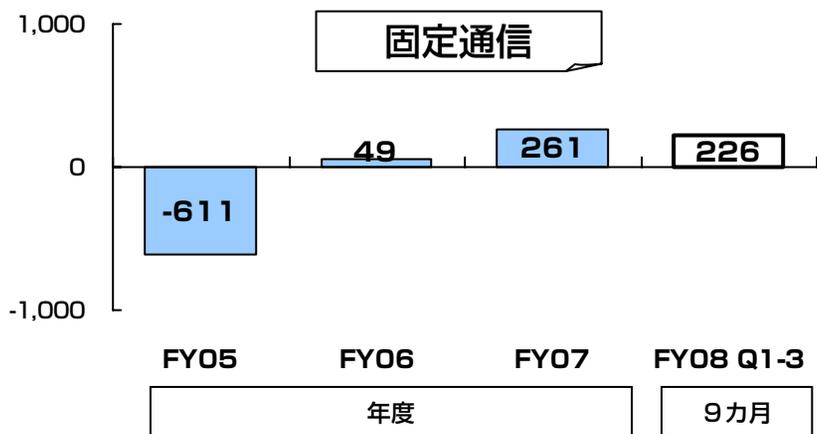
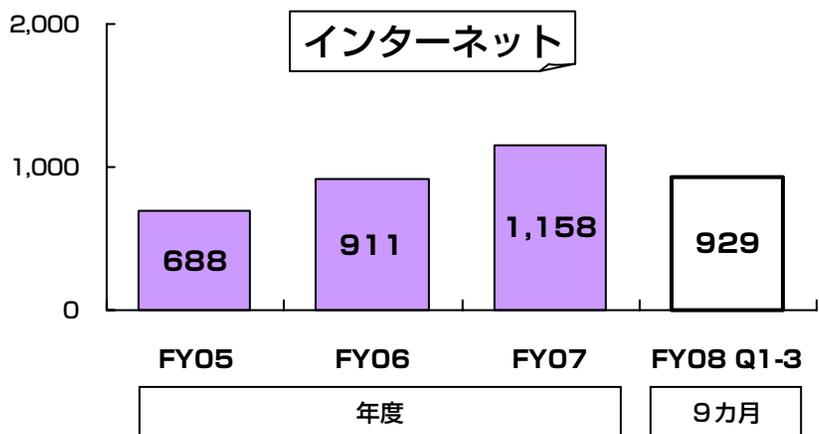
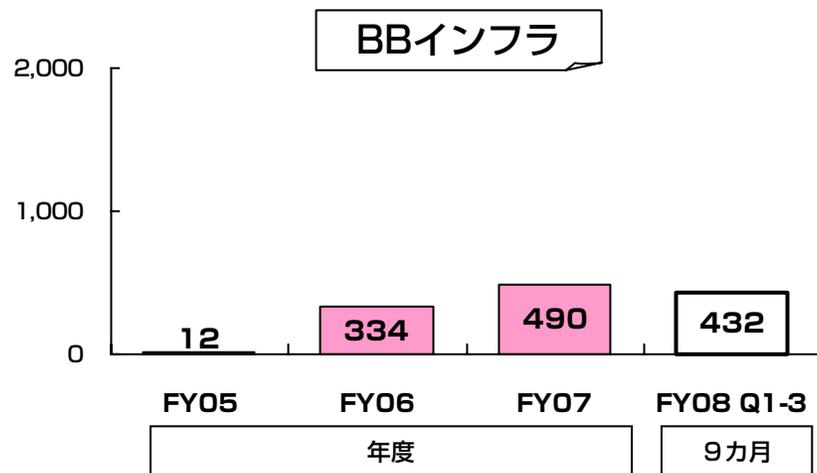
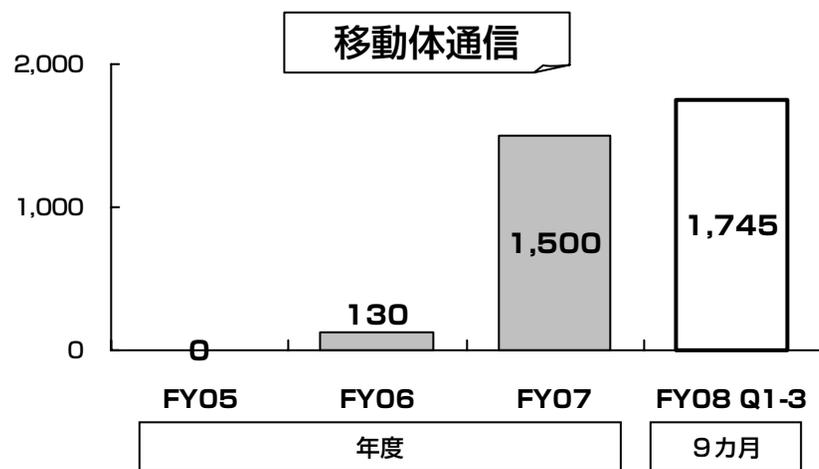
# EBITDA－設備投資額

## ■EBITDAの拡大と設備投資の一巡により着実に増加



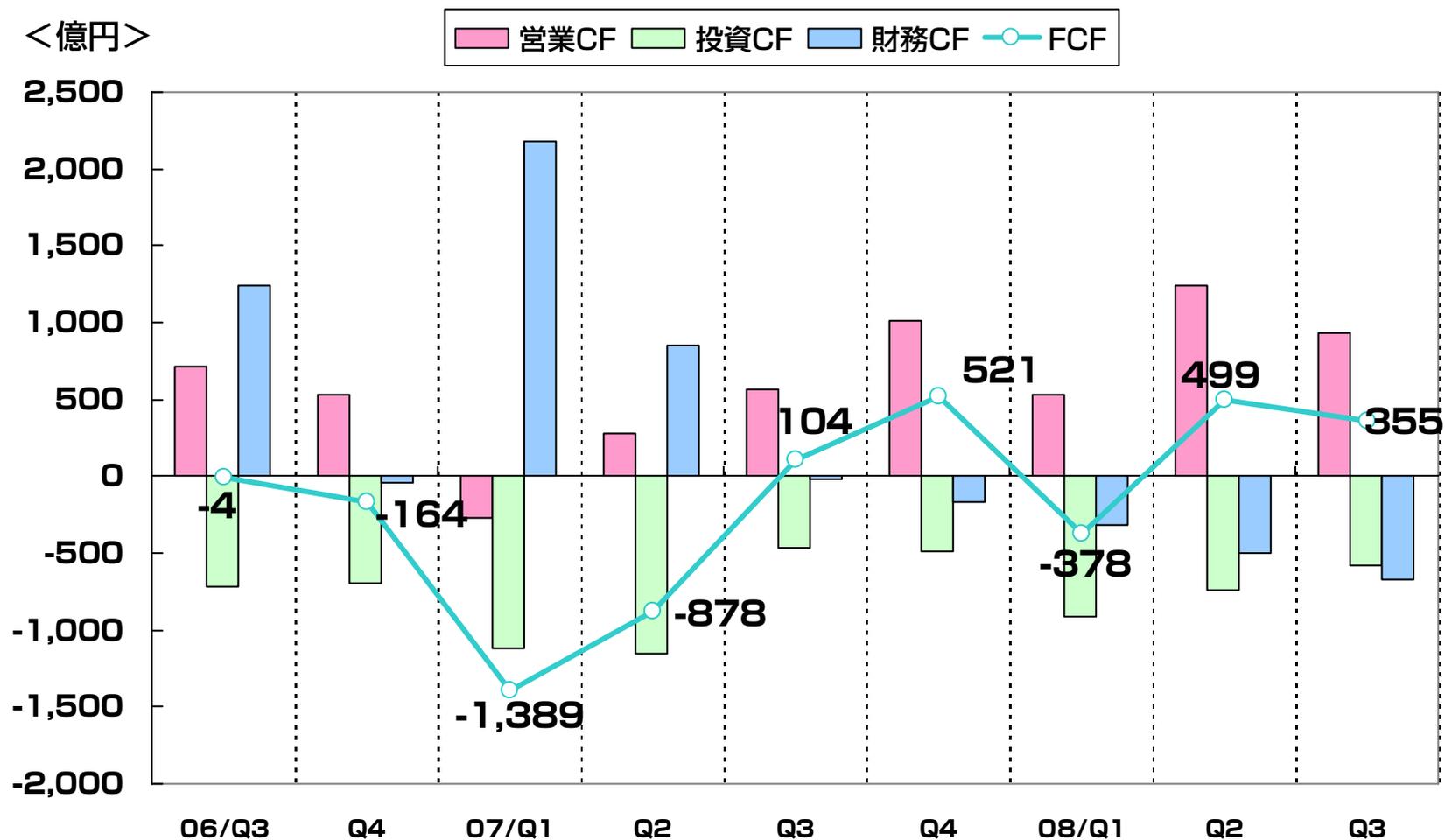
# EBITDA－設備投資額（主要セグメント別）

<億円>



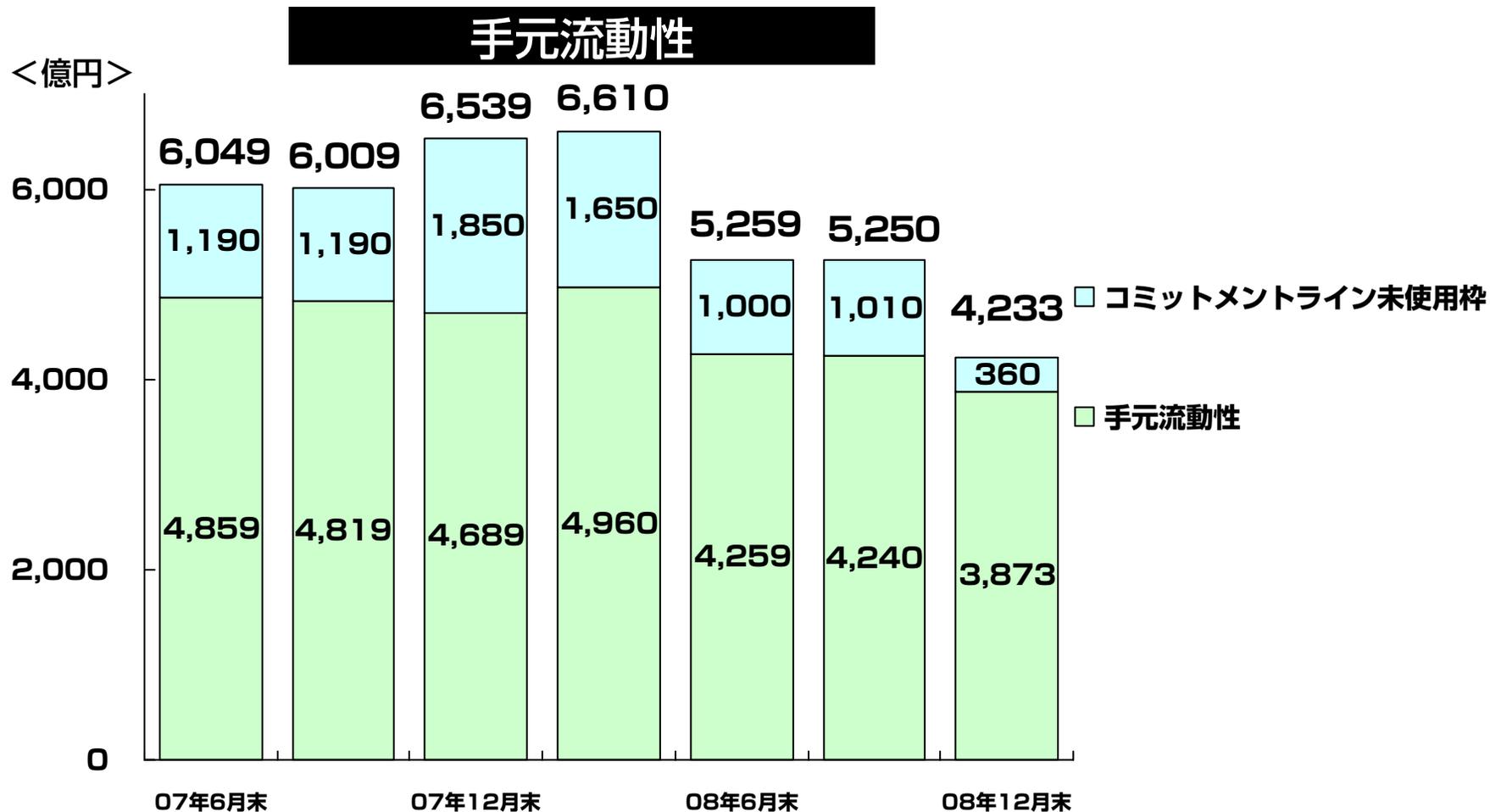
# キャッシュ・フロー推移

## 連結CF: 四半期推移



定義：FCF = 営業キャッシュ・フロー + 投資キャッシュ・フロー

# 手元流動性



定義：手元流動性＝現預金及び流動性有価証券  
 コミットメントライン未使用枠＝コミットメントライン枠総額－コミットメントライン借入額

# 1年内返済債務の内訳（08年12月末）

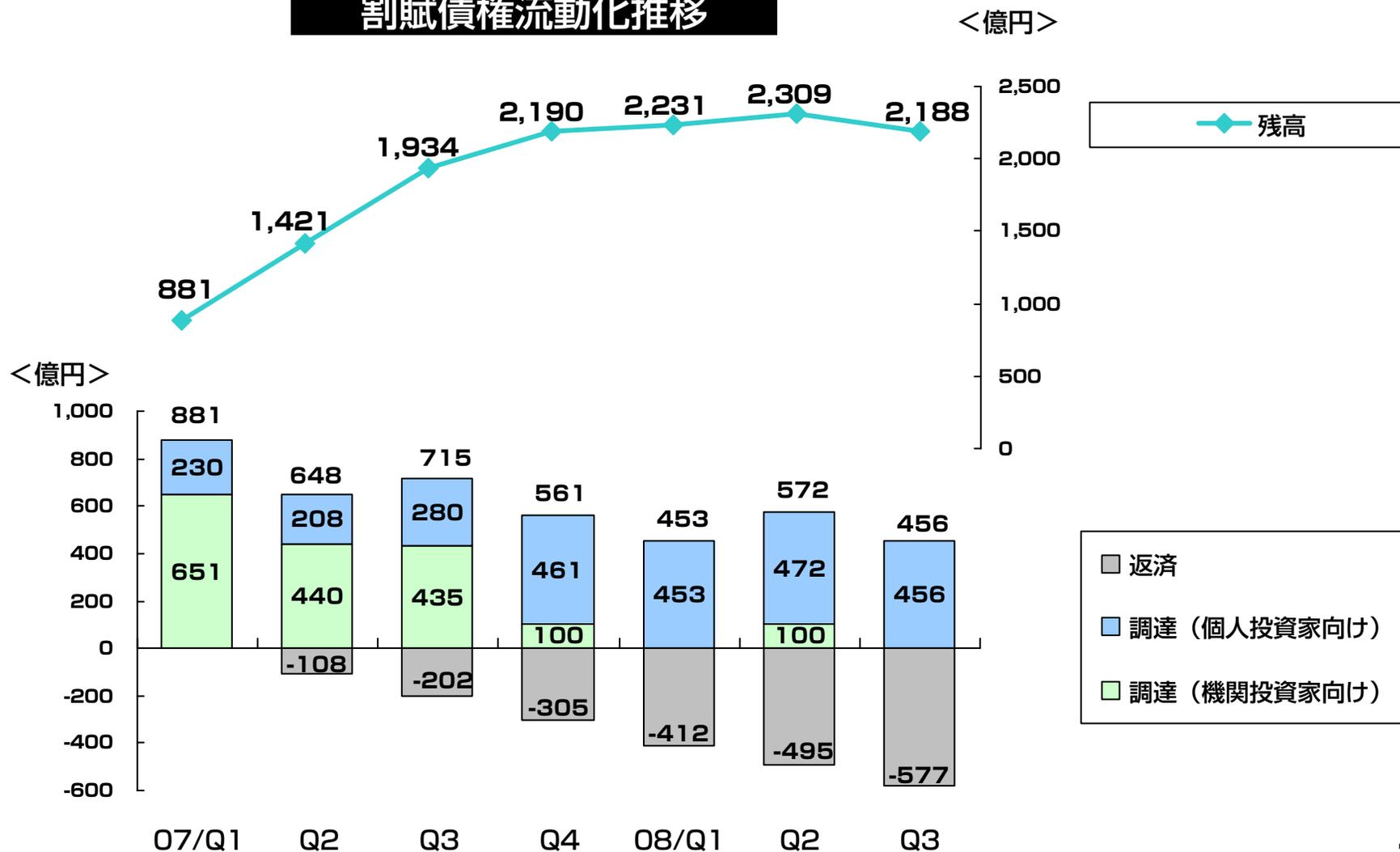
<b>短期借入金</b>	<b>2,881</b>	＜億円＞
コミットメントライン（SB）	1,650	
株式貸借取引に係る預り担保金	900	
銀行借入（SB）	275	
その他	56	
<b>1年内長期借入金</b>	<b>2,694</b>	
割賦債権流動化債務（SBM）	1,859	
銀行借入（SBTM）	400	
銀行借入（SB）	210	
銀行借入（ヤフー）	200	
その他	24	
<b>1年内償還社債</b>	<b>450</b>	
普通社債（SBTM）	450	
<b>合計</b>	<b>6,026</b>	

（※）2015年満期の新株予約権付転換社債500億円については、2009年3月期第4四半期において、債券保有者のプットオプション行使による繰上償還の可能性がります。

# 割賦債権流動化

## ■ 割賦債権流動化による調達は今後も継続

割賦債権流動化推移



**返済原資および手元流動性**

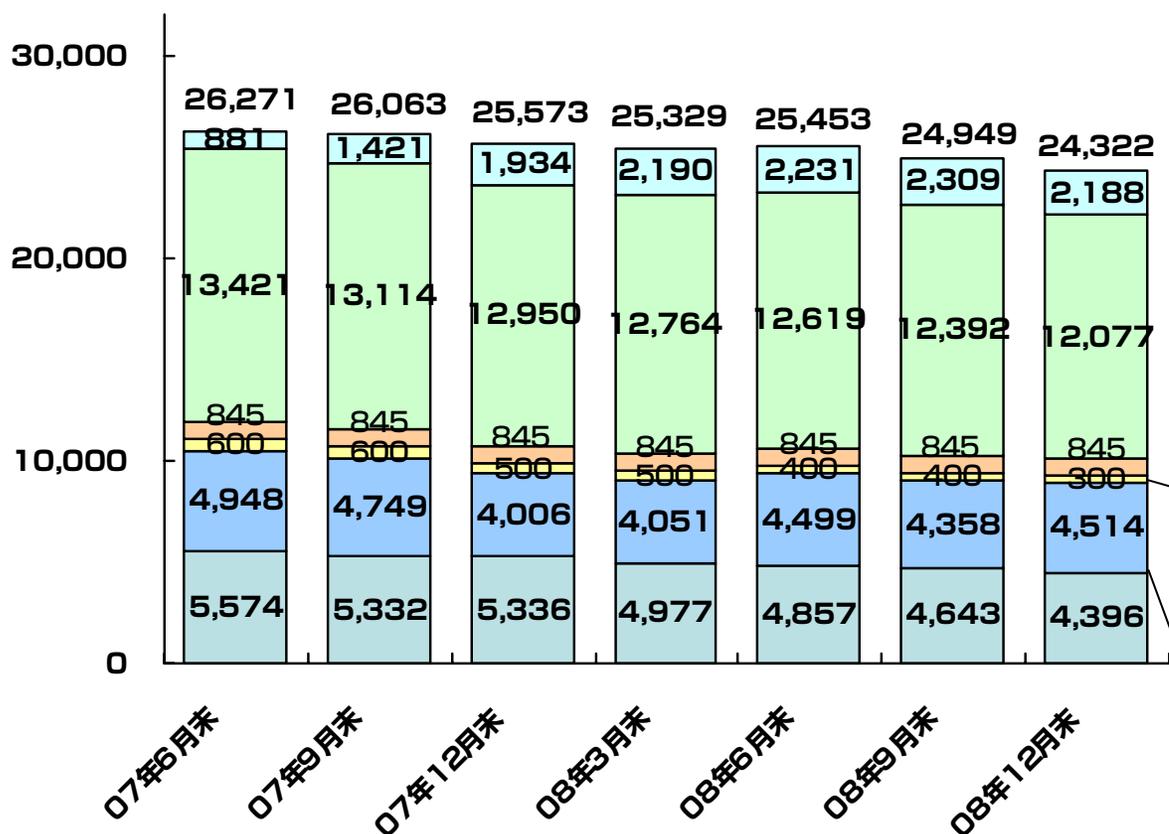
**負債削減**

**各種財務指標**

# 有利子負債（調達手段別）

## 有利子負債

<億円>



- 割賦債権流動化債務
- SBM借入
- ボーダフォン劣後ローン
- ヤフーによる銀行借入
- その他金融機関借入等
- 社債及びCP

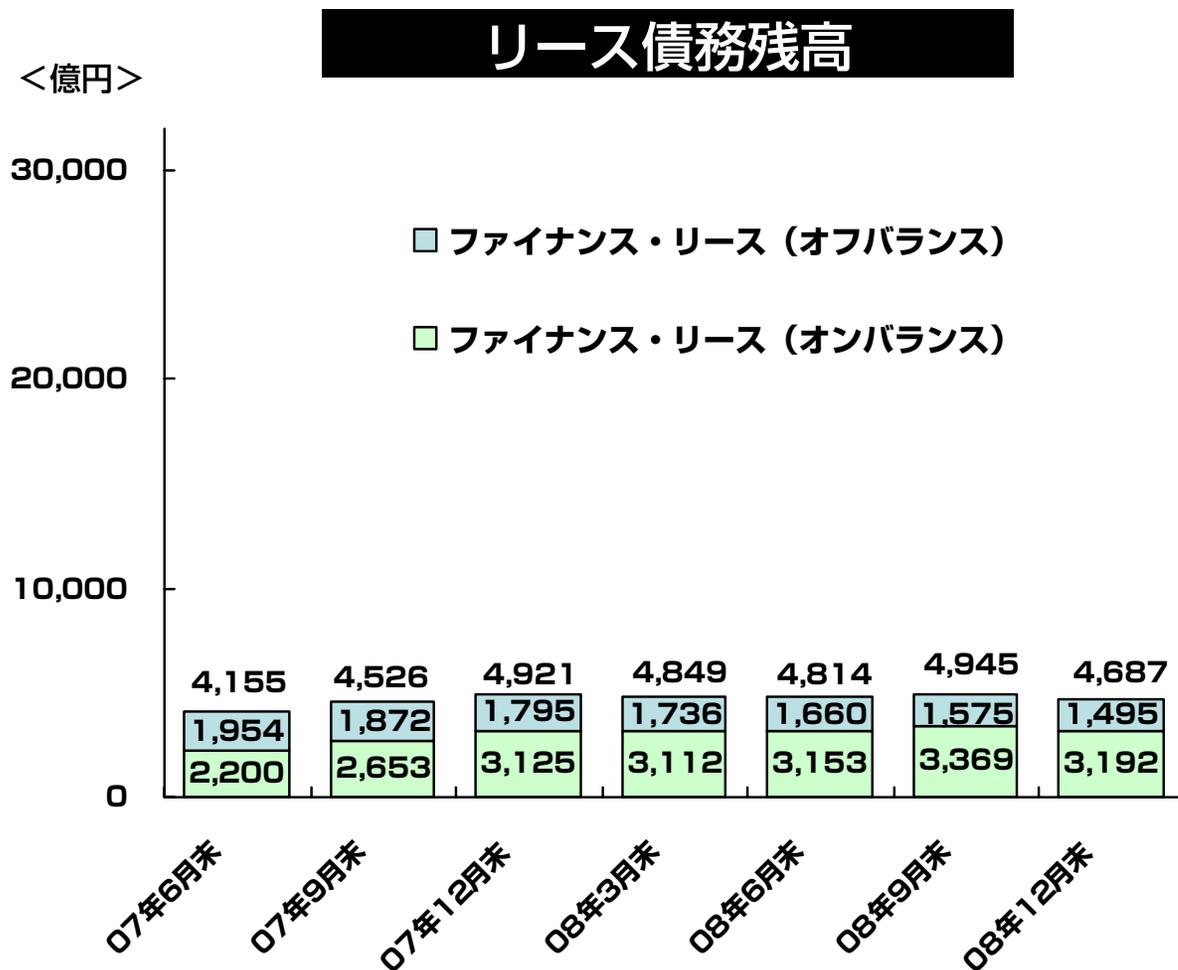
### その他金融機関借入等内訳 <億円>

ソフトバンクコミットメントライン	1,650
ソフトバンクその他銀行借入	535
ソフトバンク（旧預り担保金）	900
ソフトバンクテレコムシグナメントローン	400
主要な海外子会社金融機関借入	966
その他	63
<b>合計</b>	<b>4,514</b>

(※)07年12月末以前の有利子負債の額は株券寄託取引に係る預り担保金残高を加算して遡及修正しております。

(※)有利子負債にはリース債務は含んでおりません。リース債務は次ページをご参照ください。

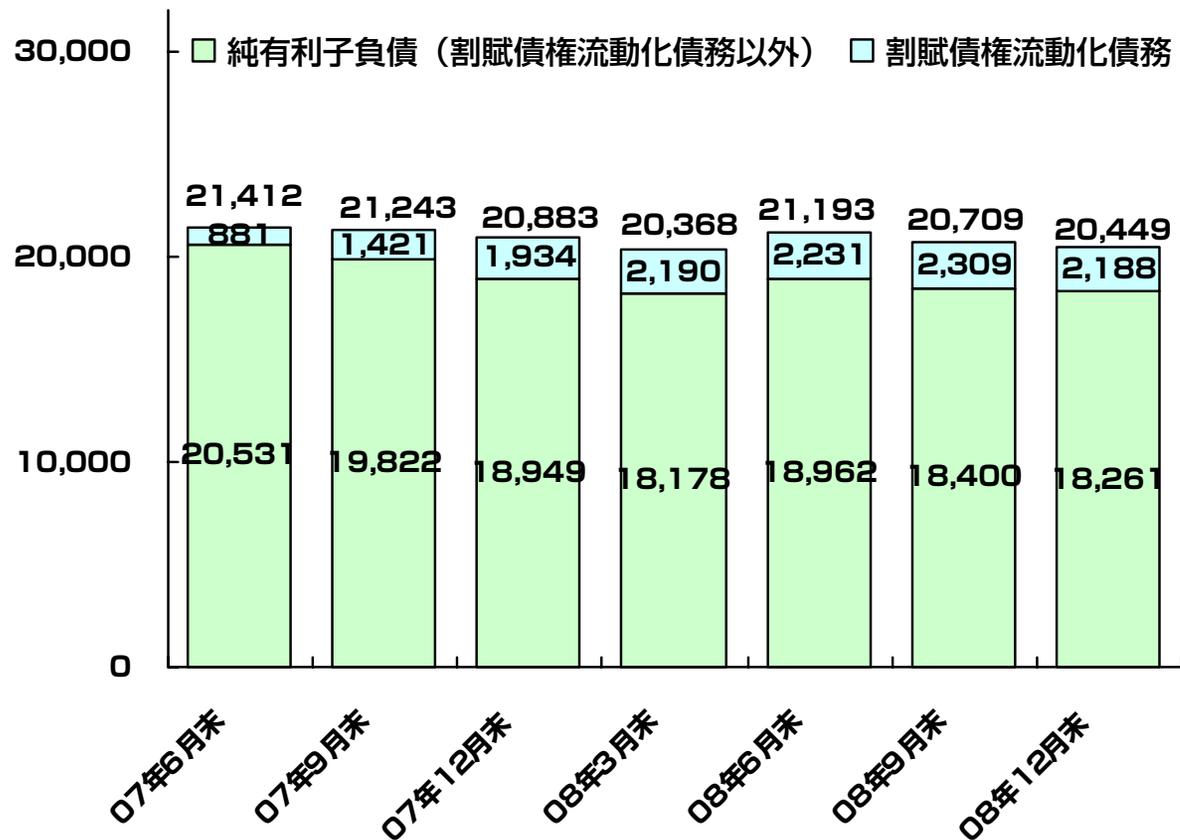
# リース債務残高



# 純有利子負債残高

## 純有利子負債

<億円>

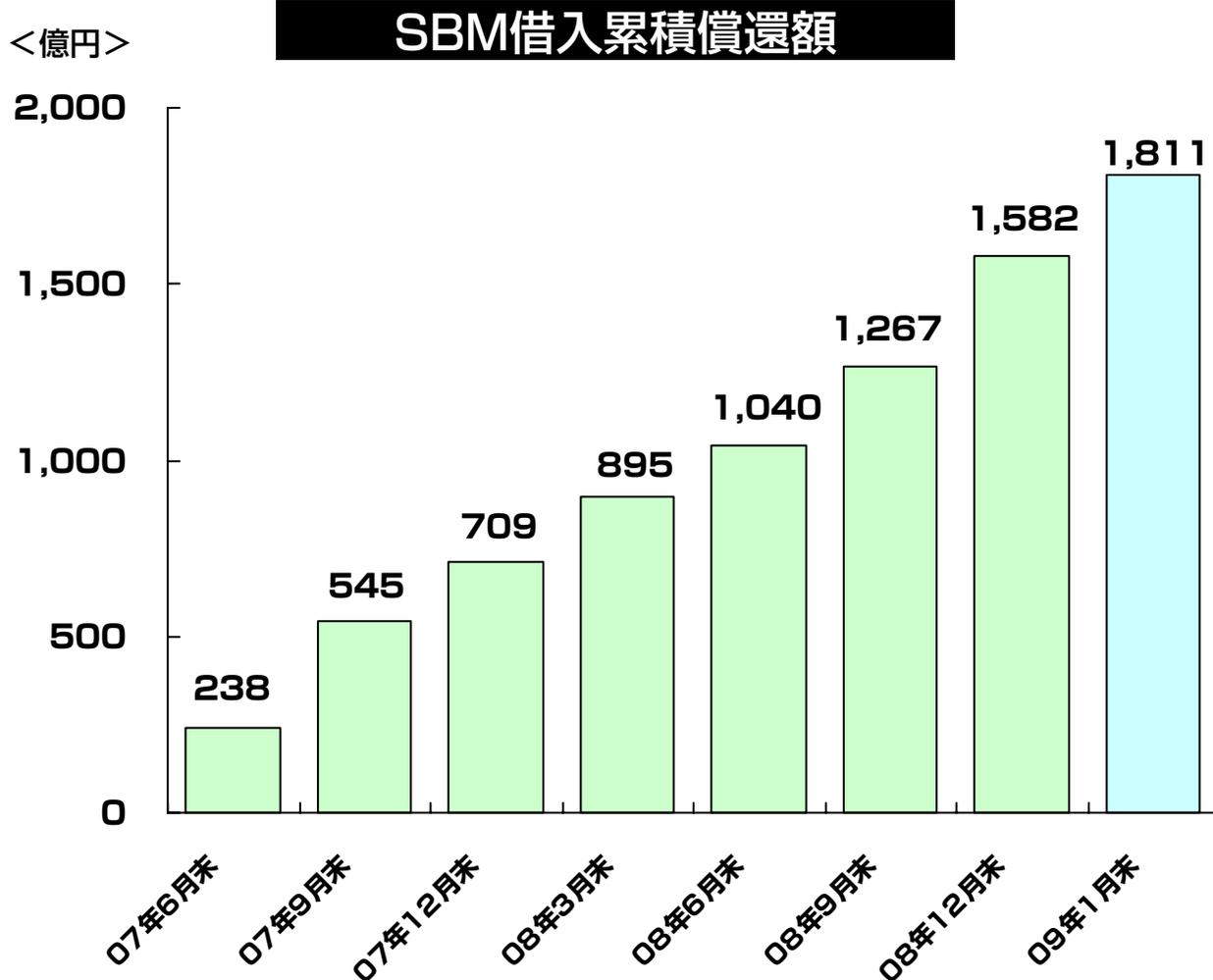


定義：純有利子負債＝有利子負債－手元流動性

(※)07年12月末以前の有利子負債・純有利子負債の額は株券寄託取引に係る預り担保金残高を加算して遡及修正しております。

# 負債削減 SBM借入

■計画を上回るペースで返済中



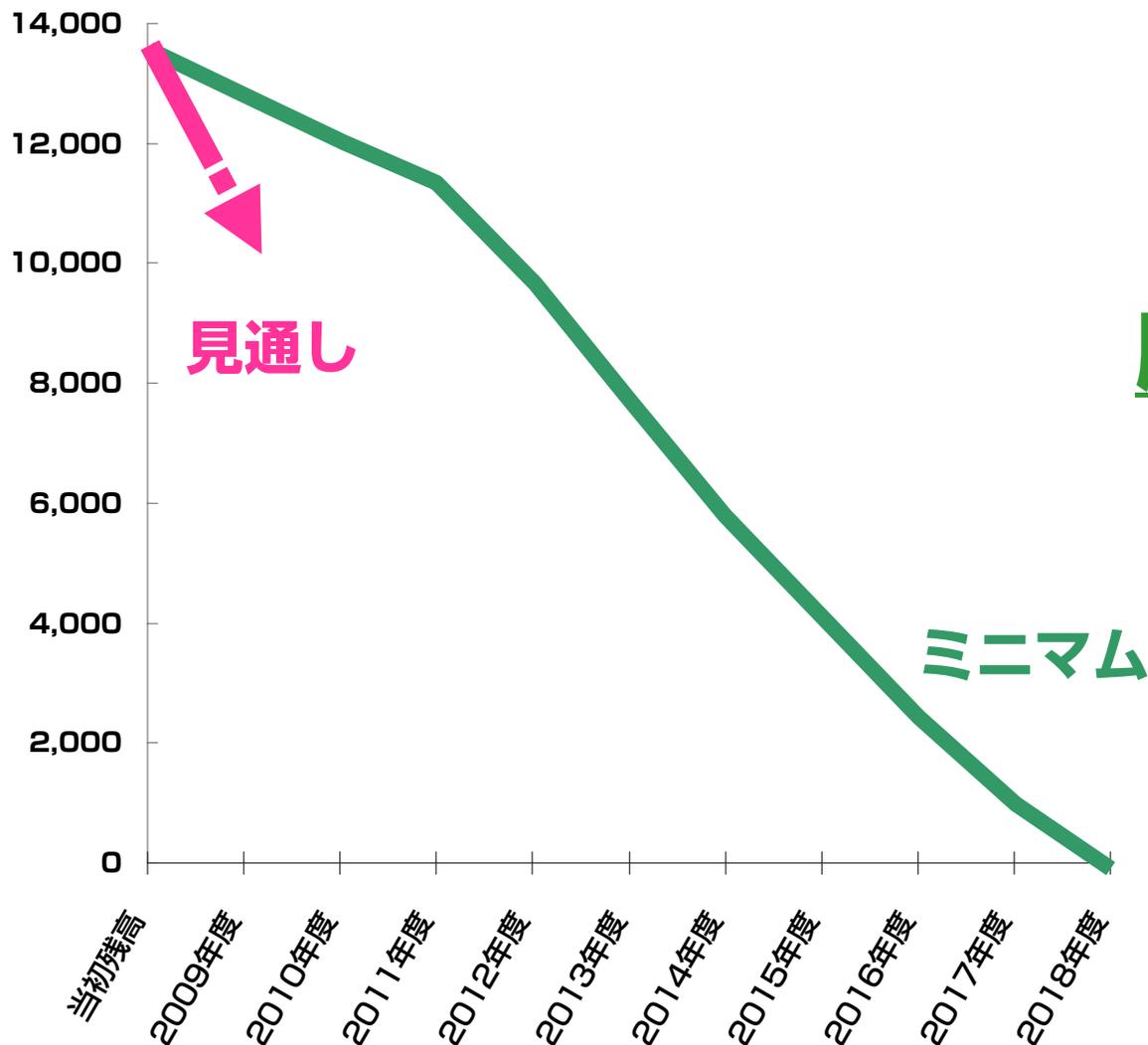
移動体通信事業  
レバレッジレシオ(※)  
**3.7倍**  
(FY08 / Q3)

※レバレッジレシオ  
=有利子負債÷EBITDA (年換算)

# 負債削減 携帯事業買収に伴う借入残高推移

■計画を上回るペースで返済中

<億円>

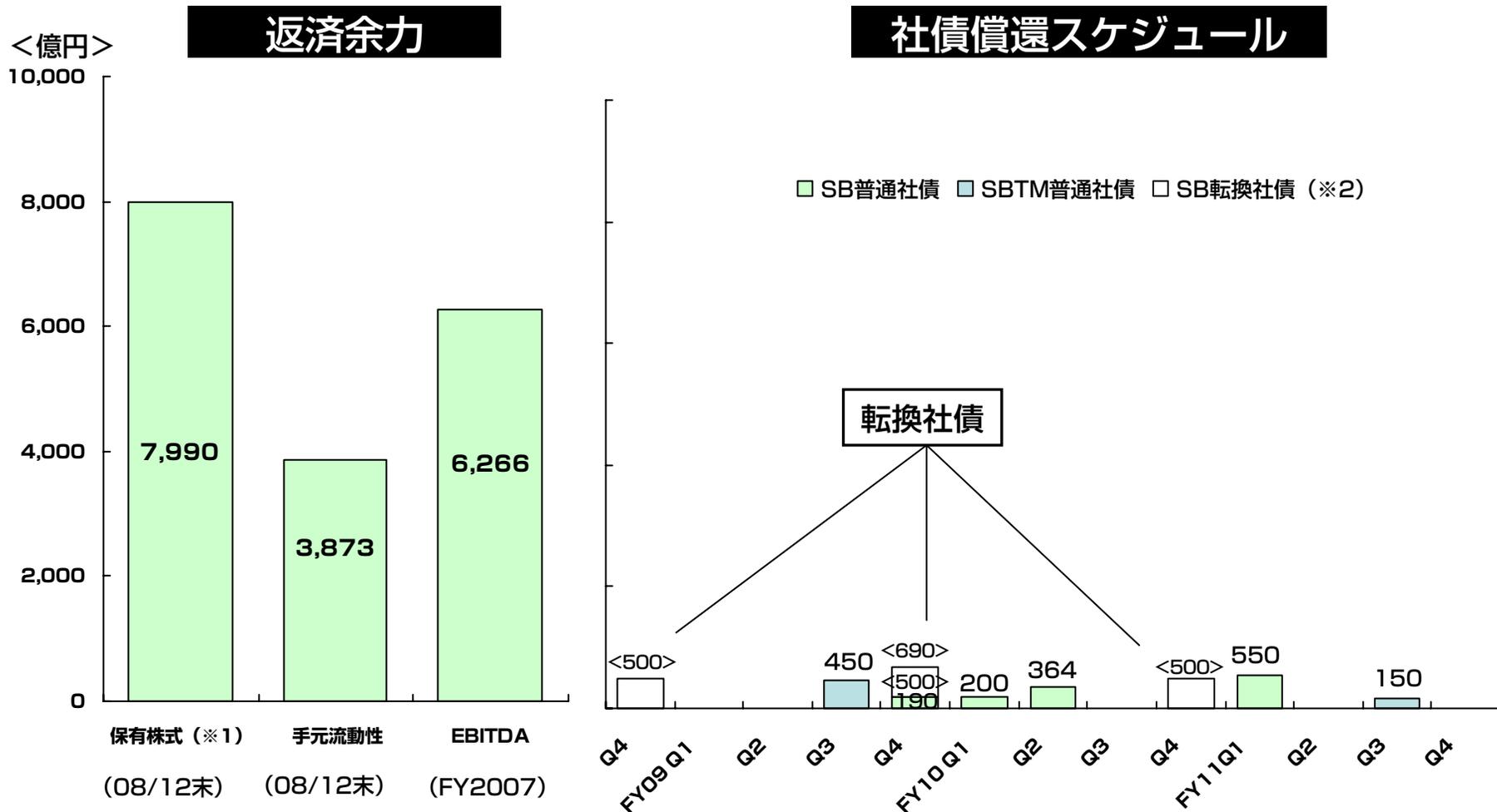


順調に返済進捗

(※) 借入当初：2006年11月  
(※)SBMが借入主体のWBS残高

# 負債削減 社債償還スケジュール

## ■社債償還スケジュールに対して十分な返済余力を保有



(※1) ソフトバンクグループの国内外持株会社が直接保有する投資有価証券の時価総額（上場・公開企業のみ）、担保提供分等除く。

(※2) 2013年満期転換社債、2014年満期転換社債、2015年満期転換社債につきましては、本社債の保持人の請求により、それぞれ2007年、2008年、2009年以降繰上償還の可能性があります。また一定の条件を満たした場合、それぞれ2007年3月末、2008年3月末、2009年3月末以降、当社の請求による繰上償還の可能性があります。上表では債券保有者によるプットオプションが行使された場合を想定しております。

# 負債削減 社債明細表

(単位：百万円)

会社名	銘柄	発行年月日	償還期限	利率 (%、年)	担保	08年3月末	08年6月末	08年9月末	08年12月末	対前四半期末比
ソフトバンク	第19回無担保普通社債	2005年1月31日	2010年1月29日	1.97	なし	19,000	19,000	19,000	19,000	-
	第20回無担保普通社債 (第1回福岡ソフトバンクホークス)*	2005年6月9日	2008年6月9日	1.41	なし	12,500	-	-	-	-
	第21回無担保普通社債	2005年9月14日	2008年9月12日	1.17	なし	20,000	20,000	-	-	-
	第22回無担保普通社債	2005年9月14日	2010年9月14日	1.98	なし	36,400	36,400	36,400	36,400	-
	第23回無担保普通社債 (第2回福岡ソフトバンクホークス)*	2005年11月29日	2008年11月28日	1.36	なし	20,000	20,000	20,000	-	-20,000
	第24回無担保普通社債 (第3回福岡ソフトバンクホークス)*	2007年4月26日	2010年4月26日	2.72	なし	20,000	20,000	20,000	20,000	-
	第25回無担保普通社債	2007年6月19日	2011年6月17日	3.39	なし	55,000	55,000	55,000	55,000	-
	第26回無担保普通社債	2007年6月19日	2014年6月19日	4.36	なし	15,000	15,000	15,000	15,000	-
	2013年満期ユーロ円建 転換社債型新株予約権付社債 <sup>(※1)</sup>	2003年12月30日	2013年3月31日	1.50	なし	50,000	50,000	50,000	50,000	-
	2014年満期ユーロ円建 転換社債型新株予約権付社債 <sup>(※1)</sup>	2003年12月30日	2014年3月31日	1.75	なし	50,000	50,000	50,000	50,000	-
	2015年満期ユーロ円建 転換社債型新株予約権付社債 <sup>(※1)</sup>	2003年12月30日	2015年3月31日	2.00	なし	50,000	50,000	50,000	50,000	-
	2013年満期ユーロ円建普通社債 <sup>(※2)</sup>	2006年10月12日	2013年10月15日	7.75	なし	57,311 (4.25億ユーロ)	55,799 (4.15億ユーロ)	54,457 (4.08億ユーロ)	51,755 (3.88億ユーロ)	-2,702
	ソフトバンクテレコム	第1回無担保普通社債	2004年12月7日	2009年12月7日	2.00	なし	45,000	45,000	45,000	45,000
	第2回無担保普通社債	2004年12月7日	2011年12月7日	2.88	なし	15,000	15,000	15,000	15,000	-
Phoenix JT	Subordinated Notes Due 2016	2004年12月24日	2016年12月15日	5.95	なし	32,400	32,400	32,400	32,400	-
その他の社債	-	-	-	-	-	140	140	100	100	-
合計	-	-	-	-	-	497,751	483,739	462,357	439,655	-22,702

(※1)2013年満期転換社債、2014年満期転換社債、2015年満期転換社債については、本社債の所持人の請求により、それぞれ2007年、2008年、2009年以降、繰上償還の可能性があります。また、一定の条件を満たした場合、それぞれ2007年、2008年、2009年以降、当社の請求による繰上償還の可能性があります。

(※2) 2013年満期ユーロ円建普通社債については、2008年12月31日現在までに元本112.5百万ユーロについて買入消却を実施しております。

(※3) 上表には信託型デットアサンプションを実施したソフトバンクモバイルの普通社債は含んでおりません。

**返済原資および手元流動性**

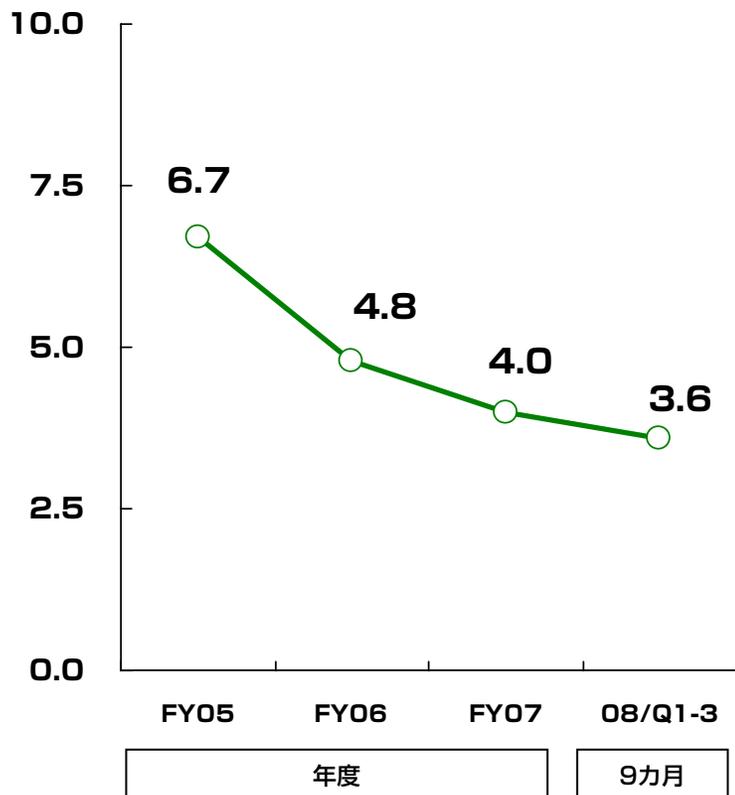
**負債削減**

**各種財務指標**

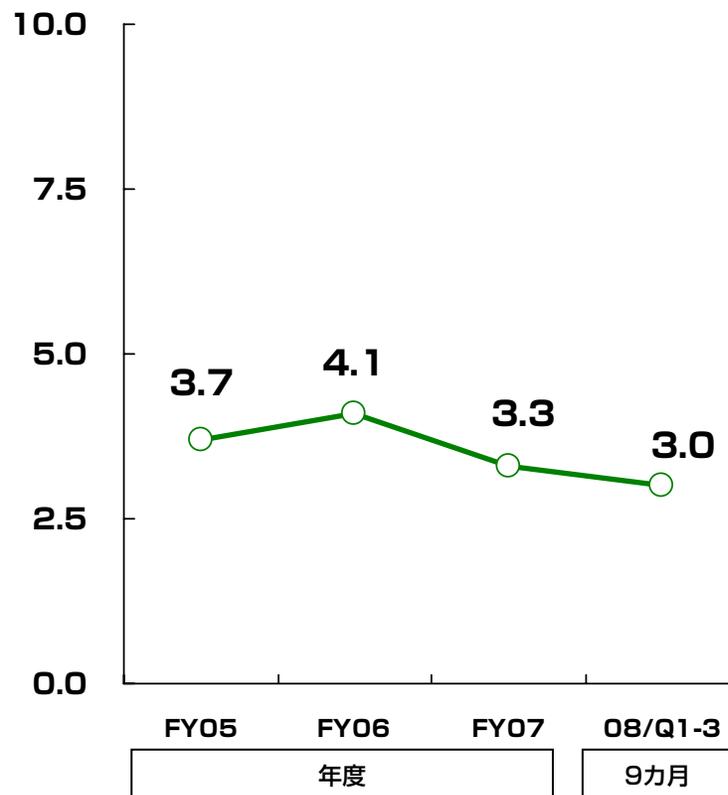
# 指標改善① 有利子負債／EBITDA倍率

## 有利子負債の削減とEBITDAの拡大を両立へ

<倍> 有利子負債／EBITDA倍率



<倍> (参考) 純有利子負債／EBITDA倍率



(※1) FY06以前の有利子負債・純有利子負債の額は株券寄託取引に係る預り担保金残高を加算して遡及修正しております

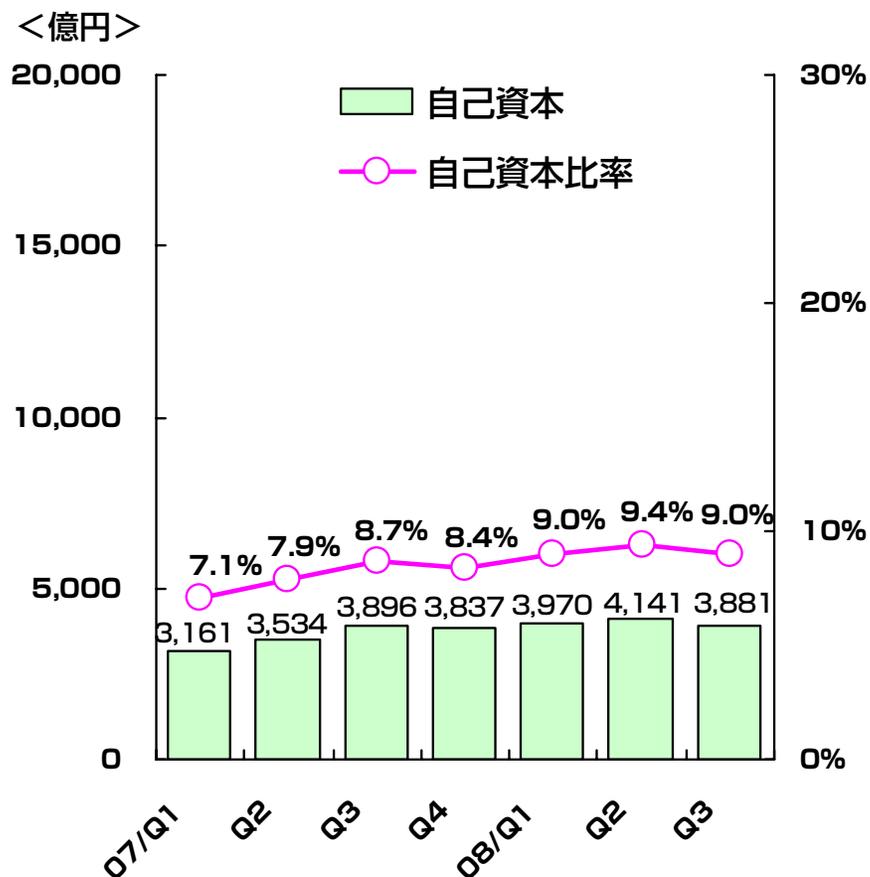
(※2) 有利子負債にはリース債務を含んでおりません。

(※3) 08/Q1-3は08/Q1-3のEBITDA÷3×4にて年換算

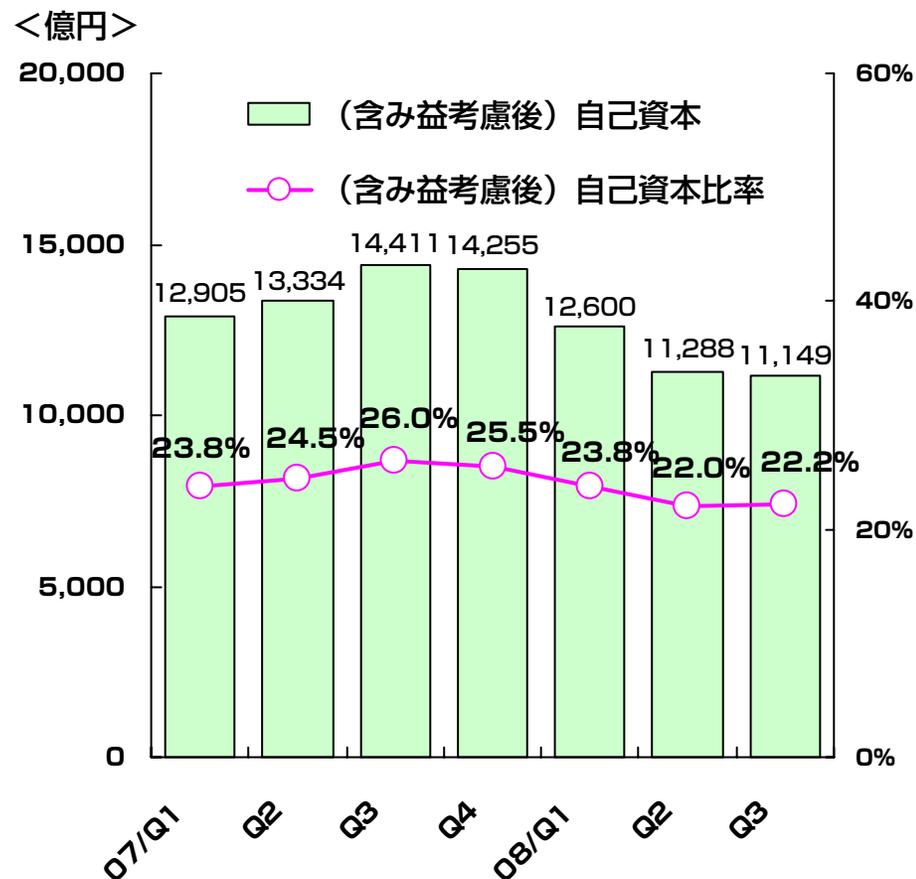
# 指標改善② 自己資本比率

## ■着実な利益の積み上げで自己資本比率を改善へ

自己資本比率



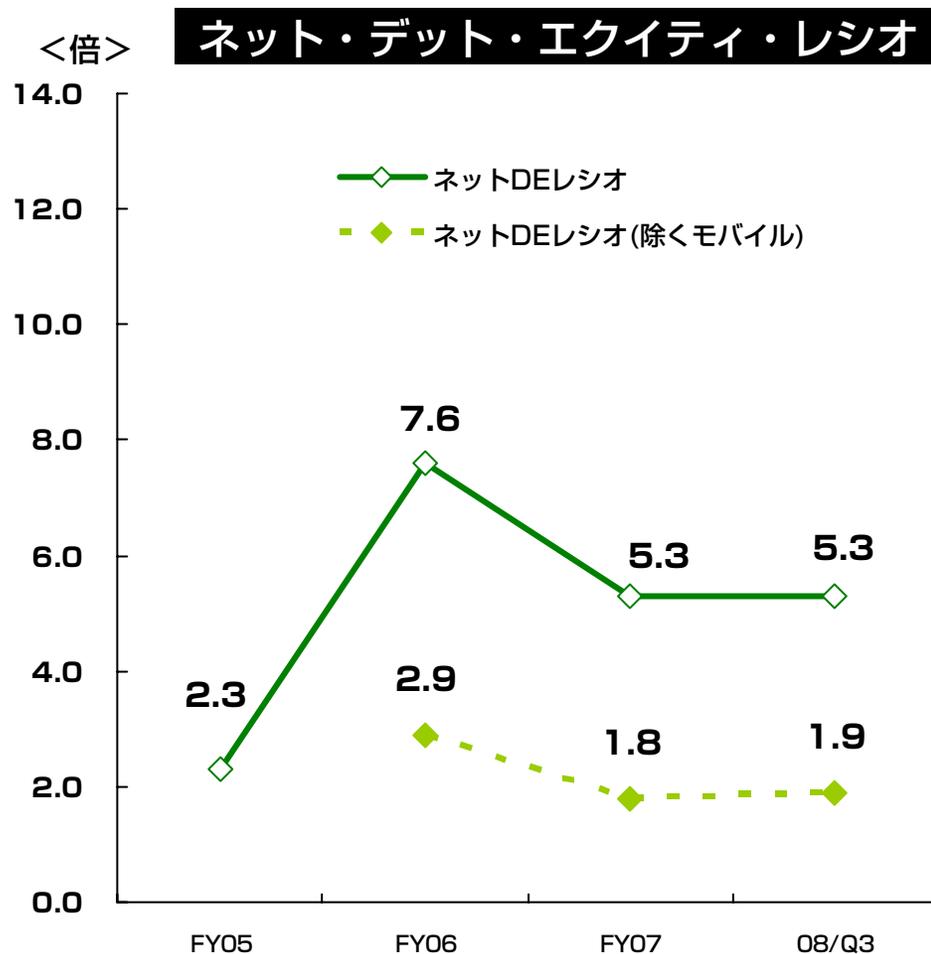
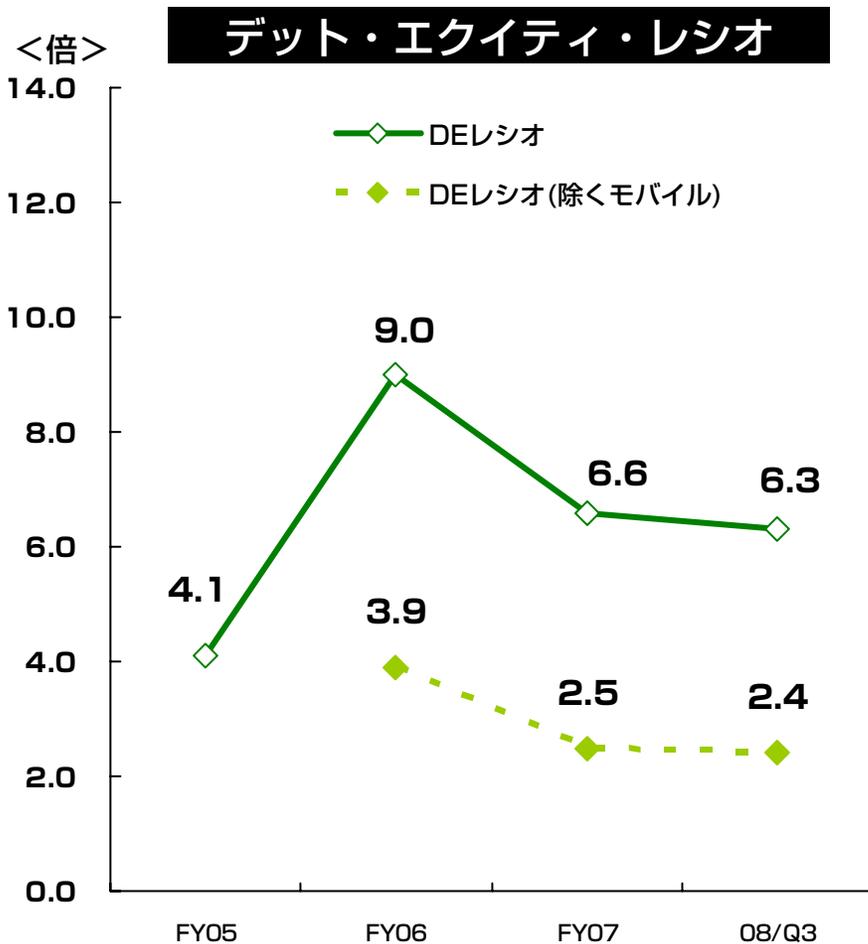
(ご参考) 自己資本比率  
＜株式含み益考慮後＞



(※)計算根拠については補足資料の8ページをご参照下さい。

# 指標改善③ デット・エクイティ・レシオ

## ■着実に改善



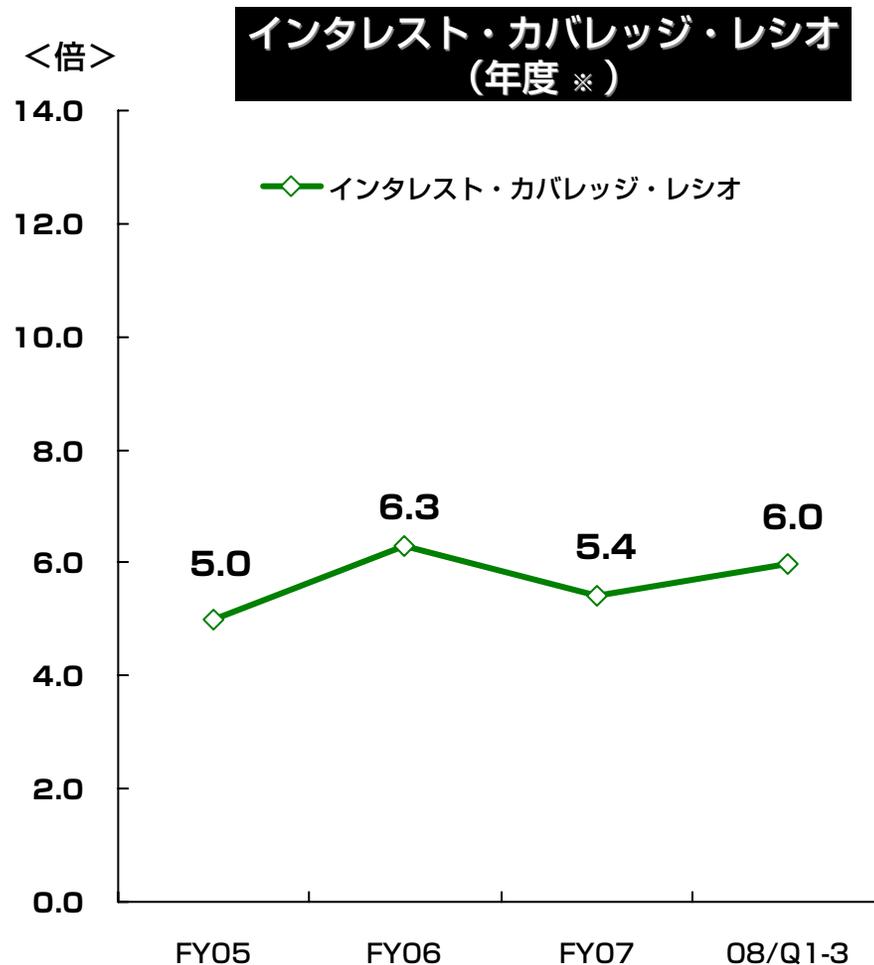
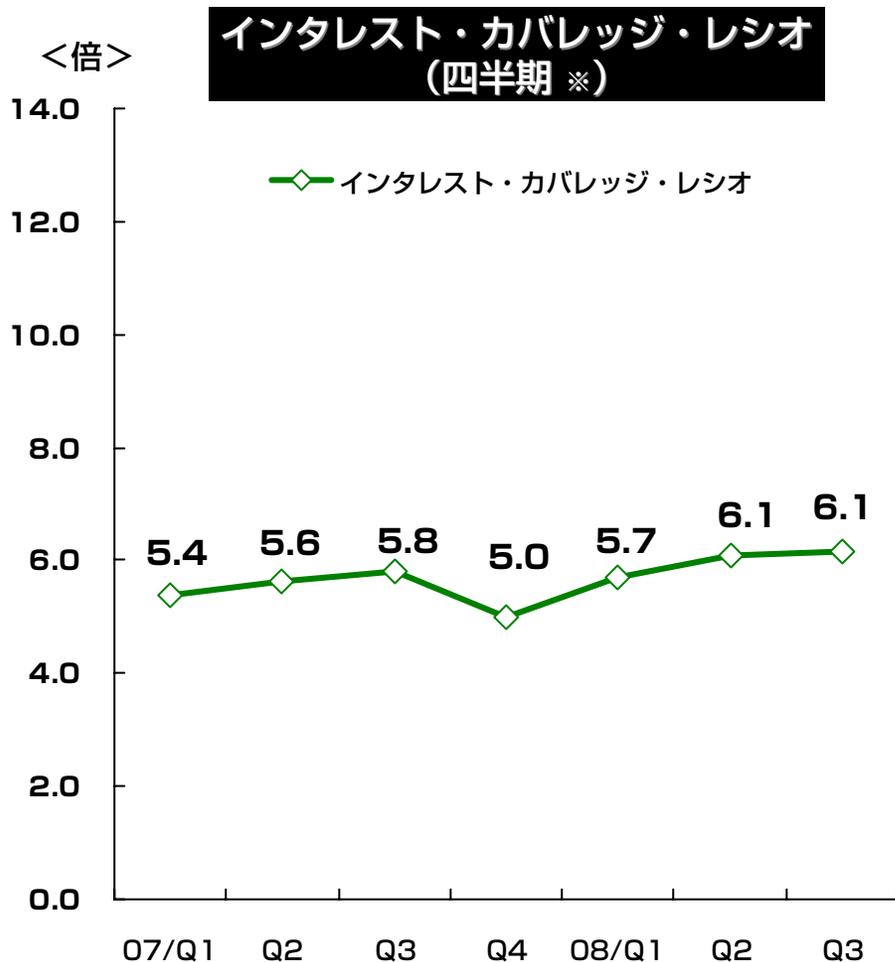
(※1) 07年12月末以前の有利子負債・純有利子負債の額は株券寄託取引に係る預り担保金残高を加算して遡及修正しております。

(※2) 有利子負債にはリース債務を含んでおりません。

(※3) 除くモバイル：連結有利子負債および純有利子負債残高からソフトバンクモバイルおよびBBモバイルの残高をそれぞれ控除

# 指標改善④ インタレスト・カバレッジ・レシオ

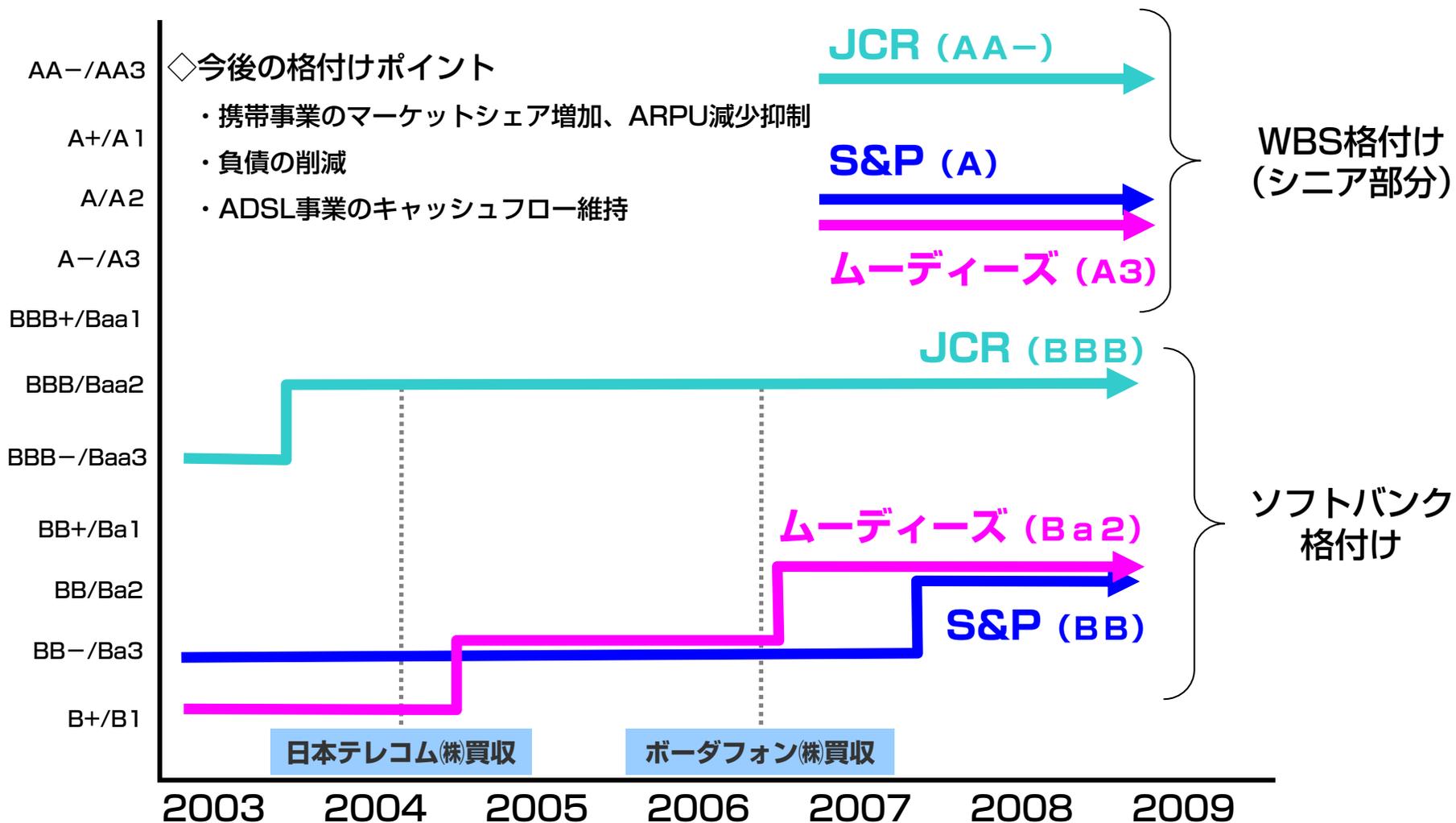
## ■安定的な水準を維持



(※)インタレスト・カバレッジ・レシオ=EBITDA/支払利息

(※) FY2007/Q4以前の支払利息には株券等寄託取引手数料を遡及修正しております

# 格付け推移





# 事業編

---

ソフトバンクモバイル株式会社 取締役 常務執行役員 兼 CFO  
ソフトバンクBB株式会社 取締役 常務執行役員 兼 CFO  
ソフトバンクテレコム株式会社 取締役

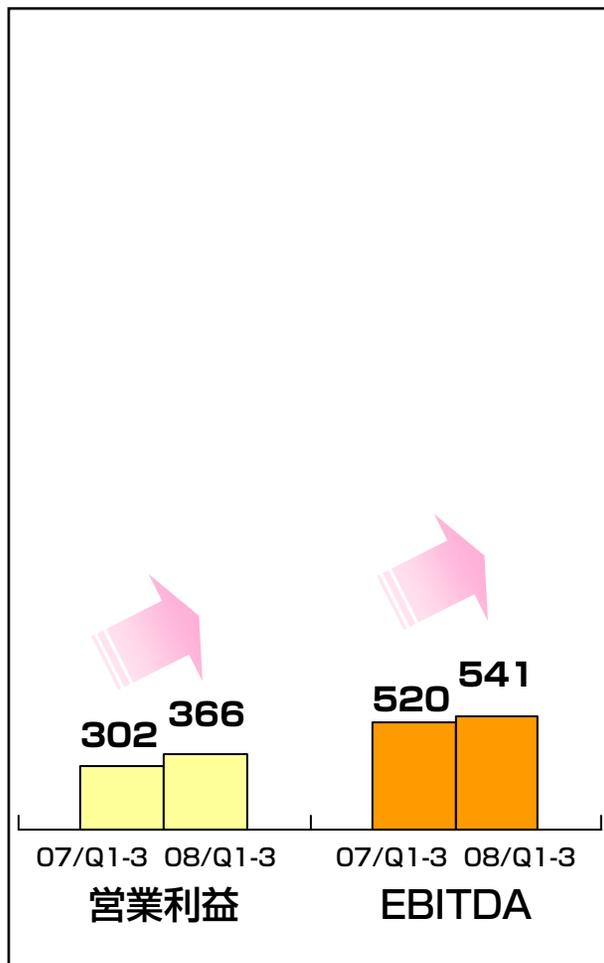
ふじはら  
**藤原 和彦**

# 通信3事業の業績概要

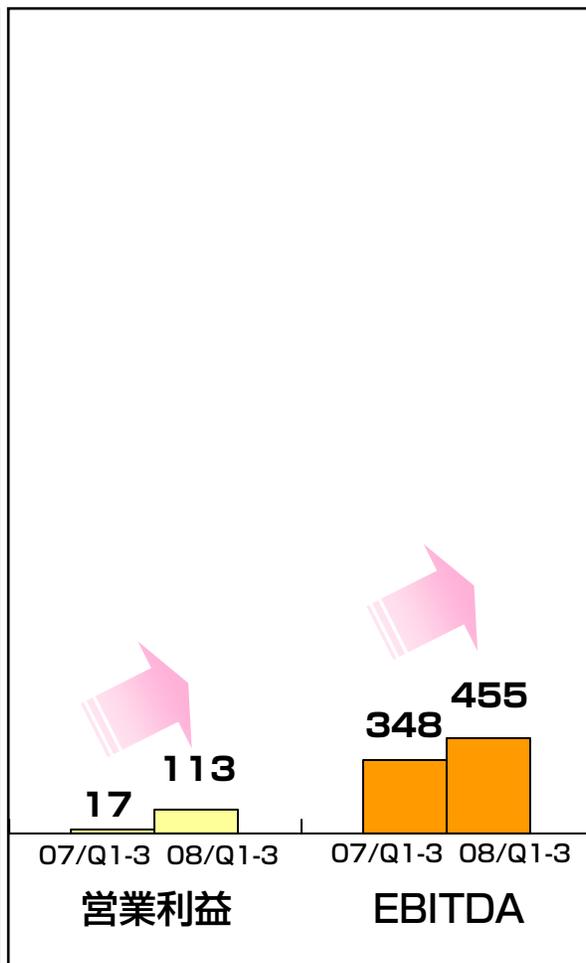
## ■通信3事業は着実に利益を計上

<億円>

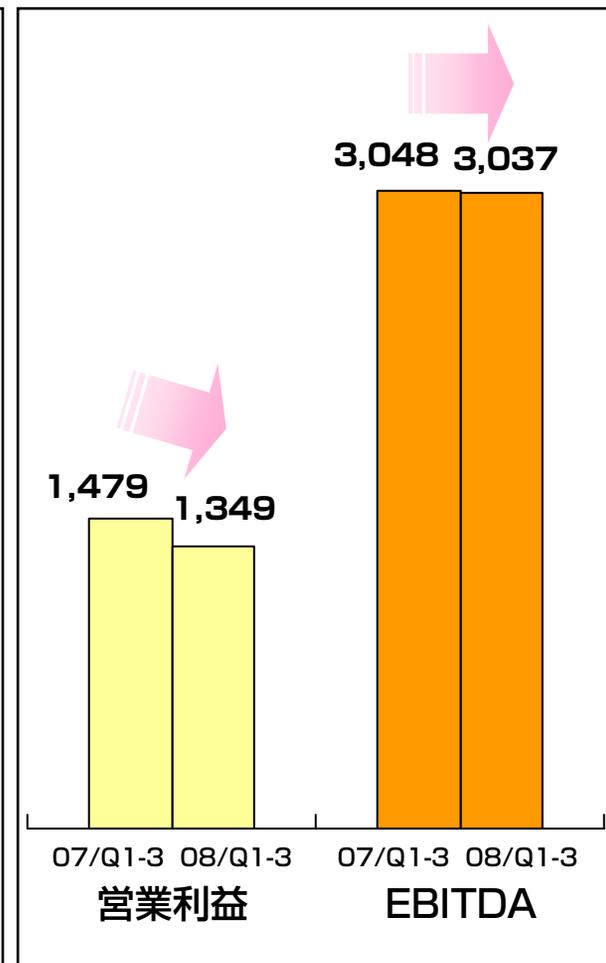
### BBインフラ事業



### 固定通信事業



### 移動体通信事業



**ブロードバンド・インフラ事業**

**固定通信事業**

**移動体通信事業**

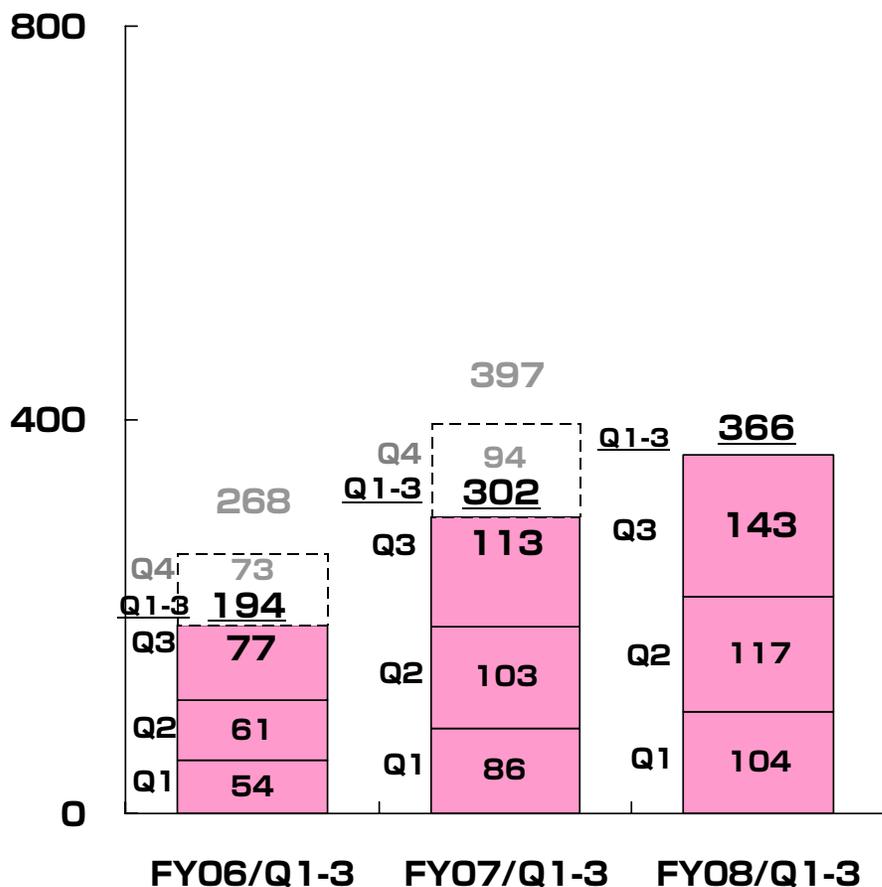
# 営業利益・EBITDA (BB事業)

<BB-1>

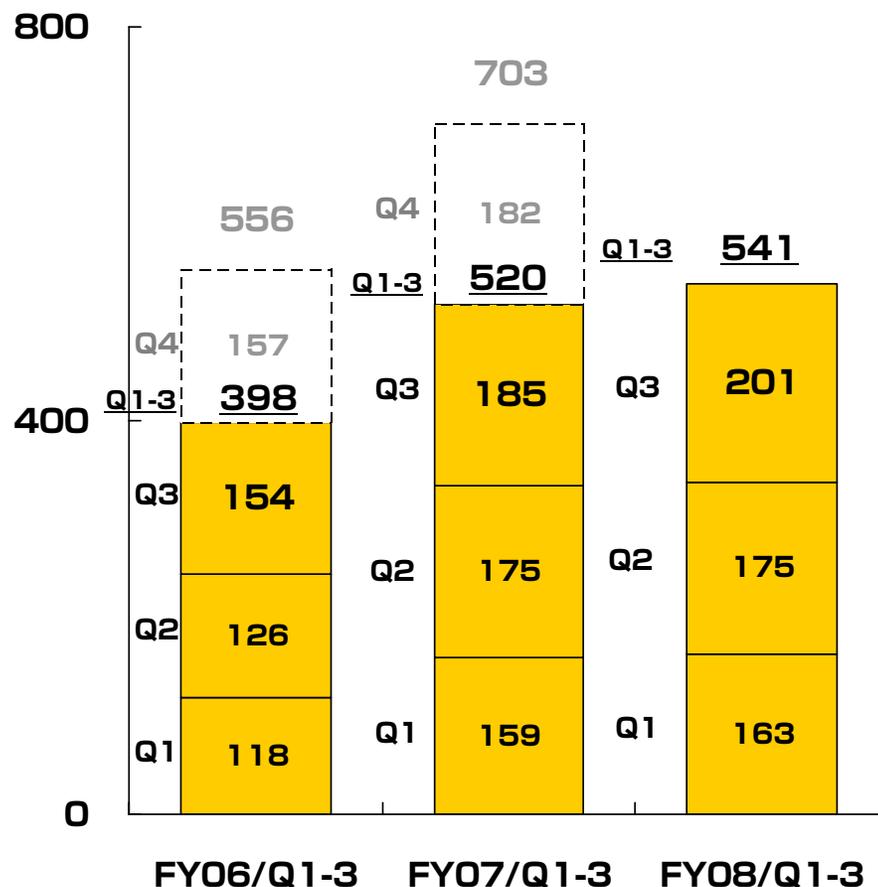
■コスト削減に取り組み増益トレンドを維持

<億円>

## 営業利益



## EBITDA

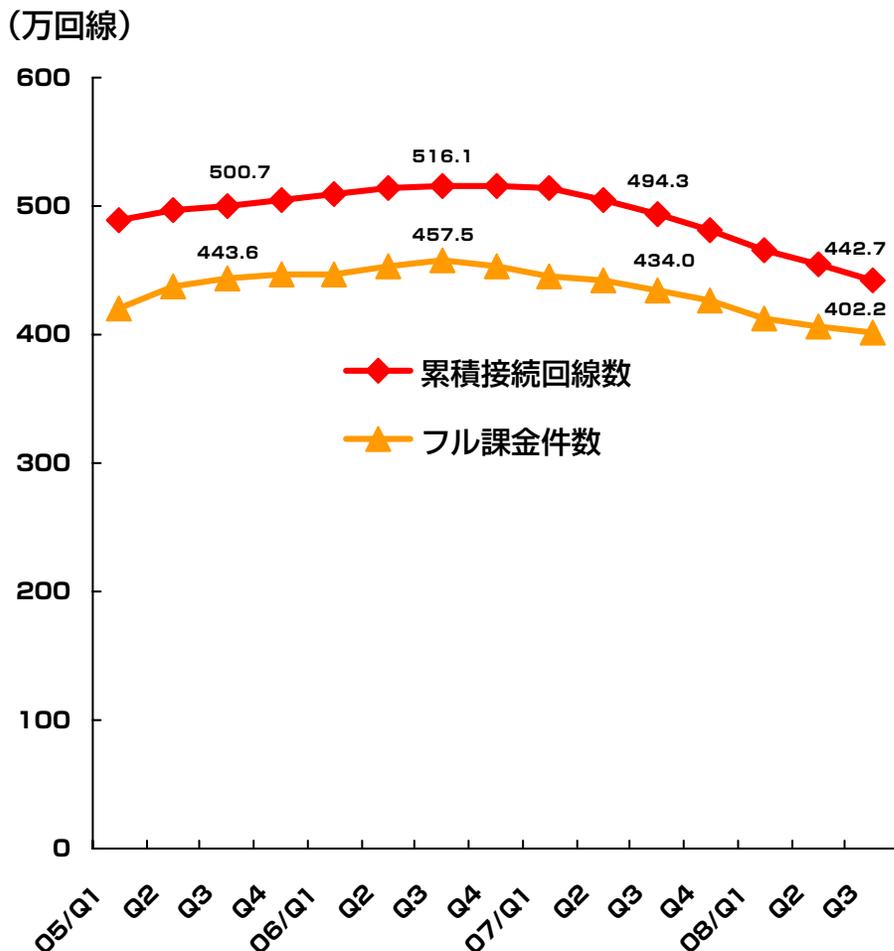


# Yahoo! BB ADSL 回線数とARPU

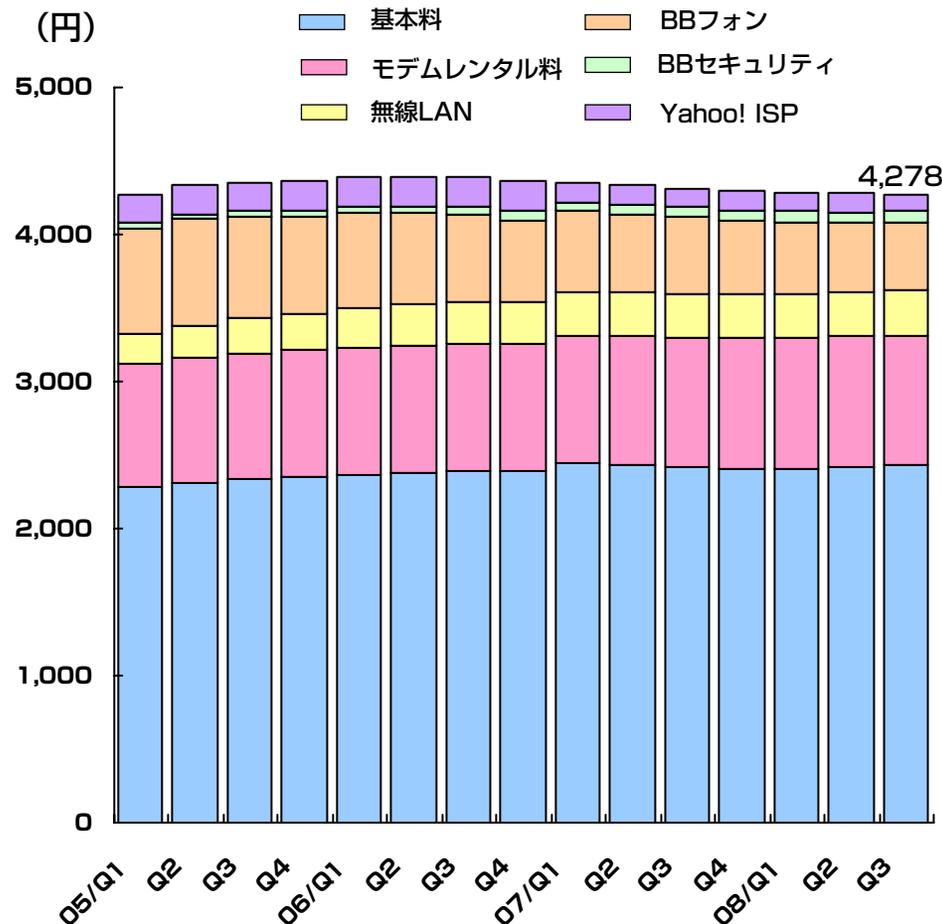
<BB-2>

■ADSL回線数は減少傾向。ARPUは横ばい。

回線数と課金件数



ARPU



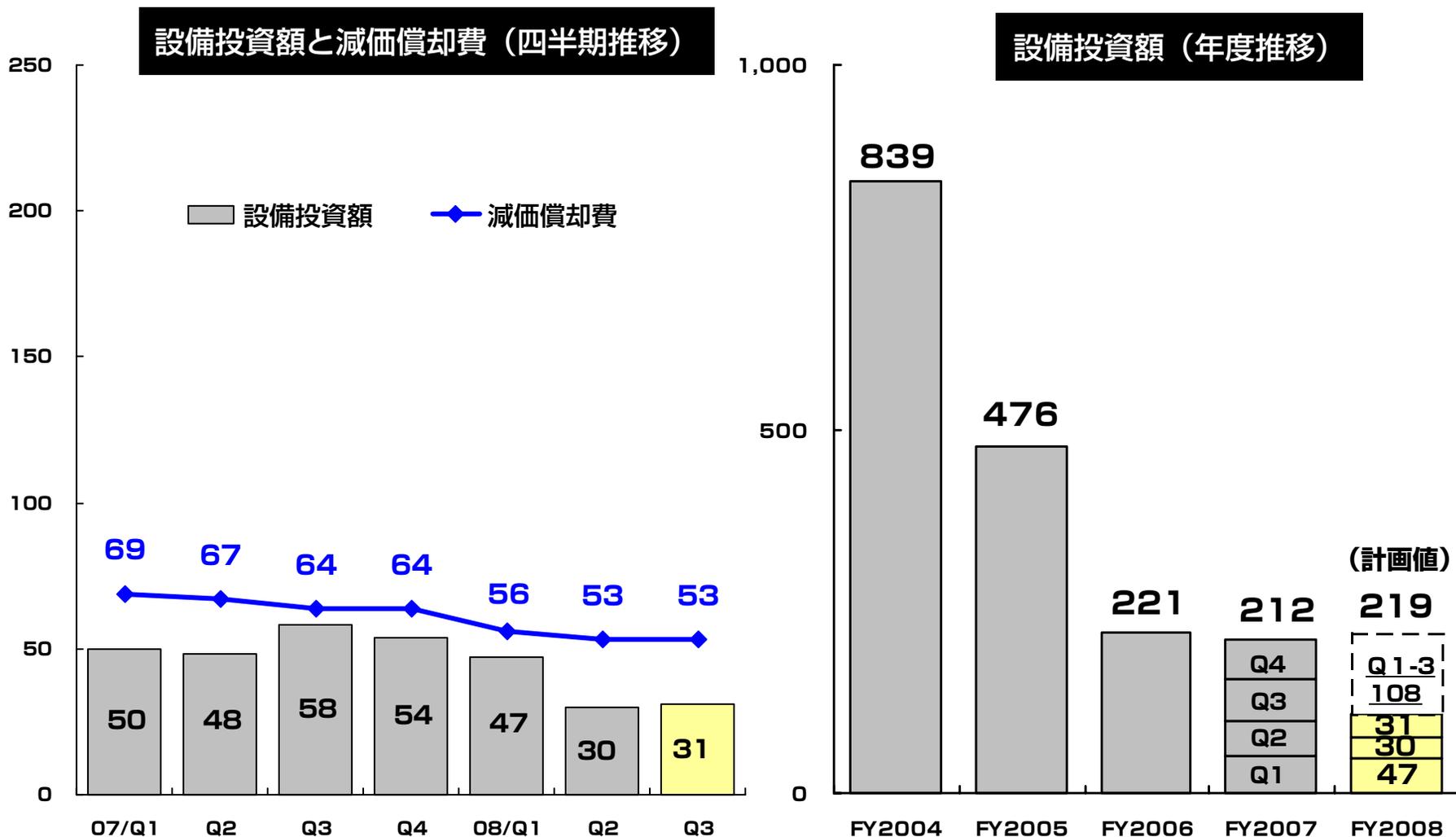
\*ARPU: フル課金ユーザーの支払いベース。モデムレンタル事業売却に伴う影響を含まず  
FY07/Q1よりヤフーとの契約変更によりYahoo! ISP収入の一部を基本料部分に計上 (ユーザー負担に変更なし)

# 設備投資 (BB事業)

<BB-3>

## ■設備投資額は減価償却費の範囲内で安定推移

<億円>



---

**ブロードバンド・インフラ事業**

**固定通信事業**

**移動体通信事業**

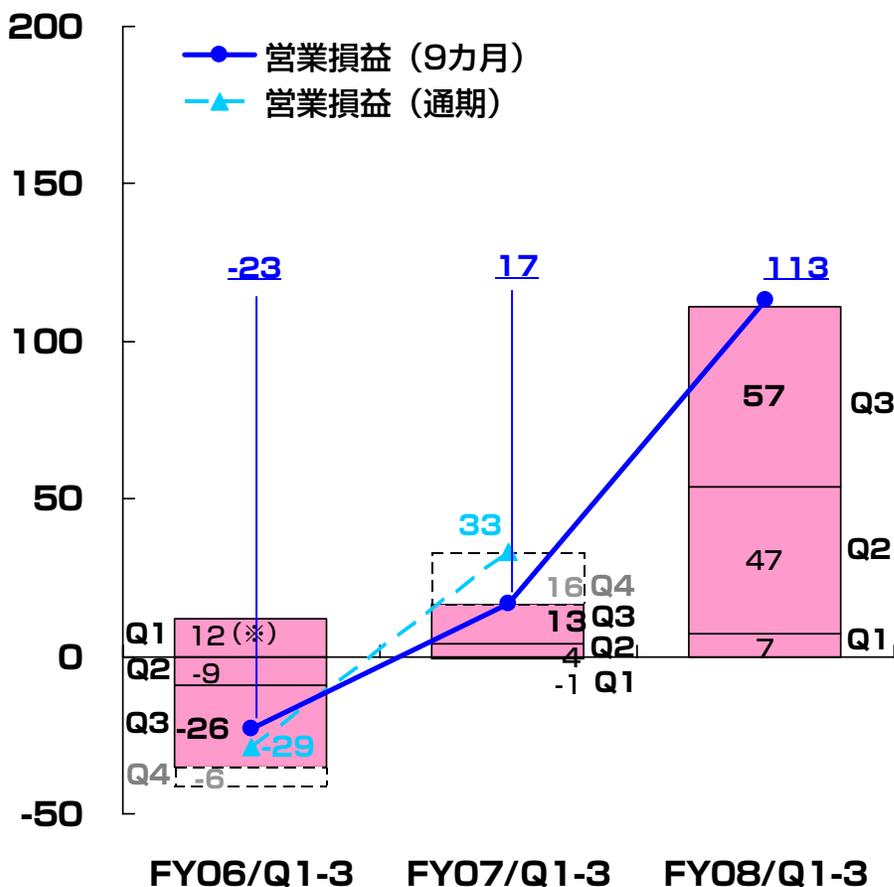
# 営業損益・EBITDA（固定通信事業）

<固定-1>

## ■法人強化と経営スリム化で増益のトレンド

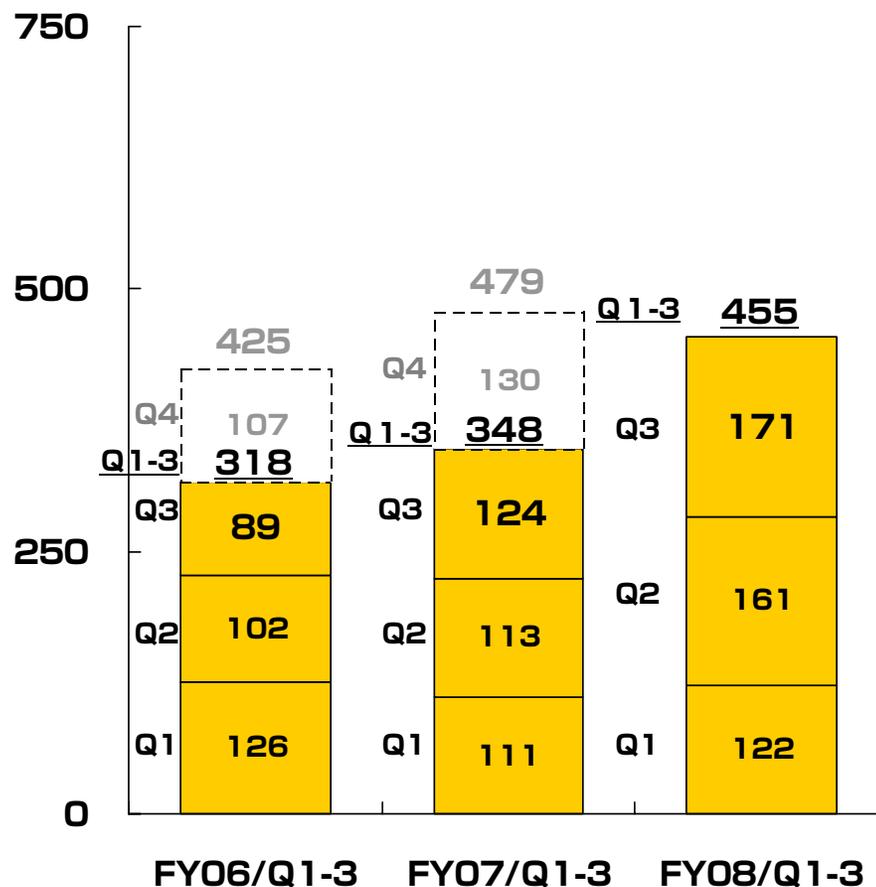
<億円>

### 営業損益



※06/Q1:一時的要因（退職給付戻入）25億を含む

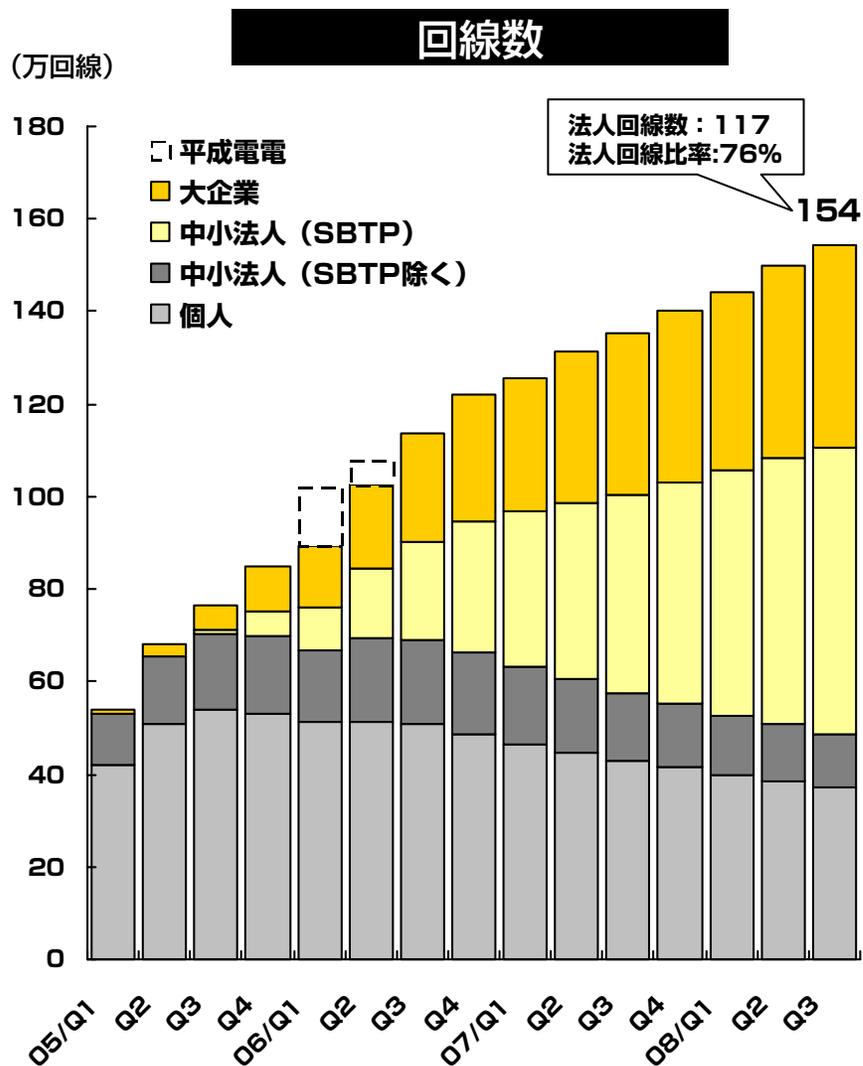
### EBITDA



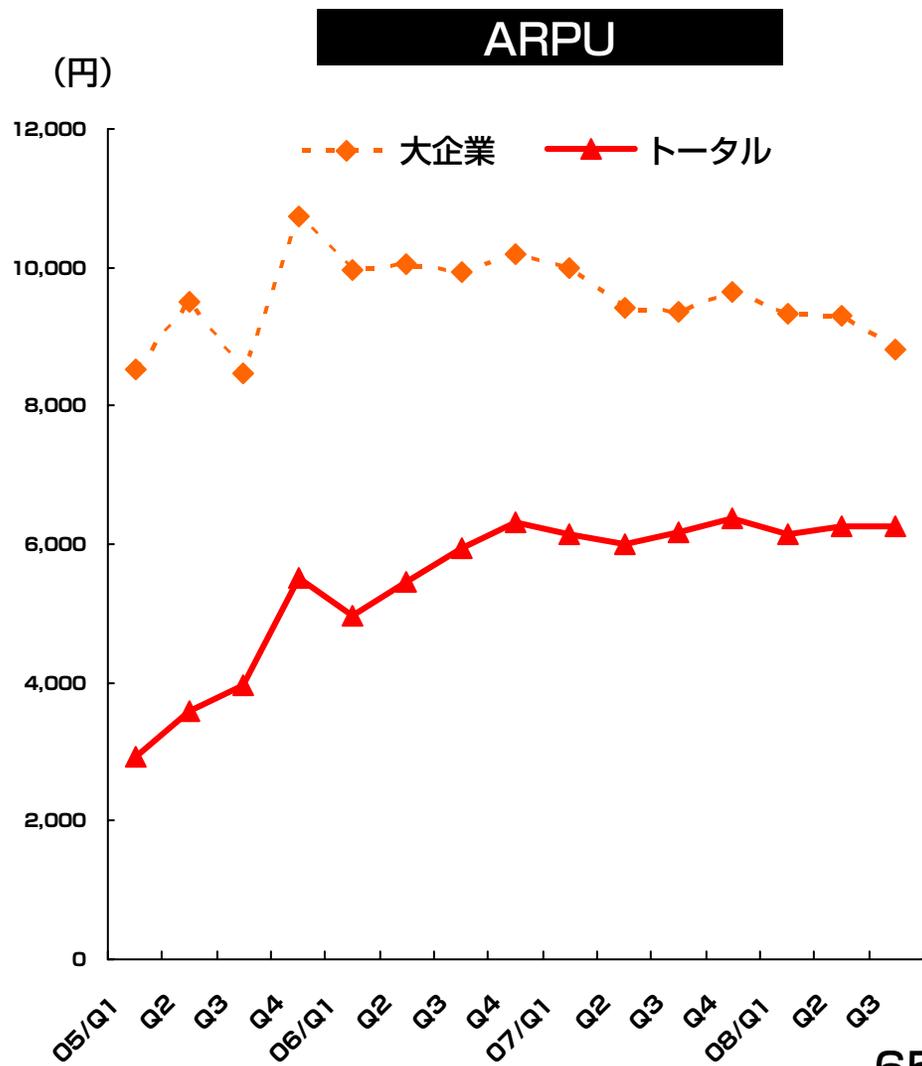
# おとくライン 回線数とARPU

<固定-2>

## ■回線数とARPUは法人向けの強化で堅調に推移



※SBTP：ソフトバンクテレコムパートナーズ



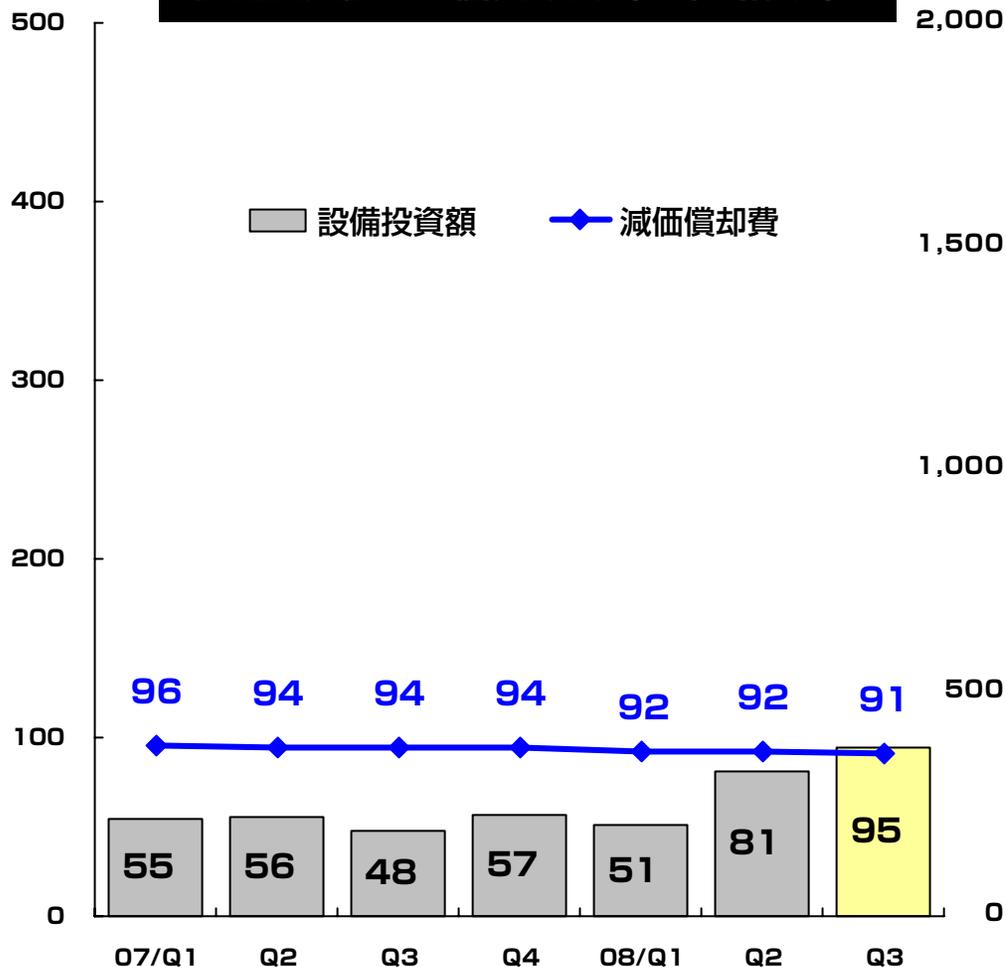
# 設備投資（固定通信事業）

<固定-3>

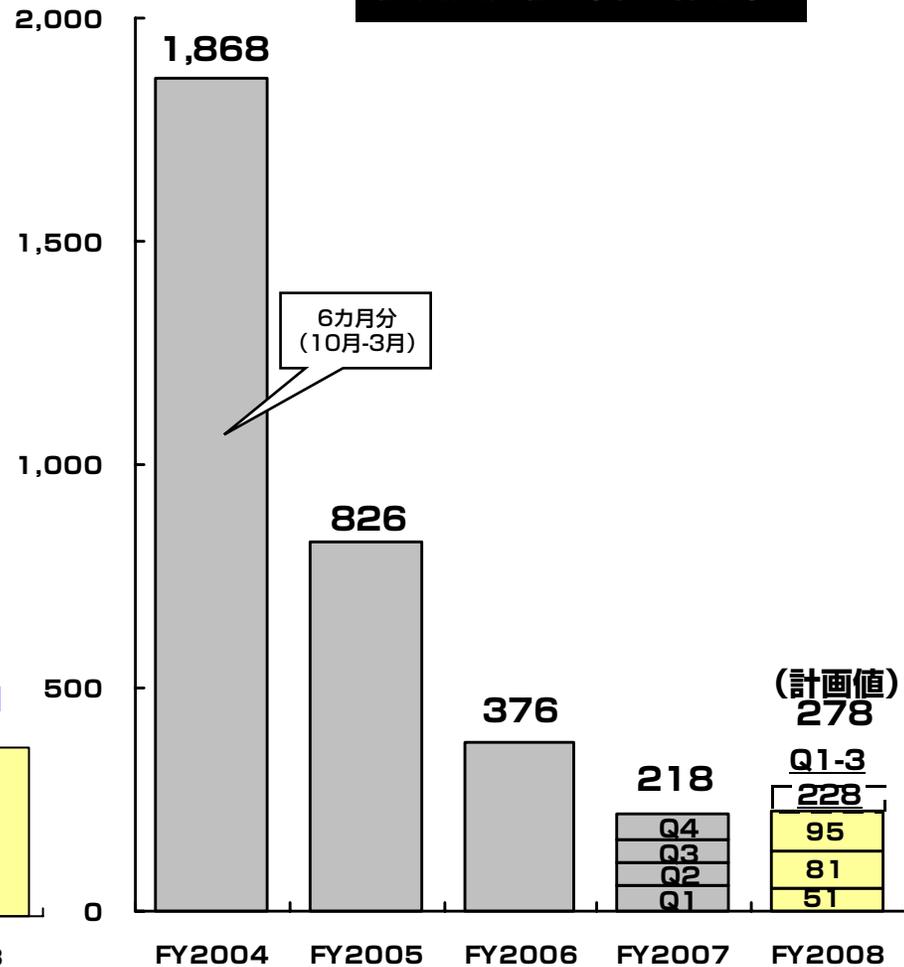
■設備投資額は引き続き安定推移。

<億円>

設備投資額と減価償却費（四半期推移）



設備投資額（年度推移）



**ブロードバンド・インフラ事業**

**固定通信事業**

**移動体通信事業**

# SBM連結 売上高

<移動体-1>

■ 端末売上減少により減収。電通収入は前年比増収傾向に。

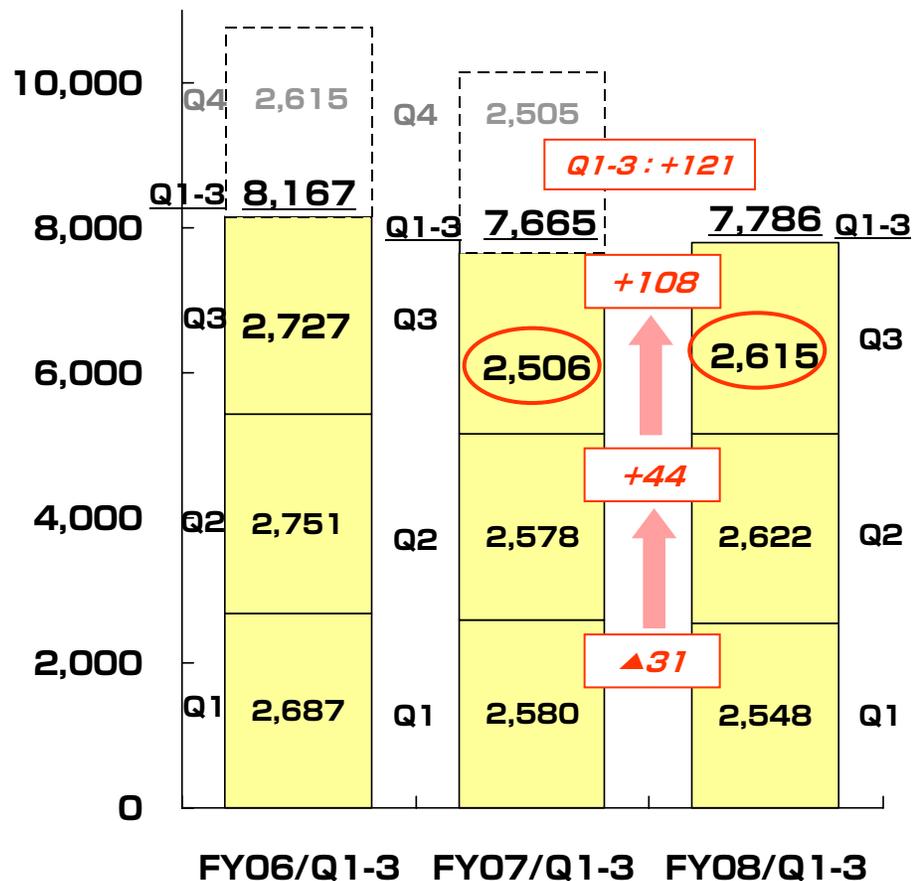
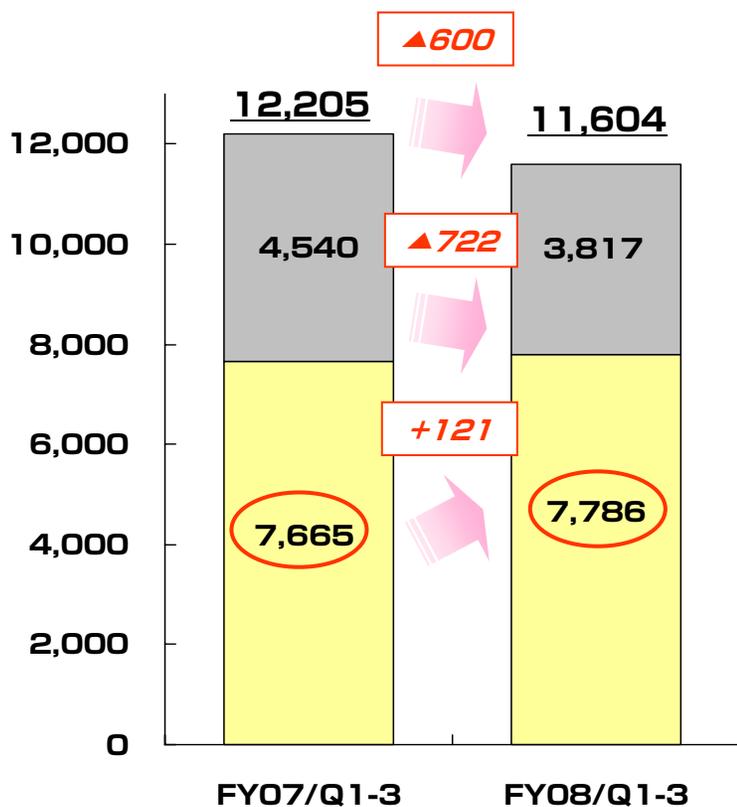
<億円>

SBM連結売上高：Q1-3比較

SBM連結電通収益：四半期比較

■ 電気通信事業収益 ■ 附帯事業収益

■ 電気通信事業収益



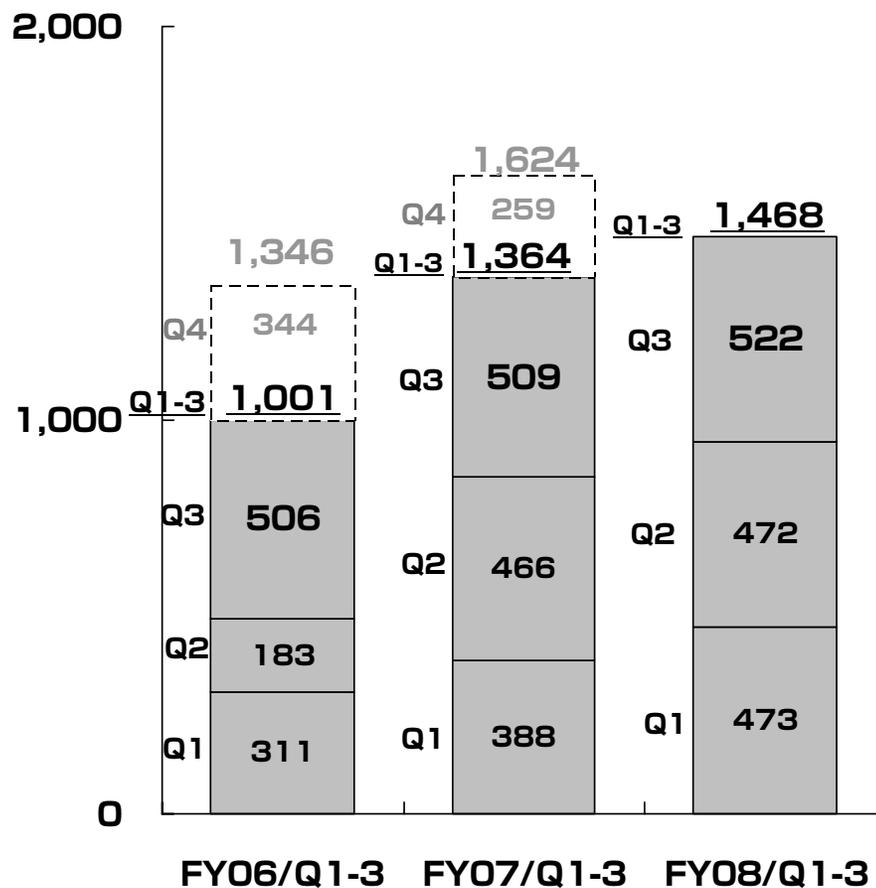
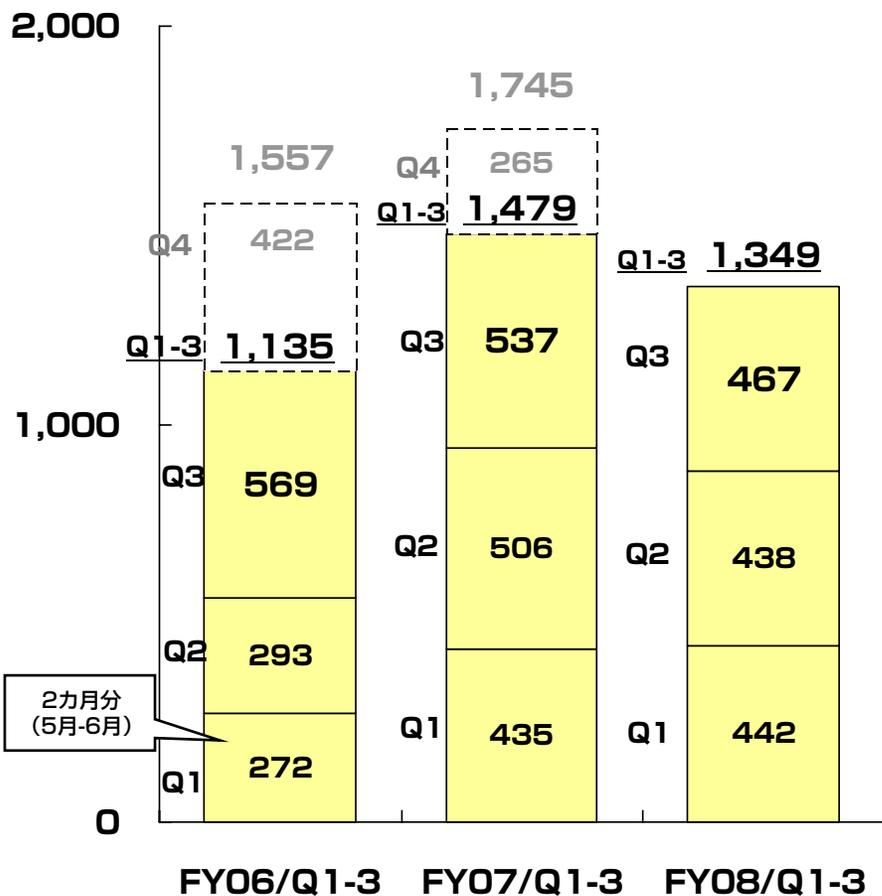
# 営業利益 (SB連結・SBM連結)

<移動体-2>

■ 堅調に推移。割賦影響が一巡 (導入後26カ月が経過) <億円>

SB連結 移動体セグメント

SBM連結



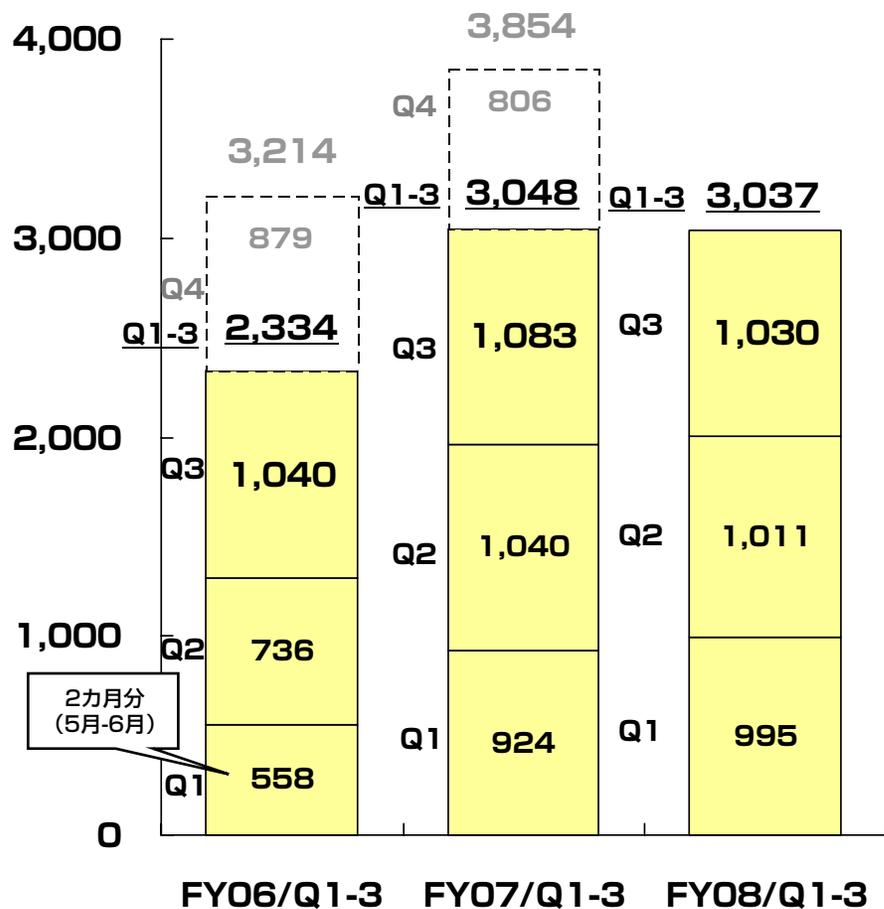
# EBITDA (SB連結・SBM連結)

<移動体-3>

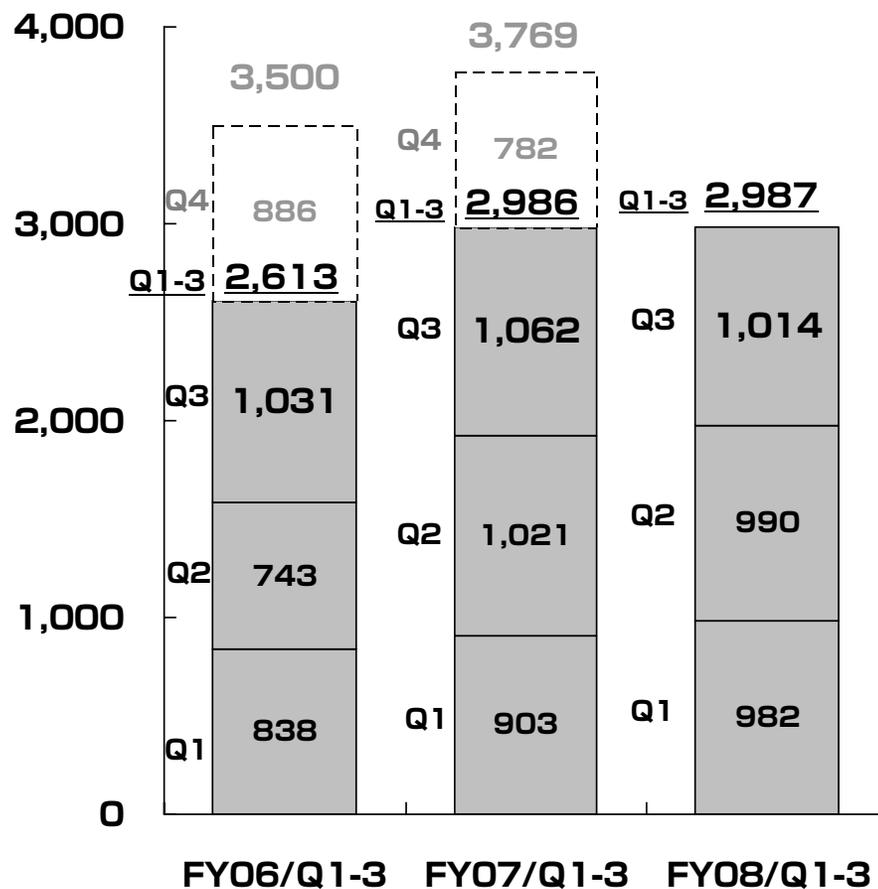
■ 堅調に推移。

<億円>

## SB連結 移動体セグメント



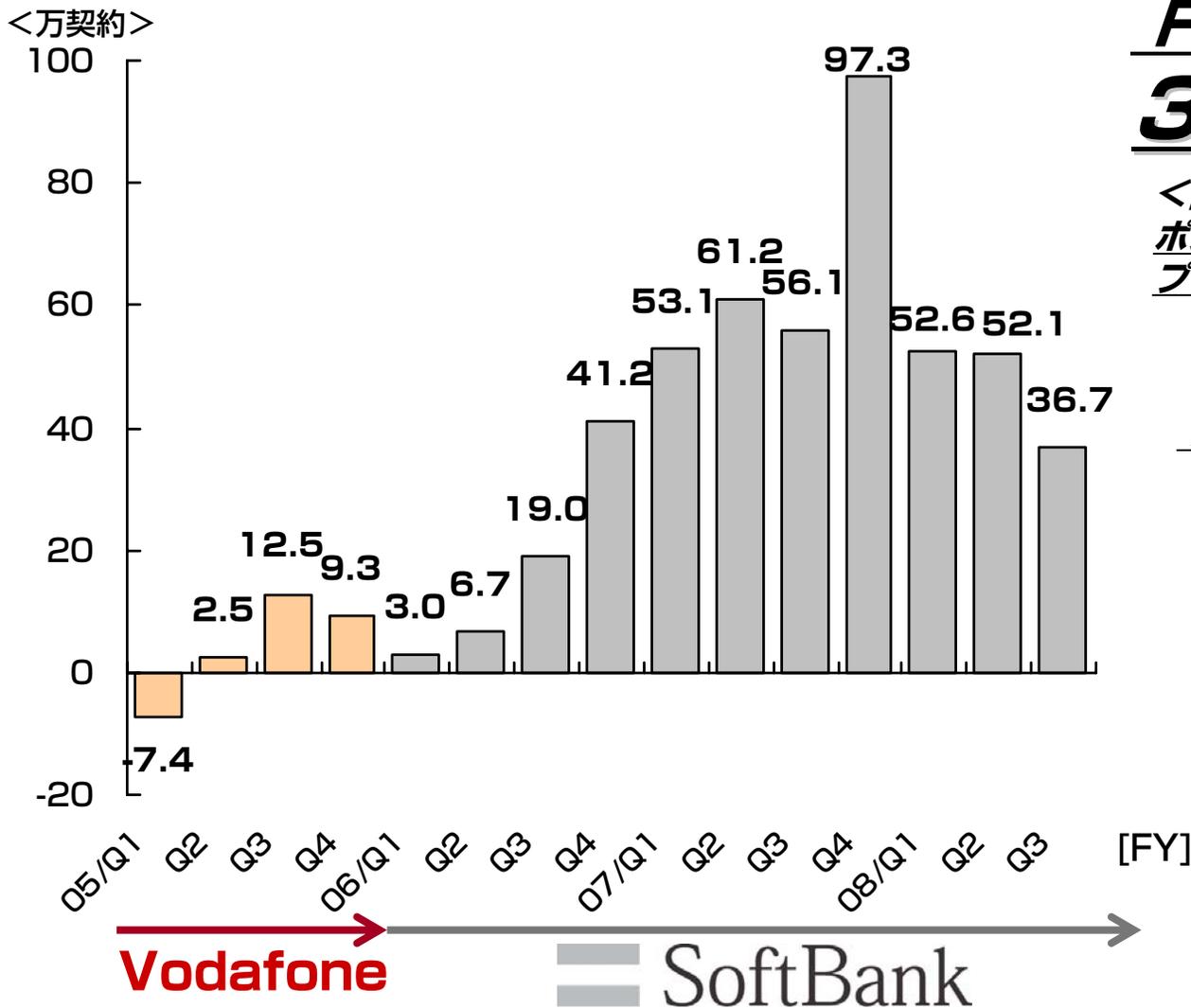
## SBM連結



# 純増契約数（四半期）

<移動体-4>

■20カ月連続純増No.1を継続中。

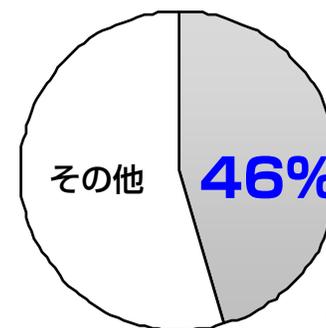


FY08/Q3純増数  
**36.7万**

<内訳>

ポストペイド +39.8万  
プリペイド ▲3.1万

FY08/Q1-3純増シェア



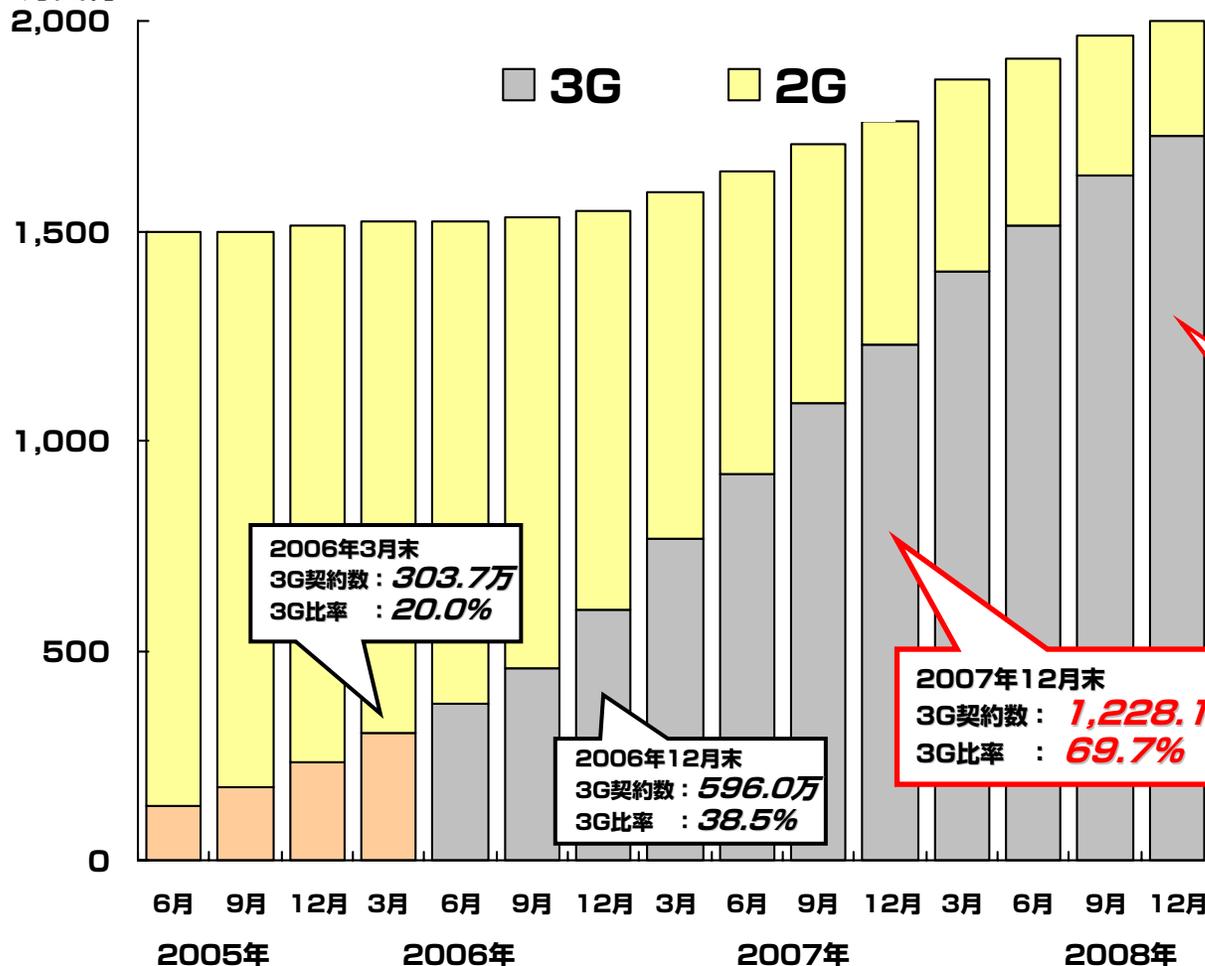
(参考)  
FY07/Q1-3純増シェア  
47%

# 累計契約数・3G契約数の推移

<移動体-5>

■累計契約数は順調に拡大。3G契約数割合は85%超に。

<万契約>



**2009年1月1日**  
**累計契約数**  
**2,000万突破**

2008年12月末  
 契約数合計: **1,999.9万**  
 3G契約数: **1,724.8万**  
 3G比率: **86.2%**

2007年12月末  
 3G契約数: **1,228.1万**  
 3G比率: **69.7%**

2006年3月末  
 3G契約数: **303.7万**  
 3G比率: **20.0%**

2006年12月末  
 3G契約数: **596.0万**  
 3G比率: **38.5%**

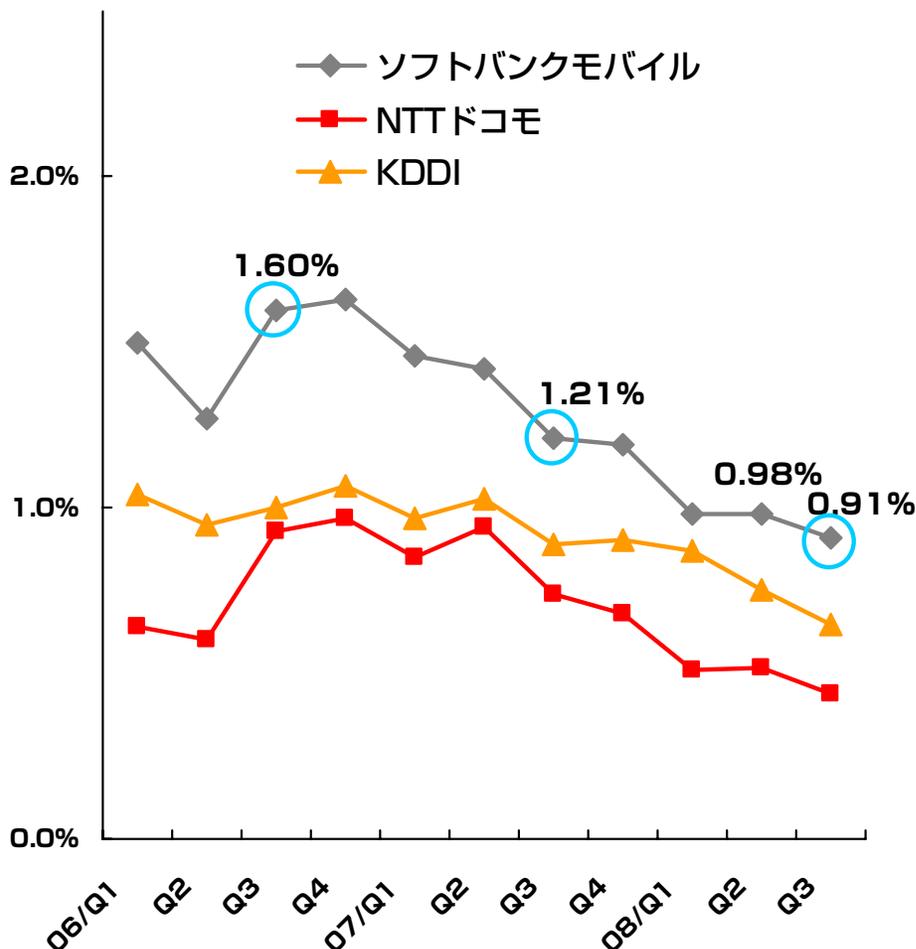
→  
**Vodafone**

→  
 SoftBank

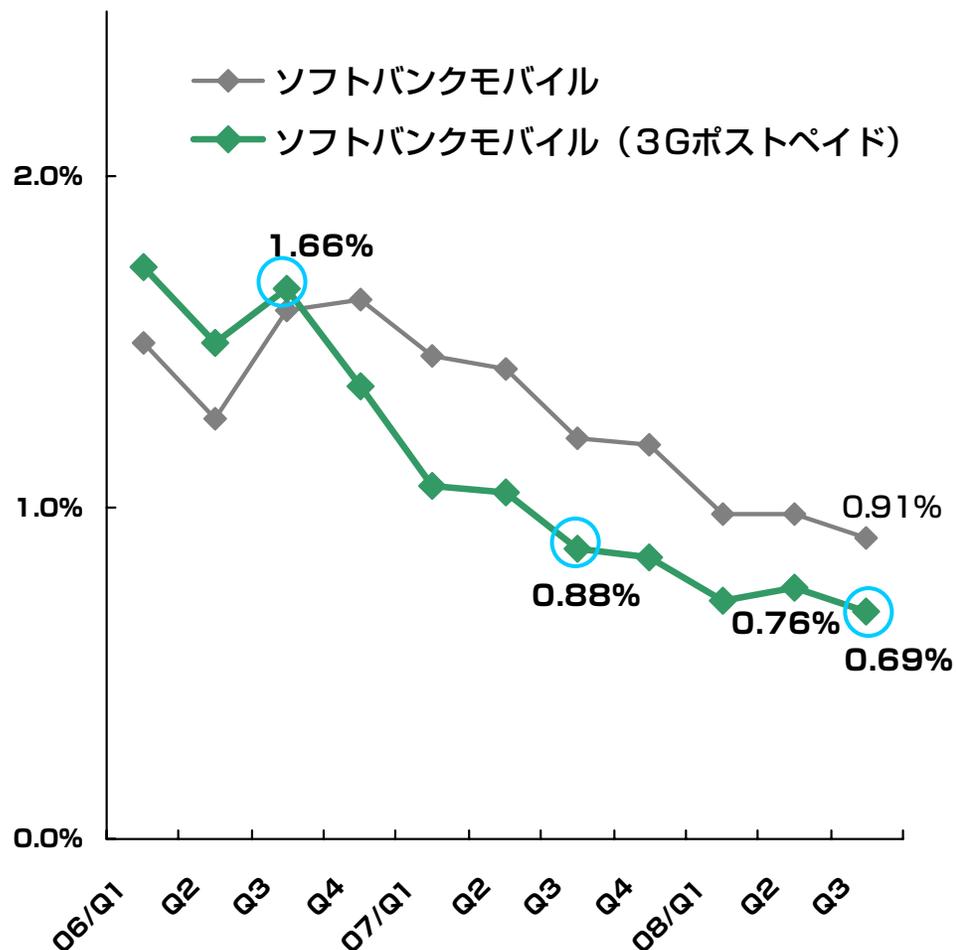
# 解約率（他社比較と3Gポストペイド） <移動体-6>

■解約率は引き続き低下傾向。

## 解約率（他社比較）



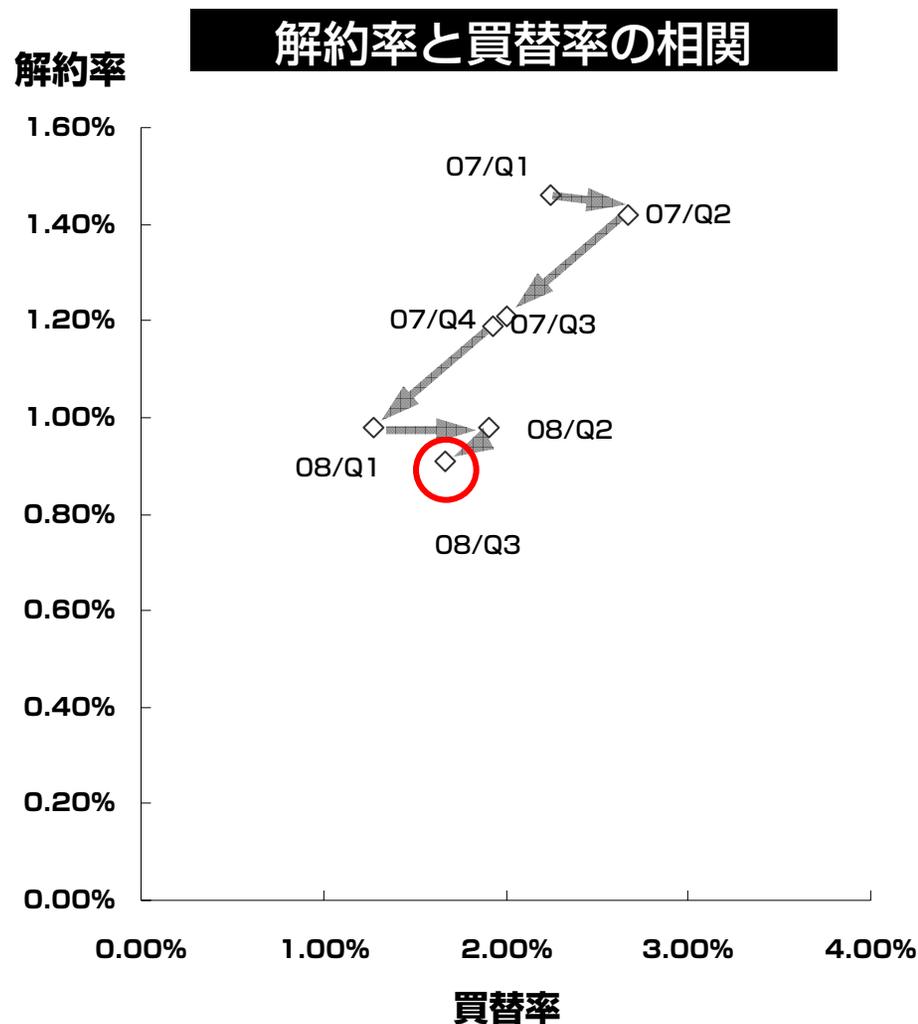
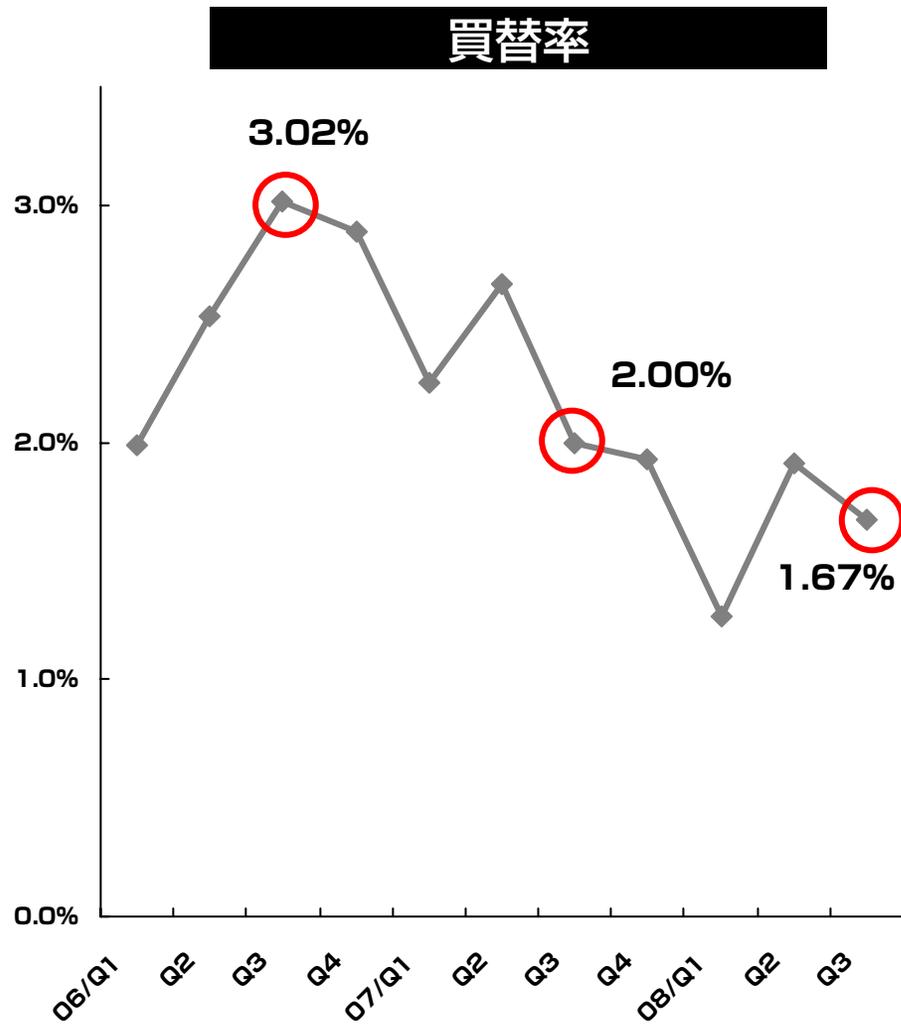
## 解約率（3Gポストペイド）



# 買替率と解約率

<移動体-7>

## 買替率は2%を下回る水準で推移

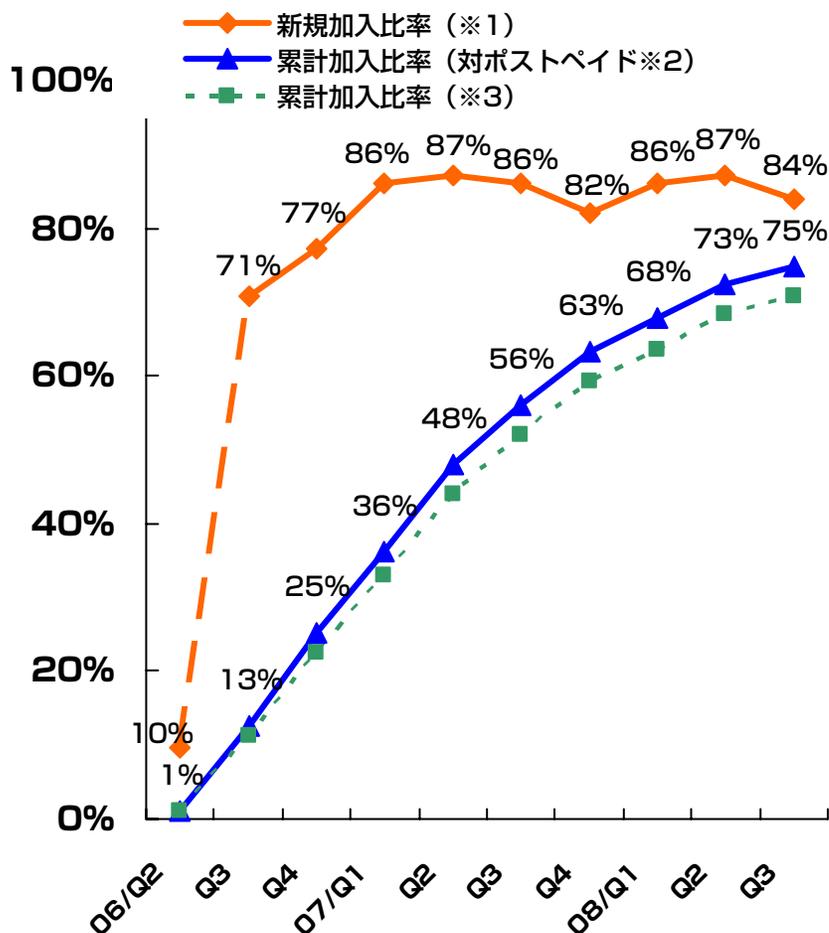


# 新スーパーボーナス加入率と割賦売掛金残高 <移動体-8>

## ■高い加入率を維持。割賦売掛金残高はピークアウト

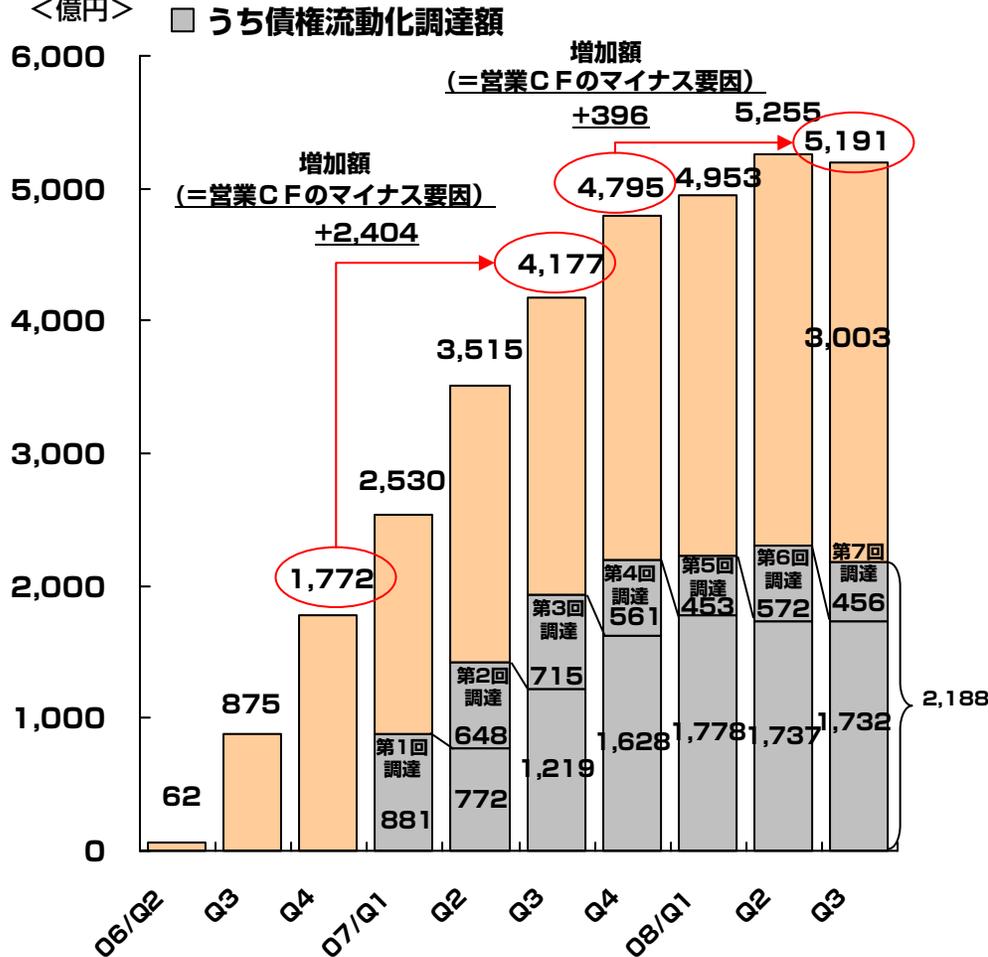
### 新スーパーボーナス加入率

(スーパーボーナスを含む)



### 割賦売掛金残高

<億円>



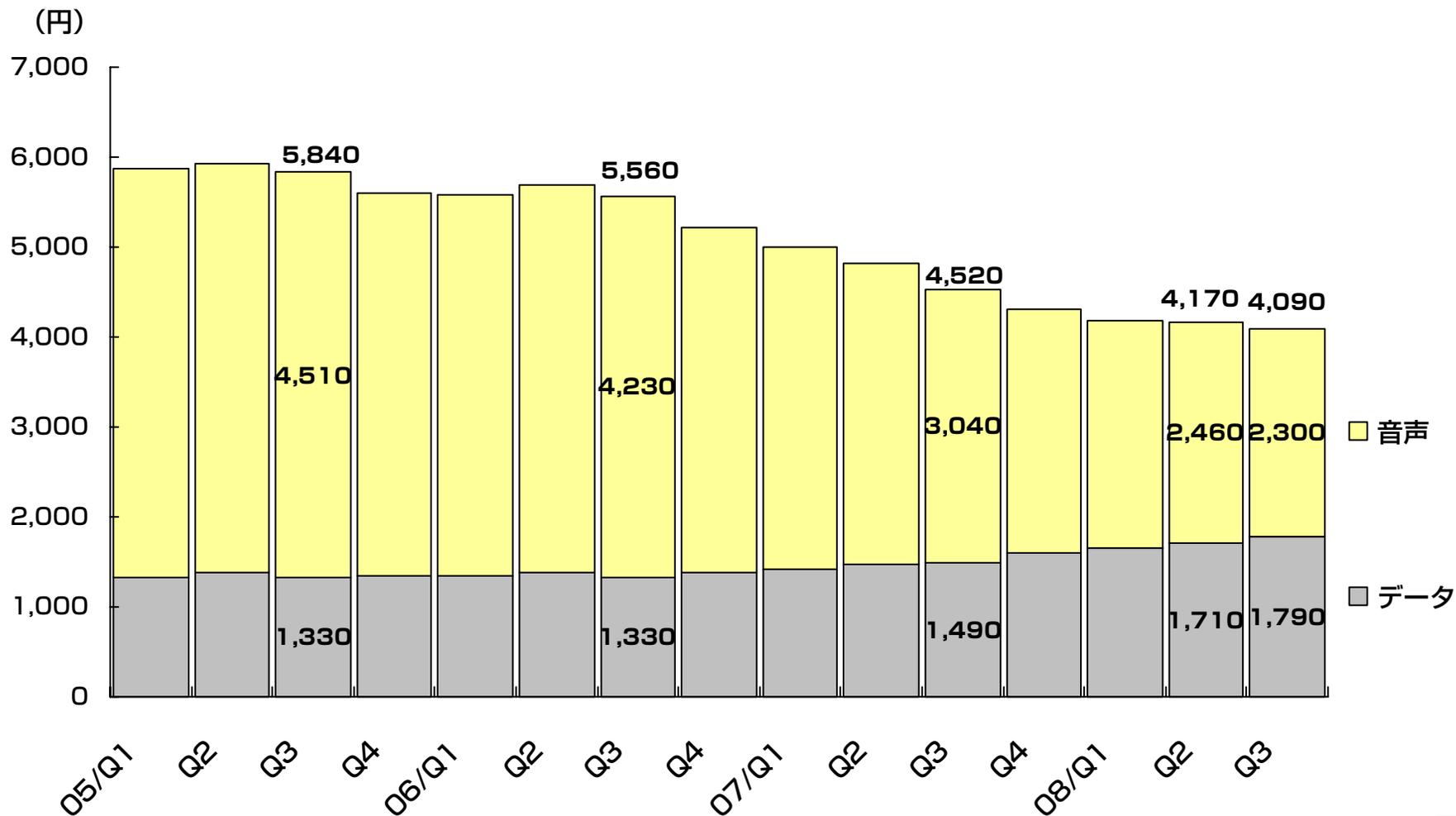
※1 新規加入比率=期中の新規契約数および機種変更件数に占める新スーパーボーナス加入比率  
 ※2 累計加入比率 (対ポストペイド)=ポストペイド契約数に占める新スーパーボーナス契約数 (月月割が終了した契約を除く) の比率  
 ※3 累計加入比率=累計契約数に占める新スーパーボーナス契約数 (月月割が終了した契約を除く) の比率

# ARPU

<移動体-9>

■ARPUは減少。前年同期比減少幅は縮小傾向。

■音声ARPUは減少（月月割\*の影響）。データARPUは増加トレンドが加速。

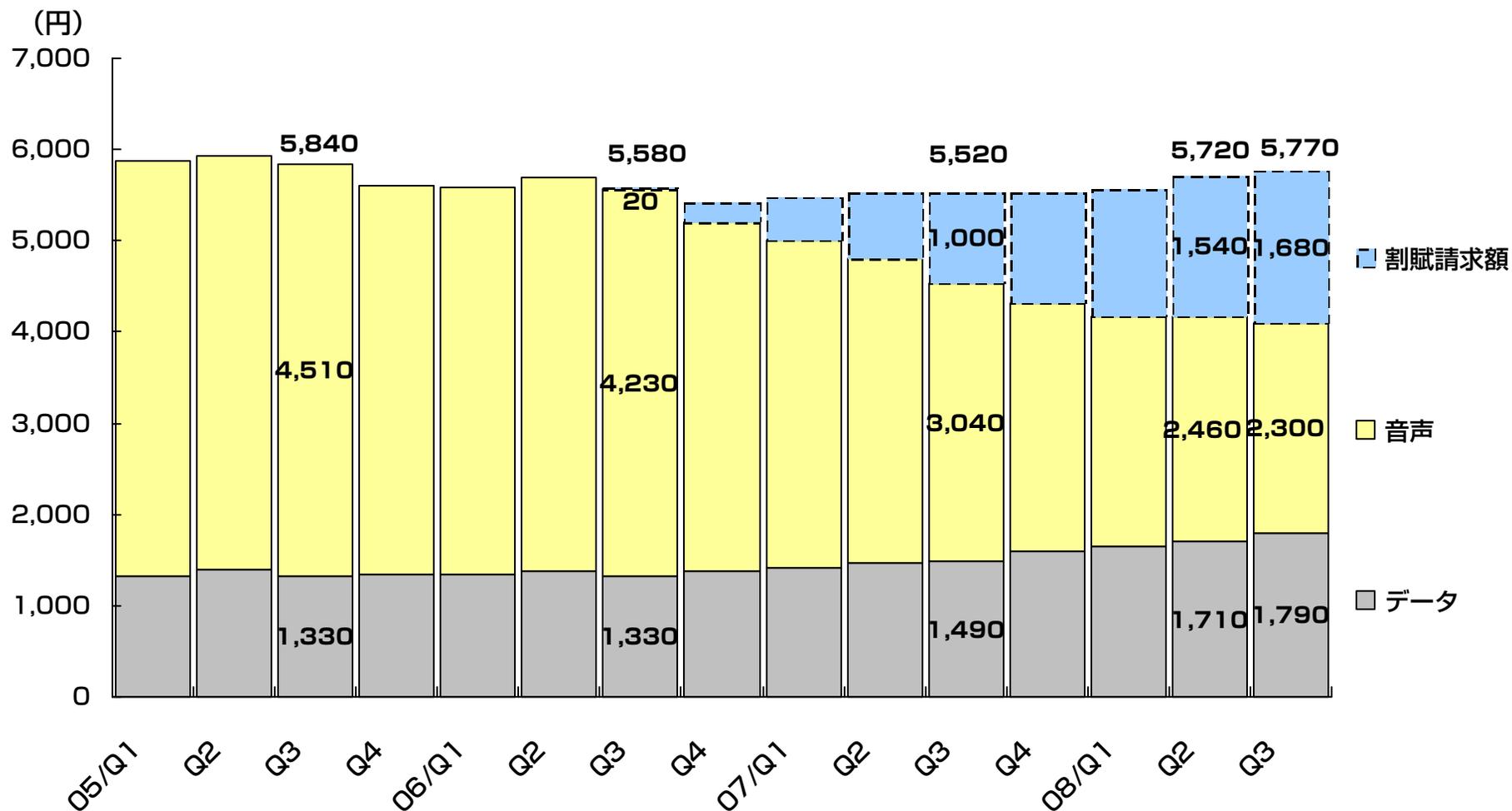


\*2008年11月1日より「新スーパーボーナス特別割引」を「月月割」に名称変更

# <ご参考> ARPU+割賦請求額

<移動体-10>

■ ARPU+割賦請求額は上昇傾向（営業CFの改善要因）



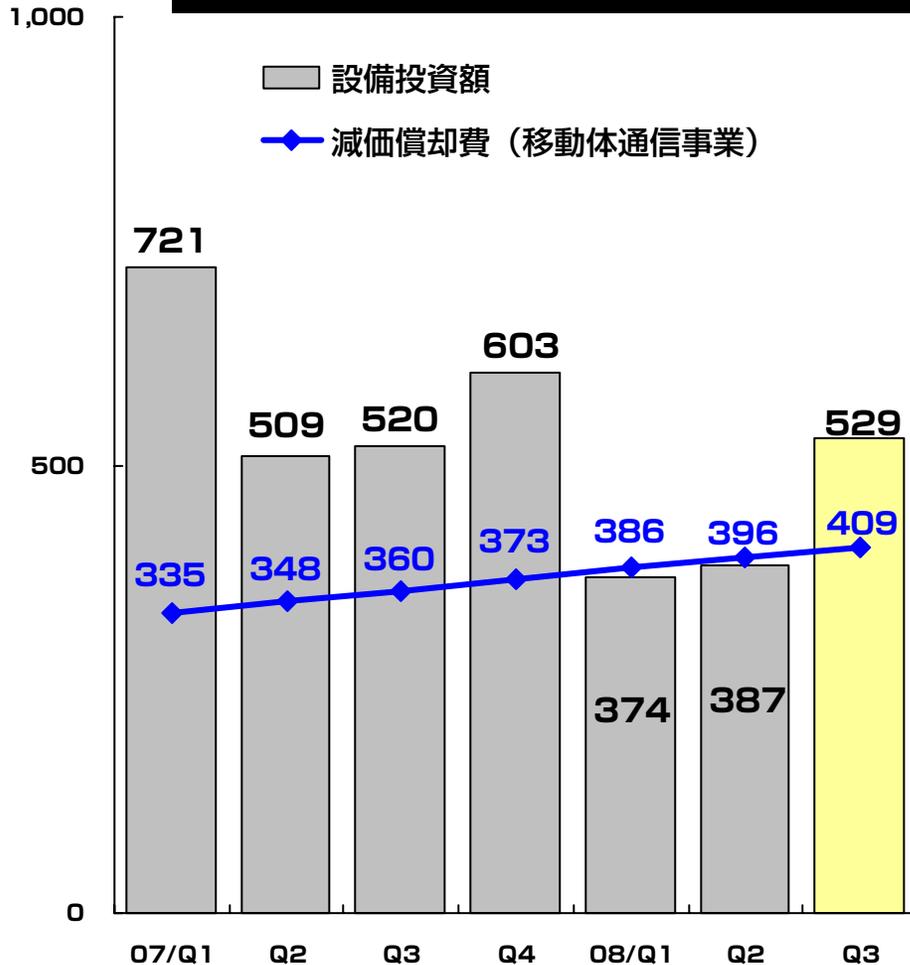
# 設備投資（移動体通信事業）

<移動体-11>

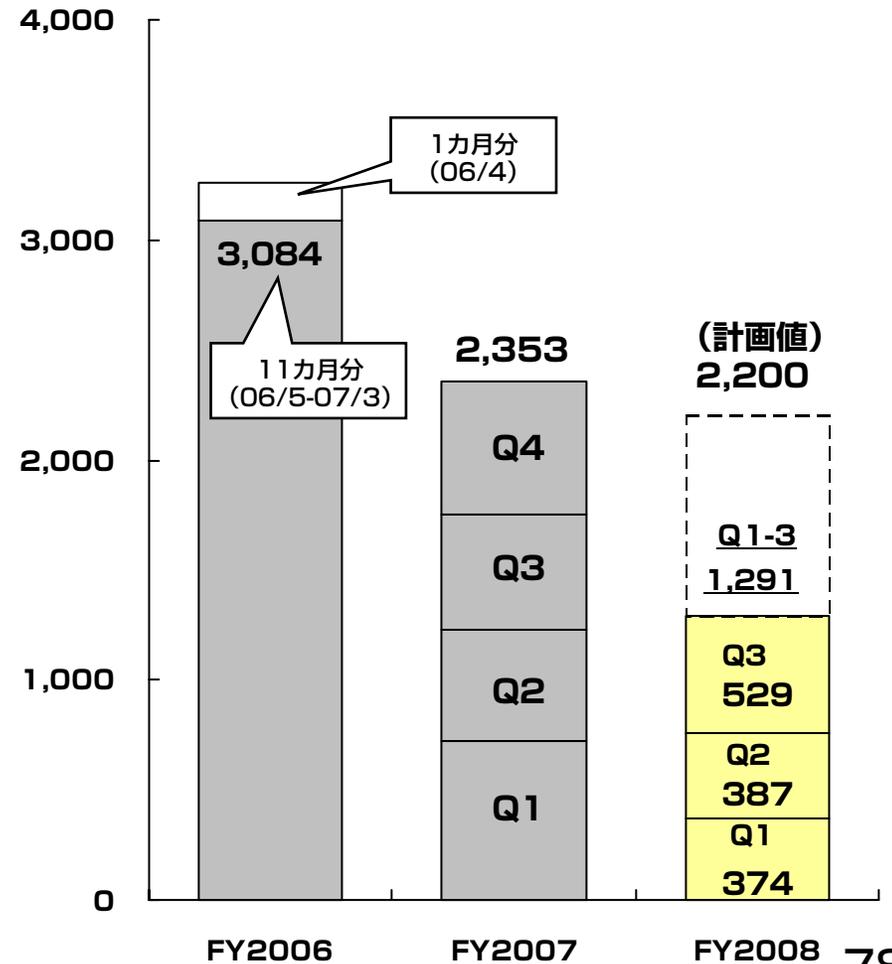
## ■効率的な設備投資を推進

<億円>

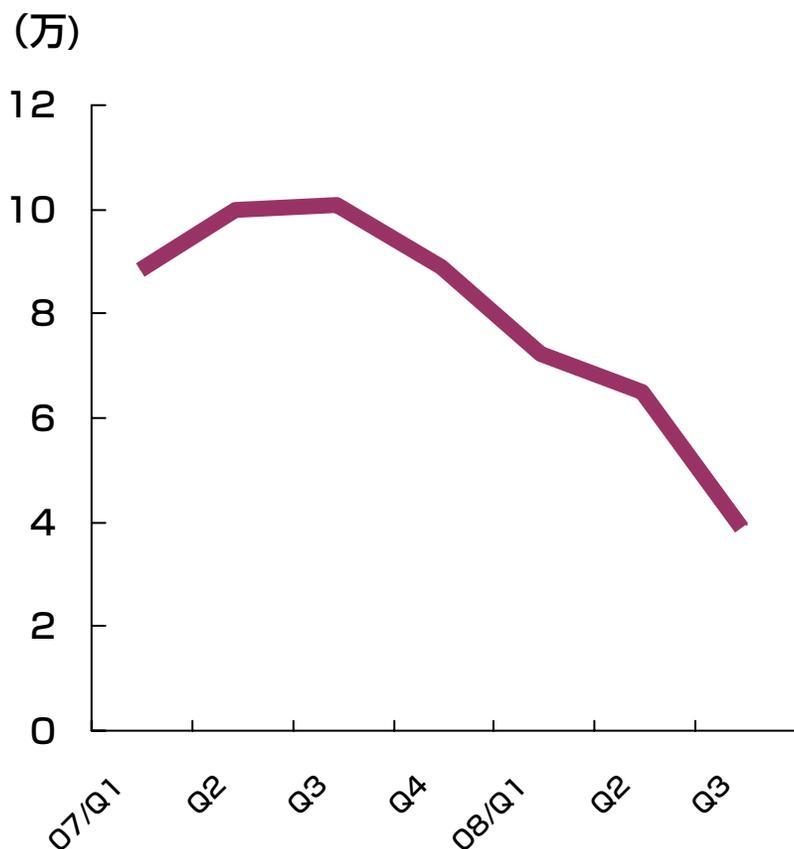
設備投資額と減価償却費（四半期推移）



設備投資額（年度推移）



## 短期解約の推移



**短期解約数は  
大幅に減少**

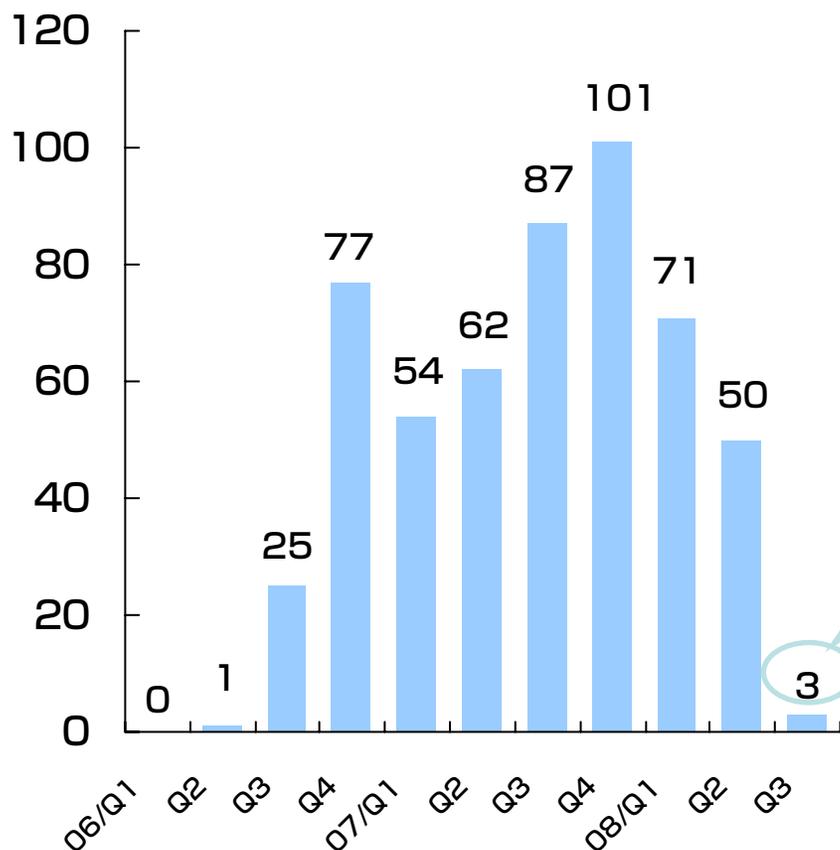
# <参考> 割賦債権貸倒引当・損失

<移動体-13>

■ 新規発生債権の質が向上。過去計上貸倒費用\*の戻入れも発生。

割賦債権貸倒引当金・損失額 (P/L計上額)

<億円>



FY08/Q2以前発生貸倒費用戻入	▲16
FY08/Q3発生貸倒費用*	+19
合計	+3

貸倒費用\*が大幅低下

\*貸倒引当金繰入額と貸倒損失の合計額



- 本資料に記載されている会社名、ロゴ、製品名、サービス名およびブランドなどは、ソフトバンク株式会社または該当する各社の登録商標または商標です。
- 本資料の一部あるいは全体について、当社の許可なく複製および転載することを禁じます。